# 三菱電機株式会社 AnyWireASLINK マスタユニット
# QJ51AW12AL(MELSEC-Q)
# LJ51AW12AL(MELSEC-L)

# GOT 機能サンプル
# AnyWireASLINKネットワークモニタ機能説明書

三菱電機株式会社

## サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

(1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。

(2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。

(3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。

(4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。

(5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。

(6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。

(7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して充分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

# 目次

目次 ..... 3

改訂履歴 ..... 5

1. 概要 ..... 6

2. システム構成 ..... 6

3. GOTについて ..... 7

3.1 インストールが必要なOS ..... 7

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定 ..... 7

3.3 Ethernet設定 ..... 7

3.4 画面データの格納先について ..... 7

4. AnyWireASLINKマスタユニットについて ..... 8

4.1 バッファメモリの先頭I/O No. ..... 8

5. 画面仕様 ..... 8

5.1 表示言語 ..... 8

5.2 画面遷移 ..... 8

5.3 画面説明 ..... 13

5.3.1 AnyWireASLINKメニュー(B-30000) ..... 13

5.3.2 AnyWireASLINKシステムマップ(B-30001) ..... 14

5.3.3 入力信号モニタ(B-30002) ..... 15

5.3.4 出力信号モニタ(B-30003) ..... 16

5.3.5 センサー覧(B-30004) ..... 17

5.3.6 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O非絶縁))(B-30005) ..... 18

5.3.7 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O絶縁))(B-30006) ..... 19

5.3.8 詳細情報(I/O防水コネクタ接続タイプ)(B-30007) ..... 20

5.3.9 詳細情報(伝送・I/O防水コネクタ接続タイプ)(B-30008) ..... 21

5.3.10 詳細情報(光電アンプユニット(CAM,CAS))(B-30010) ..... 22

5.3.11 詳細情報(近接アンプユニット)(B-30011) ..... 24

5.3.12 詳細情報(ファイバーアンプユニット(CAM,CAS))(B-30012) ..... 26

5.3.13 詳細情報(シリンダスイッチ)(B-30013) ..... 28

5.3.14 詳細情報(光電センサ)(B-30014) ..... 30

5.3.15 詳細情報(光電センサ(透過型受光))(B-30015) ..... 32

5.3.16 詳細情報(光電センサ(透過型投光))(B-30016) ..... 34

5.3.17 詳細情報(近接スイッチ)(B-30017) ..... 36

5.3.18 詳細情報(圧力センサ)(B-30018) ..... 38

5.3.19 詳細情報(アズリンクターミナル(ドライバ部))(B-30019) ..... 40

5.3.20 iQSSメニュー(B-30100) ..... 41

5.3.21 iQSSバックアップ(B-30101) ..... 42

5.3.22 iQSSバックアップ設定(B-30102) ..... 44

5.3.23 iQSSバックアップ：進捗(B-30103) ..... 45

5.3.24 iQSSリストア(B-30104) ..... 46

5.3.25 iQSSリストア設定(B-30105) ..... 48

5.3.26 iQSSリストア：進捗(B-30106) 49
5.3.27 時計設定(W-30001) 50
5.3.28 パラメータアクセスエラー(W-30002) 51
5.3.29 言語設定(W-30003) 52
5.3.30 データ削除確認ダイアログ(W-30004) 53
5.3.31 通知ダイアログ(W-30005) 54
5.3.32 実行確認ダイアログ(W-30006) 55
5.4 スレーブユニット詳細情報画面対応表 56
5.5 使用デバイス一覧 57
5.6 コメント一覧 63
5.7 デバイスデータ転送一覧 70
5.8 拡張レシピ一覧 75
5.9 スクリプト一覧 77
6. その他 149
6.1 ユーザ定義名称の登録について 149
6.2 システム構成の変更について 149
6.3 CPUの変更について 150
6.4 I/O No.の変更について 151
6.5 iQSSバックアップフォルダ構成 157

## 改訂履歴

### サンプル画面説明書

| 改訂日付 | 管理番号* | 改訂内容 |
|---|---|---|
| 2012/10/25 | SDM-0032 | 初版 |
| 2013/06/17 | SDM-0032-A | SDS-0032-A に対応<br>・全体を通して、フォーマットを修正<br>・「1. 概要」修正<br>・「2. システム構成」修正<br>・「3.1 インストールが必要な OS」修正<br>・「4. AnyWireASLINK マスタユニットについて」修正<br>・「5.1 表示言語」追加<br>・「5.2.1 画面遷移(共通)」追加<br>・「5.2.2 画面遷移(個別)」修正<br>・「5.3 画面説明」修正<br>・「5.4 スレーブユニット詳細情報画面対応表」修正<br>・「5.5 使用デバイス一覧」修正<br>・「5.6 コメント一覧」修正<br>・「5.8 拡張レシピ一覧」追加<br>・「5.9 スクリプト一覧」修正<br>・「6.1 ユーザ定義名称の登録について」修正<br>・「6.2 システム構成の変更について」修正<br>・「6.3 CPU の変更について」修正<br>・「6.4 I/O No.の変更について」追加<br>・「6.5 iQSS バックアップフォルダ構成」追加 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

＊ 管理番号は、右下に記載しています。

### プロジェクトデータ

| 改訂日付 | プロジェクトデータ | GT Designer3* | 改訂内容 |
|---|---|---|---|
| 2012/10/25 | SDS-0032.GTW<br>SDS-0033.GTW<br>SDS-0034.GTW | 1.60N | 初版 |
| 2013/06/17 | SDS-0032-A.GTW<br>SDS-0033-A.GTW<br>SDS-0034-A.GTW | 1.73B | 言語切り換え(英語)対応<br>iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇔センサ)機能対応 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

＊ プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

## 1. 概要

GOT1000 と MELSEC-Q シリーズまたは MELSEC-L シリーズの CPU ユニットを Ethernet で接続し、三菱電機株式会社 AnyWireASLINK マスタユニットに接続された、スレーブユニットのステータスやパラメータのモニタ・変更とバックアップ/リストア(MELSEC-L シリーズのみ対応)を行うサンプル画面の説明書です。

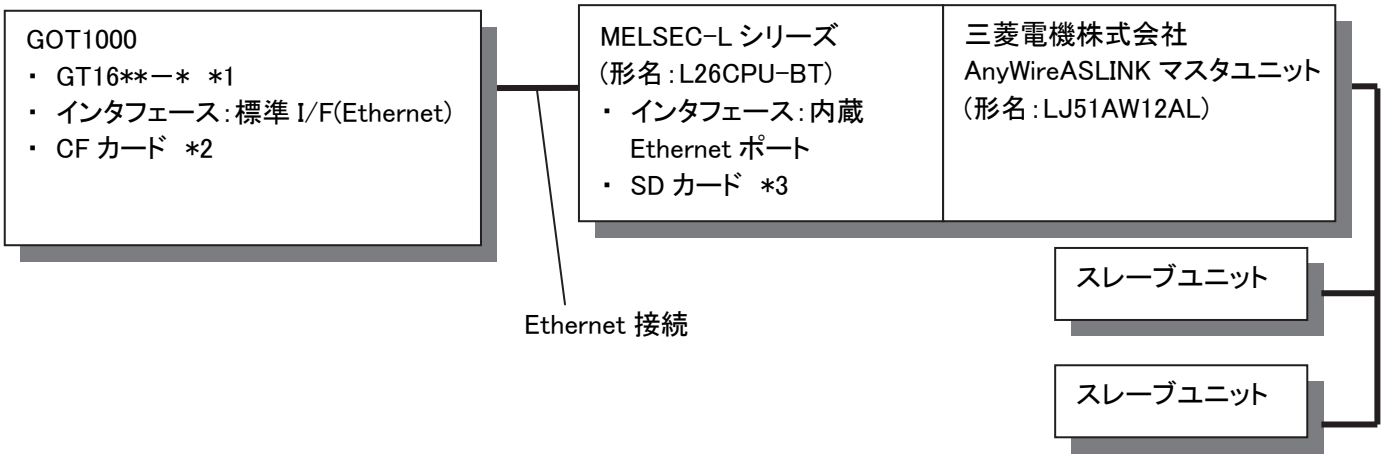
MELSEC-L シリーズと接続するためのサンプル画面として作成しています。MELSEC-Q シリーズと接続する際にはデータを一部修正する必要があります。修正点については「6.3 CPU の変更について」を参照してください。なお、MELSEC-Q シリーズは、スレーブユニットのパラメータのバックアップ/リストアには非対応です。

**＜注意事項＞**

スレーブユニットのパラメータのバックアップ/リストアは、iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇔センサ)機能で実行します。iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇔センサ)機能は、シーケンサ側の iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア機能を GOT から実行する機能です。GOT 固有のバックアップ/リストア機能とは、仕様が異なります。

iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア機能は、iQ Sensor Solution 対応センサのパラメータを、シーケンサ CPU に装着した SD カードにバックアップ、または SD カードからリストアする機能です。

## 2. システム構成




*1：使用する GOT の種類に合わせ、以下の画面データを使用してください。
GT16□□-VGA：SDS-0034-□.GTW
GT16□□-SVGA：SDS-0033-□.GTW
GT16□□-XGA：SDS-0032-□.GTW

*2：CF カードは、画面データの格納、拡張レシピ機能で使用しています。画面データの格納については、「3.4 画面データの格納先について」を参照してください。

*3：SD カードは、iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇔センサ)機能で使用しています。

## 3. GOTについて

### 3.1 インストールが必要なOS

| OS の種類 | OS の名称 | |
|---|---|---|
| 基本機能 | 基本 OS | |
| | 基本 OS システム画面情報 | |
| | 基本 OS システム画面データ | |
| | 標準フォント | 日本語(欧州対応) |
| | TrueType 数字フォント | 7 セグ |
| 通信ドライバ | Ethernet(MELSEC),Q17nNC,CRnD-700 | |
| 拡張機能 | デバイスデータ転送 | |
| オプション機能 | 拡張レシピ | |
| | オブジェクトスクリプト | |

### 3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

| 項　目 | 設定値 | 備　考 |
|---|---|---|
| GOT NET No. | 1 | |
| GOT PC No. | 2 | |
| GOT　IP アドレス | 192.168.3.18 | |
| 登録名 | - | |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 | |
| デフォルトゲートウェイ | 0.0.0.0 | |
| Ethernet ダウンロード用ポート No. | 5014 | |
| GOT 機器通信用ポート No. | 5001 | |
| リトライ回数(回) | 3 | |
| 立ち上り時間(秒) | 3 | |
| 通信タイムアウト時間(秒) | 3 | |
| 送信ディレイ時間(x10ms) | 0 | |

### 3.3 Ethernet設定

| 項　目 | 設定値 | 備　考 |
|---|---|---|
| 自局 | * | |
| N/W No. | 1 | |
| PC No. | 1 | |
| 機種 | LCPU | |
| IP アドレス | 192.168.3.39 | |
| ポート No. | 5006 | |
| 通信方式 | UDP | |

### 3.4 画面データの格納先について

GOT 内蔵の格納用メモリ(ROM)の容量を超えるため、画面データや OS の格納先を以下のようにしてください。書き込み方法については、「GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)」を参照してください。

| 項　目 | 書込先ドライブ |
|---|---|
| OS | A:標準 CF カード、または C:内蔵フラッシュメモリ |
| 画面データ | A:標準 CF カード |

## 4. AnyWireASLINKマスタユニットについて

### 4.1 バッファメモリの先頭I/O No.

バッファメモリの先頭 I/O No.を 3 で設定しています。変更をする際には、「6.4 I/O No.の変更について」を参照し、バッファメモリの先頭 I/O No.を変更してください。

## 5. 画面仕様

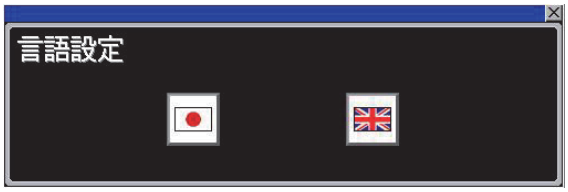
### 5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語の 2 言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.1～6 の列 No.1～2 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

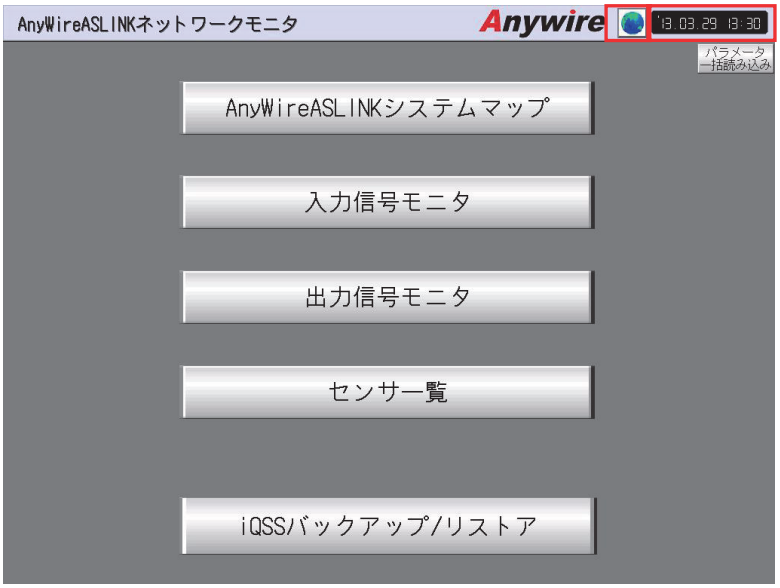
| 列 No. | 言語 |
|---|---|
| 1 | 日本語 |
| 2 | 英語 |

### 5.2 画面遷移

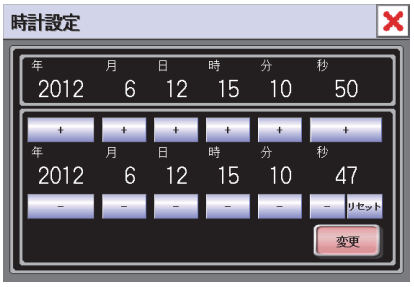
#### 5.2.1 画面遷移(共通)




ウィンドウ画面 W-30003:言語設定

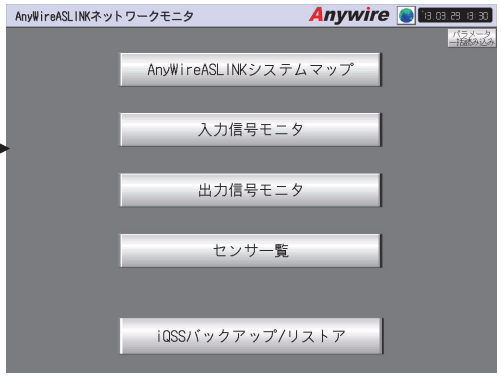



ベース画面 B-30000:AnyWireASLINK メニュー




ウィンドウ画面 W-30001:時計設定

### 5.2.2　画面遷移(個別)




ベース画面　B-30000：AnyWireASLINK メニュー

ベース画面　B-30001：AnyWireASLINK システムマップ

ベース画面　B-30002：入力信号モニタ

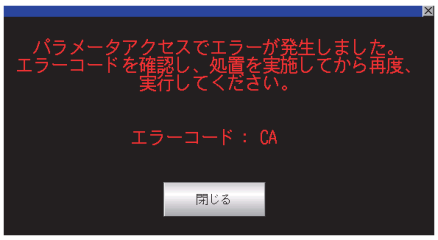
次頁へ

前頁より

ベース画面 B-30003:出力信号モニタ

ベース画面 B-30004:センサー覧

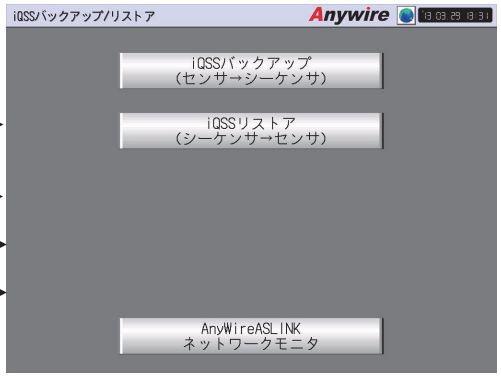
ベース画面 B-30005～30019:詳細情報
(スレーブユニットのタイプにより、画面が異なる)




ウィンドウ画面 W-30002:パラメータアクセスエラー

次頁へ

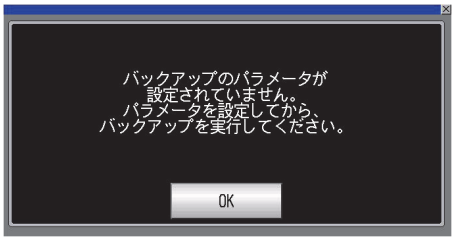
前頁より



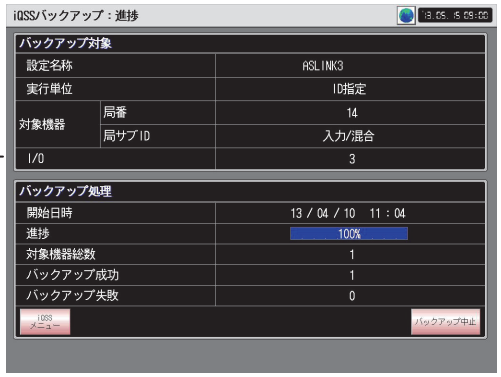

ベース画面 B-30100:iQSS メニュー

ベース画面 B-30102:iQSS バックアップ設定

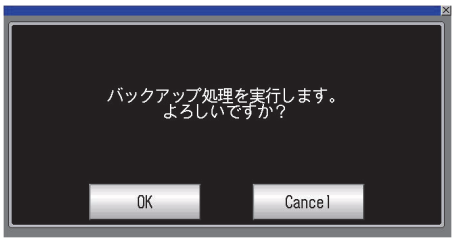
ベース画面 B-30101:iQSS バックアップ




ウィンドウ画面 W-30005:通知ダイアログ
(B-30101～30106 共通)




ベース画面 B-30103:iQSS バックアップ進捗

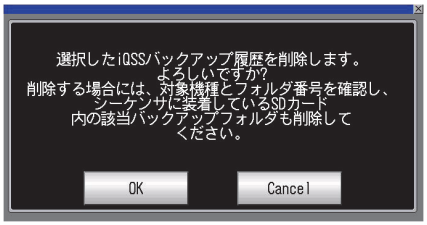



ウィンドウ画面 W-30006:実行確認ダイアログ
(B-30101、B-30103、B-30104、B-30106 共通)

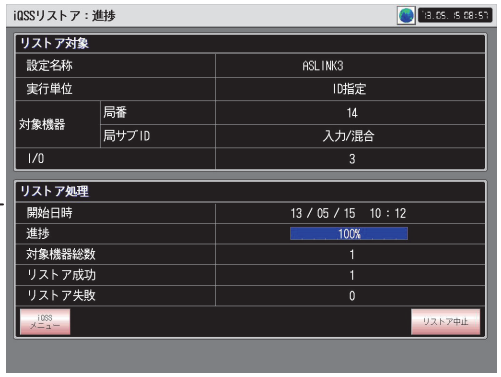
次頁へ

前頁より

ベース画面 B-30104：iQSS リストア




ウィンドウ画面 W-30004：データ削除確認ダイアログ(B-30101、B-30104 共通)

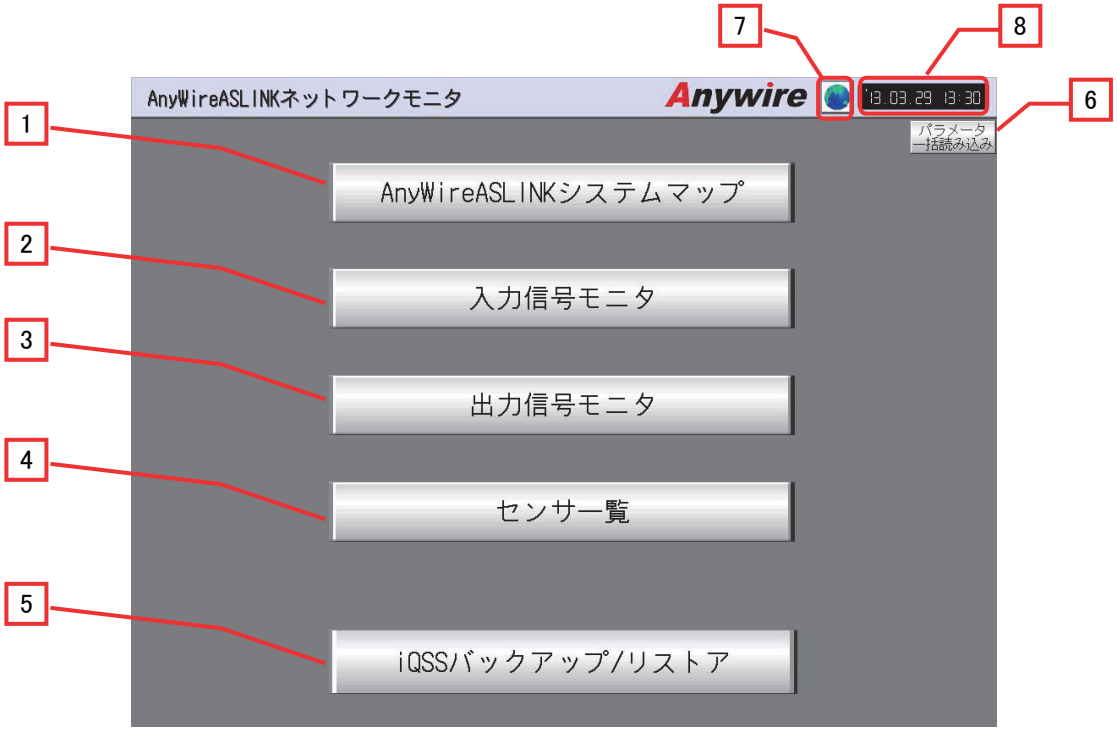



ベース画面 B-30106：iQSS リストア進捗

ベース画面 B-30105：iQSS リストア設定

## 5.3 画面説明

### 5.3.1 AnyWireASLINKメニュー(B-30000)




**概要**

AnyWireASLINK ネットワークモニタ機能のメニュー画面です。

**詳細**

1. AnyWireASLINK システムマップ画面に切り換えます。
2. 入力信号モニタ画面に切り換えます。
3. 出力信号モニタ画面に切り換えます。
4. センサー覧画面に切り換えます。
5. iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇔センサ)機能のメニュー画面(iQSS メニュー画面)に切り換えます。
6. マスタユニットで認識されている全スレーブユニットのパラメータを読み込みます。1 秒間タッチしてください。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- スレーブユニットのパラメータ読み込みには、デバイスデータ転送機能を使用しています。デバイスデータ転送機能については、「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。
- パラメータの読み込み中は画面の切り換えができません。
- GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトを使用して、iQSS バックアップの対象機器設定・I/O No.を設定します。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。
- プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.2 AnyWireASLINKシステムマップ(B-30001)

## 概要

AnyWireASLINK システムマップ画面です。スレーブユニットの接続状態を表示し、各スレーブユニットをタッチすることで、詳細画面へ切り換えます。

## 詳細

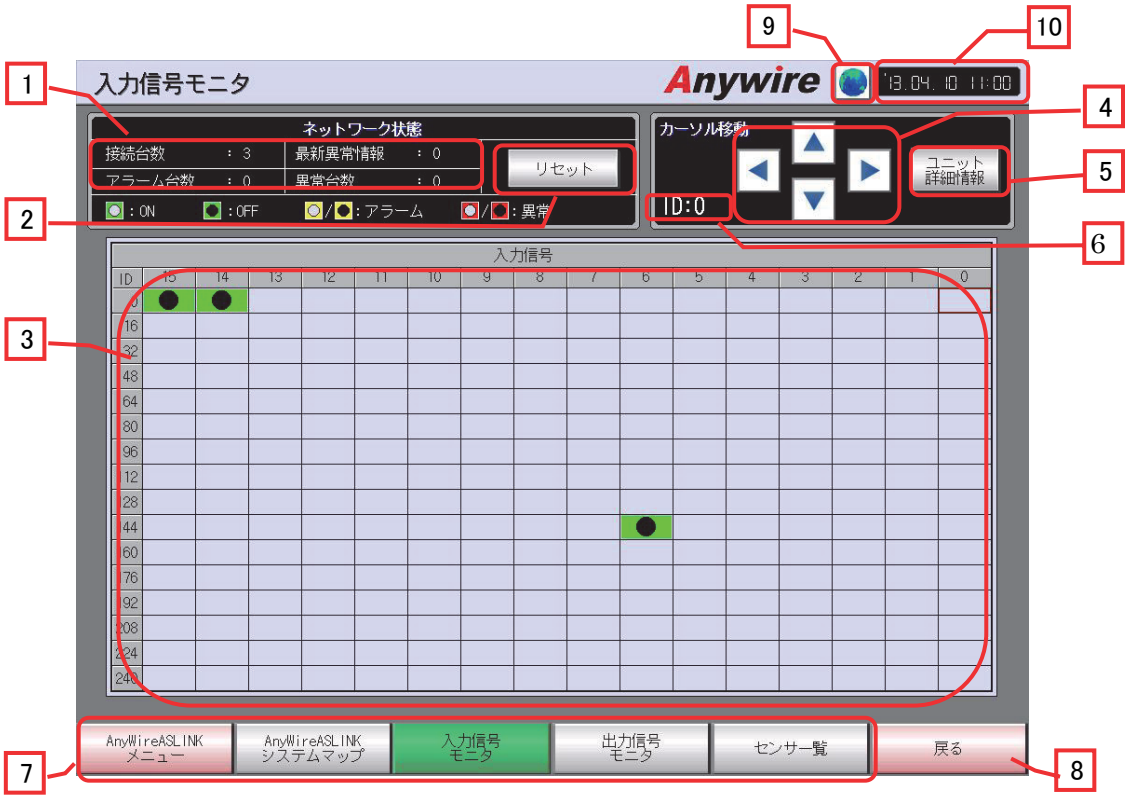
1. 接続台数・アラーム台数・異常台数を表示します。
2. スレーブユニットの接続状態を表示します。ユニットの ID・タイプ・状態(正常・アラーム発生・異常発生)を表示します。ユニットのタイプが表示されたスイッチをタッチすることで、対応するスレーブユニットの詳細画面に切り換えます。
3. 発生中のアラーム、または異常のエラーコードとコードに対応したエラー内容を表示します。複数のアラーム、異常が発生した場合は、最新のエラーコードを表示します。
4. アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、アラーム台数・異常台数・最新異常情報は 0 になります。
5. スレーブユニットの表示を上下方向へスクロールします。32 台ごとに表示が切り換わります。
6. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 前回表示していた画面に切り換えます。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

・スレーブユニットの表示のスクロールは、スクリプトを使用しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.3　入力信号モニタ(B-30002)




**概要**

入力信号モニタ画面です。接続されている入力スレーブユニットの信号の状態(ON/OFF・アラーム発生中・異常発生中)を表示します。スレーブユニットの種類により、表示される信号の点数が異なります。

**詳細**

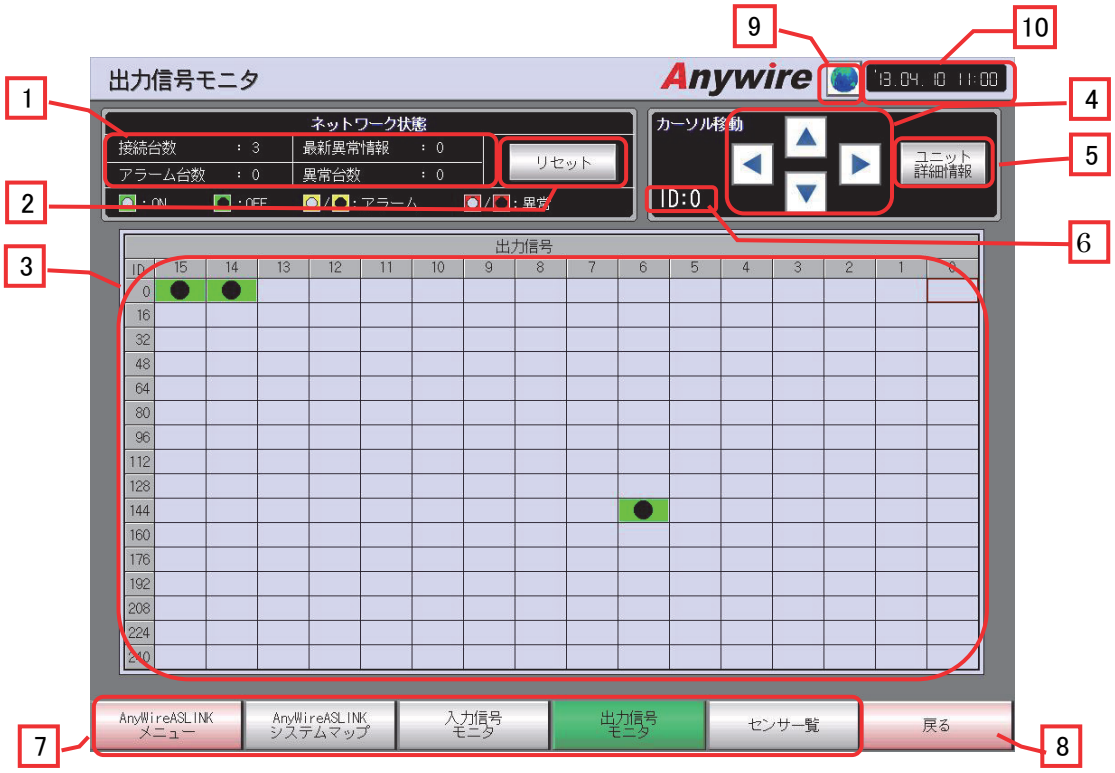
1. 接続台数・最新異常情報・アラーム台数・異常台数を表示します。
2. アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、アラーム台数・異常台数・最新異常情報は 0 になります。
3. 入力スレーブユニットの状態を表示します。セルをタッチすることで、タッチした位置にカーソルが移動します。
4. カーソルを上下左右に移動します。
5. カーソルの表示されている位置のスレーブユニットの詳細画面に切り換えます。ID が認識されていない箇所にカーソルがある場合は、詳細画面に切り換わりません。
6. カーソルの表示されている位置の ID を表示します。
7. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・カーソルの移動は、スクリプトを使用しています。スクリプトについては「5.9　スクリプト一覧」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9　スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7　デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.4 出力信号モニタ(B-30003)




## 概要

出力信号モニタ画面です。接続されている出力スレーブユニットの信号の状態(ON/OFF・アラーム発生中・異常発生中)を表示します。スレーブユニットの種類により、表示される信号の点数が異なります。

## 詳細

1. 接続台数・最新異常情報・アラーム台数・異常台数を表示します。
2. アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、アラーム台数・異常台数・最新異常情報は 0 になります。
3. 出力スレーブユニットの状態を表示します。セルをタッチすることで、タッチした位置にカーソルが移動します。
4. カーソルを上下左右に移動します。
5. カーソルの表示されている位置のスレーブユニットの詳細画面に切り換えます。ID が認識されていない箇所にカーソルがある場合は、詳細画面へ切り換わりません。
6. カーソルの表示されている位置の ID を表示します。
7. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

・カーソルの移動は、スクリプトを使用しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.5 センサー覧(B-30004)

**概要**

スレーブユニットの情報を表示します。スレーブユニットの情報の表示されている行をタッチすることで、対象のスレーブユニットの詳細画面へ切り換えます。

**詳細**

1. 発生中のアラーム、または異常のエラーコードとコードに対応したエラー内容を表示します。複数のアラーム、異常が発生した場合は、最新のエラーコードを表示します。
2. スレーブユニットの情報を表示します。認識されているスレーブユニットの ID・種別・ステータス詳細情報・ユーザ定義名称を表示します。情報の表示されている行をタッチすることで、スレーブユニットの詳細画面に切り換わります。
3. アラーム、および異常をリセットします。リセットを実施すると、最新異常情報は 0 になります。
4. スレーブユニットの情報を上下方向にスクロールします。15 台ごとに表示が切り換わります。
5. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。
8. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・スレーブユニットの情報のスクロールは、スクリプトを使用しています。スクリプトについては、「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。
・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.6 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O非絶縁))(B-30005)

## 概要

ケーブル接続タイプ(I/O 非絶縁)のスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

- システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.7 詳細情報(ケーブル接続タイプ(I/O絶縁))(B-30006)

**概要**

ケーブル接続タイプ(I/O 絶縁)のスレーブユニットの詳細情報を表示します。

**詳細**

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. ユーザ定義名称を表示します。
5. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
6. 処置方法の表示をスクロールします。
7. 書き込むパラメータがないため、タッチしても動作しません。
8. 読み出すパラメータがないため、タッチしても動作しません。
9. 各画面に切り換えます。
10. 前回表示していた画面に切り換えます。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.8 詳細情報(I/O防水コネクタ接続タイプ)(B-30007)

## 概要

I/O 防水コネクタ接続タイプのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

・システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.9 詳細情報(伝送・I/O防水コネクタ接続タイプ)(B-30008)

**概要**

伝送・I/O 防水コネクタ接続タイプのスレーブユニットの詳細情報を表示します。

**詳細**

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
- プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.10 詳細情報(光電アンプユニット(CAM,CAS))(B-30010)

## 概要

光電アンプユニットのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. I/O の状態を表示します。
3. スレーブユニットのイメージを表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

- システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- 「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.11 詳細情報(近接アンプユニット)(B-30011)

## 概要

近接アンプユニットのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. I/O の状態を表示します。
3. スレーブユニットのイメージを表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

- システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- 「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.12 詳細情報(ファイバーアンプユニット(CAM,CAS))(B-30012)

## 概要

ファイバーアンプユニットのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. I/O の状態を表示します。
3. スレーブユニットのイメージを表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

- システム稼働中のパラメータ変更は、スレーブユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。
- 「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.13 詳細情報(シリンダスイッチ)(B-30013)

## 概要

シリンダスイッチのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

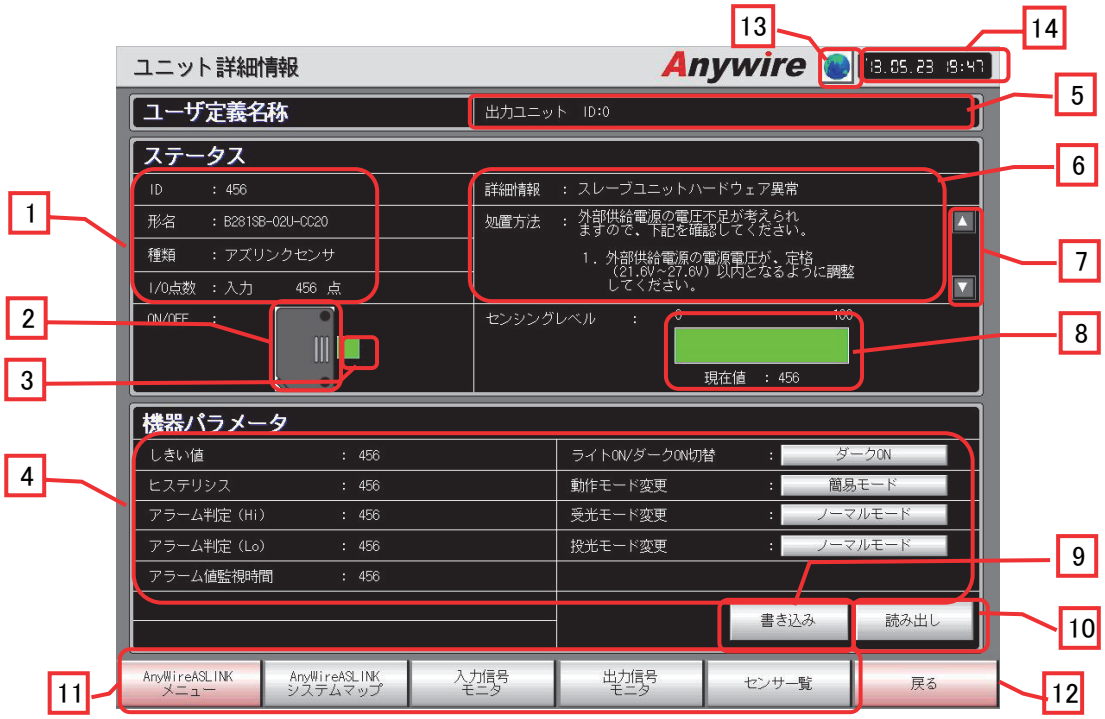
## 備考

・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。

・「センシングレベル」のレベル、「OFF→ON のしきい値」、「ON→OFF のしきい値」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.14 詳細情報(光電センサ)(B-30014)




## 概要

光電センサのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

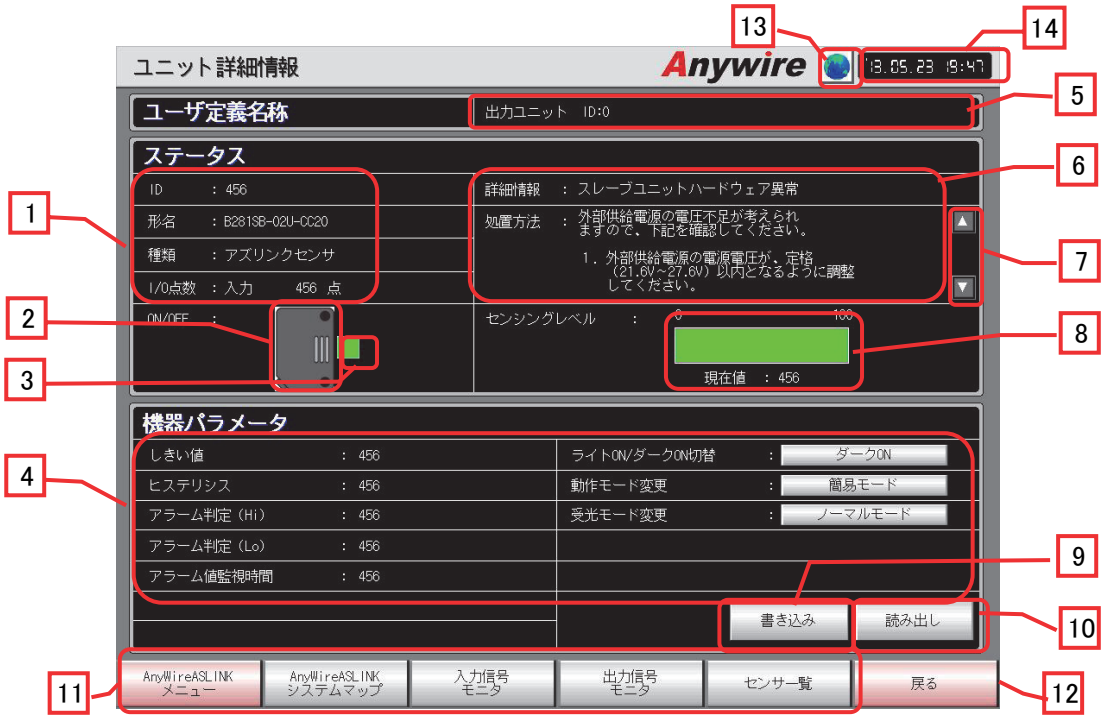
## 備考

・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。

・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.15 詳細情報(光電センサ(透過型受光))(B-30015)




## 概要

光電センサ(透過型受光)のスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

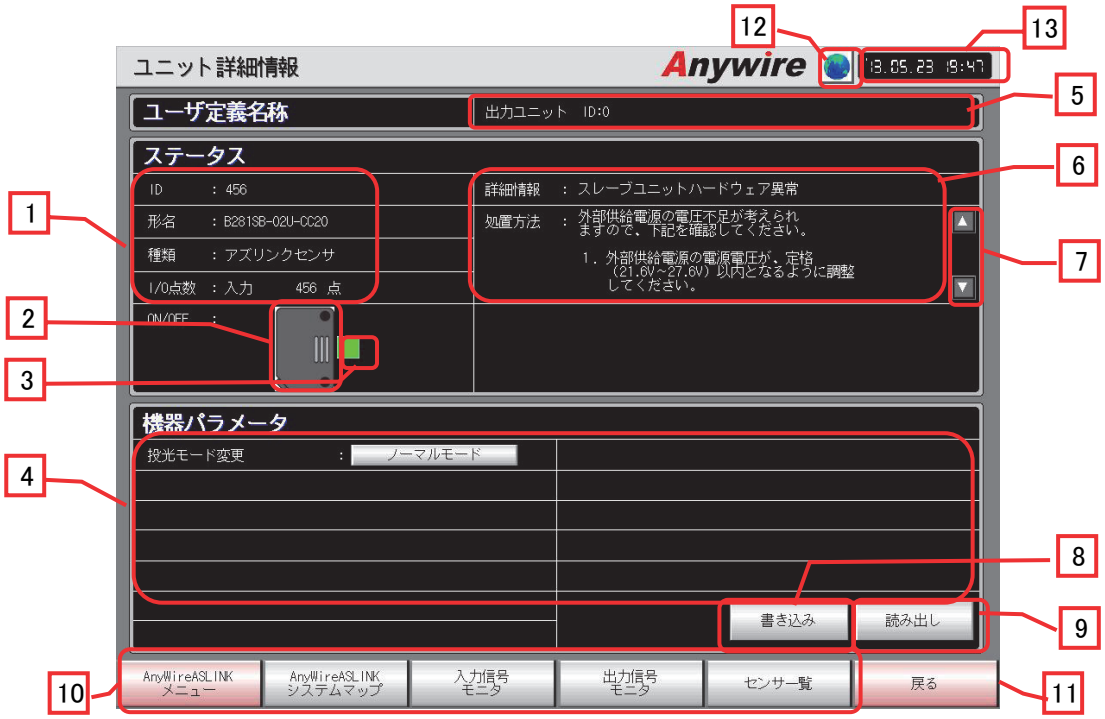
## 備考

・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。

・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.16 詳細情報(光電センサ(透過型投光))(B-30016)




## 概要

光電センサ(透過型投光)のスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
9. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
10. 各画面に切り換えます。
11. 前回表示していた画面に切り換えます。
12. 言語設定ウィンドウを表示します。
13. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します

## 備考

・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9　スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7　デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.17 詳細情報(近接スイッチ)(B-30017)

## 概要

近接スイッチのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。

・「センシングレベル」のレベル、「しきい値」、「アラーム判定(Hi)」、「アラーム判定(Lo)」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.18 詳細情報(圧力センサ)(B-30018)

## 概要

圧力センサのスレーブユニットの詳細情報を表示、設定します。

## 詳細

1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. スレーブユニットのパラメータを表示、変更します。
5. ユーザ定義名称を表示します。
6. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
7. 処置方法の表示をスクロールします。
8. センシングレベルの現在値を、数値表示とレベルで表示します。
9. 4 で変更したパラメータをスレーブユニットへ書き込みます。書き込み実施後、自動でパラメータの読み出し処理を実施します。
10. スレーブユニットのパラメータを読み出します。
11. 各画面に切り換えます。
12. 前回表示していた画面に切り換えます。
13. 言語設定ウィンドウを表示します。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

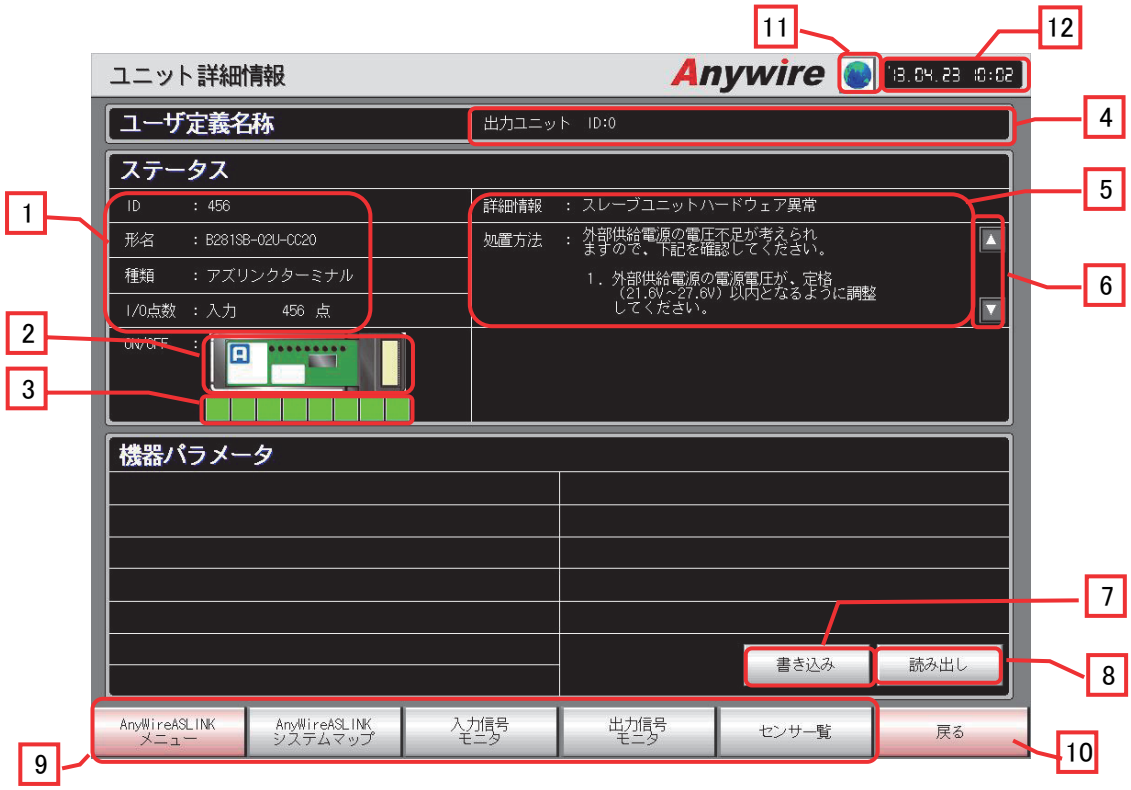
## 備考

・システム稼働中のパラメータ変更は、ユニットの動作が変化する可能性があります。安全をご確認の上、実施してください。

・「センシングレベル」のレベル、「OFF→ON のしきい値」、「ON→OFF のしきい値」の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.19 詳細情報(アズリンクターミナル(ドライバ部))(B-30019)




#### 概要

アズリンクターミナル(ドライバ部)のスレーブユニットの詳細情報を表示します。

#### 詳細

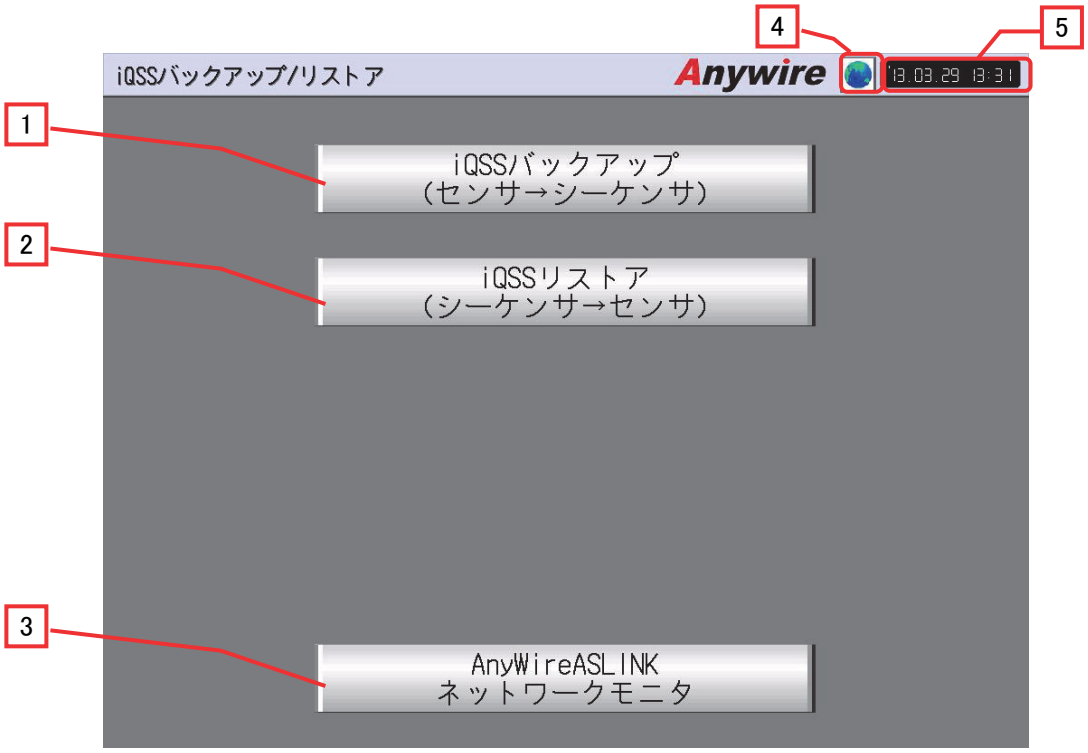
1. スレーブユニットの ID・形名・種類・I/O の種類・点数を表示します。
2. スレーブユニットのイメージを表示します。
3. I/O の状態を表示します。
4. ユーザ定義名称を表示します。
5. 発生中のアラーム、または異常のエラー内容と処置方法を表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラー内容を表示します。
6. 処置方法の表示をスクロールします。
7. 書き込むパラメータがないため、タッチしても動作しません。
8. 読み出すパラメータがないため、タッチしても動作しません。
9. 各画面に切り換えます。
10. 前回表示していた画面に切り換えます。
11. 言語設定ウィンドウを表示します。
12. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

#### 備考

・ユーザ定義名称は、ユーザで任意に表示したい情報(スレーブユニットの設置場所など)を表示できます。表示するためには、表示したい情報を GOT のコメントに登録してください。詳細は、「6.1 ユーザ定義名称の登録について」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.20 iQSSメニュー(B-30100)




**概要**

iQSS バックアップ/リストア(シーケンサ⇔センサ)機能のメニュー画面です。

**詳細**

1. iQSS バックアップ画面に切り換えます。
2. iQSS リストア画面に切り換えます。
3. AnyWireASLINK ネットワークモニタ機能のメニュー画面(AnyWireASLINK メニュー画面)に切り換えます。
4. 言語設定ウィンドウを表示します。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・iQSS バックアップ設定、iQSS バックアップ履歴を拡張レシピファイルから読み出します。、拡張レシピ機能については「5.8 拡張レシピ一覧」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.21 iQSSバックアップ(B-30101)

## 概要

選択状態の iQSS バックアップ設定のパラメータに従って iQSS バックアップを実行します。また、iQSS バックアップ設定の編集、削除を実行します。

## 詳細

1. iQSS バックアップ設定を一覧表示します。iQSS バックアップ設定をタッチするとカーソルが表示され、選択状態になります。
2. 選択状態の iQSS バックアップ設定を削除します。
3. 一覧を上下方向にスクロールします。10 件ごとに表示が切り換わります。下方向は、最大で No.100 まで表示します。
4. iQSS バックアップ進捗画面に切り換えると同時に、選択状態の iQSS バックアップ設定のパラメータに従って iQSS バックアップを実行します。スイッチのタッチ時に選択状態の iQSS バックアップ設定が未登録の場合は、エラーダイアログを表示します。
5. iQSS バックアップ設定画面に切り換えます。
6. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
7. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

- iQSS バックアップ件数は、最大 100 件まで可能です。101 件目のバックアップを実行する際には、最も古いデータに上書きする旨のメッセージが表示されます。
- 削除操作では、拡張レシピファイルに保存されている iQSS バックアップ設定を削除します。拡張レシピ機能については、「5.8　拡張レシピ一覧」を参照してください。
- 「実行単位」のワードランプにオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトについては「5.9　スクリプト一覧」を参照してください。

・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9　スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7　デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.22 iQSSバックアップ設定(B-30102)

**概要**

iQSS バックアップ設定を登録します。

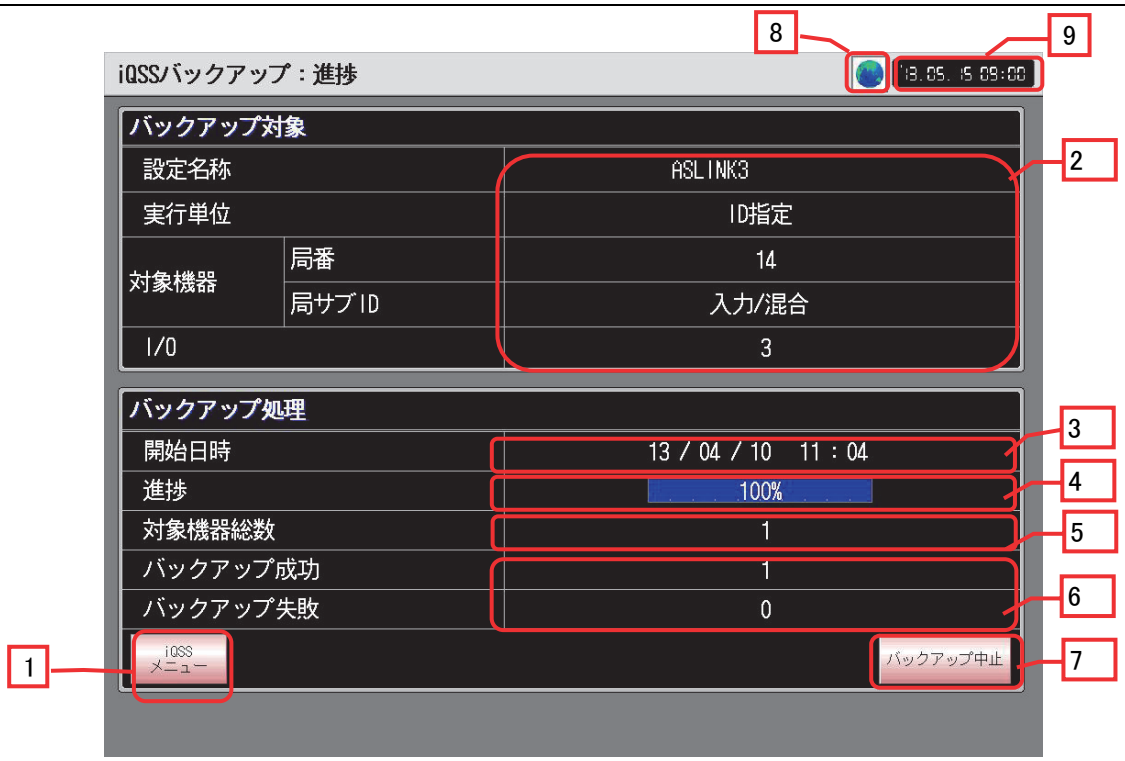
**詳細**

1. 登録番号を表示します。
2. iQSS バックアップ設定の名称を入力します。
3. iQSS バックアップ対象機器が接続されているネットワークユニットの種別を表示します。
4. iQSS バックアップ対象を指定します。
   全 ID･･･全ての iQSS 対応センサ
   ID 指定･･･指定した ID の iQSS 対応センサ
   出力、入力/混合･･･指定した iQSS 対応センサのユニットタイプ
5. iQSS バックアップデータの格納先フォルダ名となるフォルダ番号を自動的に割り付ける設定としています。フォルダ番号には、0～99 の値が自動割り付けされます。
6. iQSS バックアップ対象機器が接続されているネットワークユニットの I/O No.を 16 で割った値を入力します。
7. iQSS バックアップの実行時に、エラーが発生した際の動作を指定します。
   続行･･･複数の iQSS 対応センサに対してバックアップ実行中に一部の機器のバックアップが失敗した場合でも、処理を続行します。
   停止･･･複数の iQSS 対応センサに対してバックアップ実行中に一部の機器のバックアップが失敗した場合、処理を停止します。
8. 前回表示していた画面に切り換えます。
9. 設定内容を保存します。保存完了時には、完了ダイアログを表示します。設定内容に不備があった場合は、エラーダイアログを表示します。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- iQSS バックアップ設定の登録は画面スクリプトと拡張レシピ機能を使用しています。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」、拡張レシピ機能については「5.8 拡張レシピ一覧」を参照してください。
- プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.23 iQSSバックアップ：進捗(B-30103)




**概要**

iQSS バックアップの進捗状況と結果を表示します。

**詳細**

1. iQSS メニュー画面へ切り換えます。iQSS バックアップ中は非表示となり、iQSS バックアップ完了後に表示されます。
2. iQSS バックアップの設定を表示します。
3. iQSS バックアップを開始した日時を表示します。
4. iQSS バックアップ対象機器 1 台分のバックアップの進捗を%とバーグラフで表示します。iQSS バックアップ対象機器 1 台分のバックアップが完了すると「100%」を表示し、バーグラフの色が黒色から青色に変わります。iQSS バックアップ対象機器が複数台ある場合は、個々の進捗を表示します。
5. iQSS バックアップ対象機器の総数を表示します。
6. iQSS バックアップが成功、または失敗した機器数を表示します。
7. iQSS バックアップを中止します。iQSS バックアップ中は表示され、iQSS バックアップ完了後に非表示となります。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- iQSS バックアップの中止は、確認ウィンドウで「OK」をタッチするまで中止されません。
- iQSS バックアップが失敗した場合は、対象機器総数・バックアップ成功・バックアップ失敗がそれぞれ 0 件となる場合があります。
- iQSS バックアップ履歴は、画面スクリプトと拡張レシピ機能を使用して保存します。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」、拡張レシピ機能については「5.8 拡張レシピ一覧」を参照してください。
- プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.24 iQSSリストア(B-30104)

## 概要

iQSS バックアップ履歴に対応した iQSS リストア設定のパラメータに従って iQSS リストアを実行します。また、iQSS バックアップ履歴に対応した iQSS リストア設定の確認、iQSS バックアップ履歴の削除を実行します。

## 詳細

1. iQSS バックアップ履歴を一覧表示します。iQSS バックアップ履歴をタッチするとカーソルが表示され、選択状態になります。iQSS バックアップ履歴は、新しい履歴から順に上から表示されます。
2. 選択状態の iQSS バックアップ履歴を削除します。iQSS バックアップ履歴が削除されると、削除された iQSS バックアップ履歴より古い履歴が 1 行ずつ上に繰り上げて表示されます。
3. iQSS バックアップ履歴を全て削除します
4. 一覧を上下方向にスクロールします。10 件ごとに表示が切り換わります。下方向は、最大で No.200 まで表示します。
5. iQSS リストア進捗画面に切り換えると同時に、選択状態の iQSS バックアップ履歴に対応したリストア設定のパラメータに従って iQSS リストアを実行します。また、iQSS バックアップ履歴が表示されていない箇所を選択して iQSS リストアを実行した場合は、エラーダイアログを表示します。
6. iQSS リストア設定画面に切り換えます。
7. 各画面に切り換えます。緑色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
8. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
9. 前回表示していた画面に切り換えます。
10. 言語設定ウィンドウを表示します。
11. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

- iQSS バックアップの実行時に、シーケンサに装着された SD カード内に iQSS バックアップデータが作成された場合のみ iQSS バックアップ履歴が作成されます。
- 異常終了や中断した iQSS バックアップの履歴に対応した iQSS リストア設定からはリストアできません。

・削除操作では、GOT に装着した CF カード内に保存している iQSS バックアップ履歴を削除しています。実際の iQSS バックアップデータは、シーケンサ CPU に装着された SD カード内にあり、GOT からは削除できない仕様となっていますのでご注意ください。また、iQSS バックアップデータを SD カードから削除した場合、該当する iQSS バックアップ履歴からリストアできなくなりますのでご注意ください。
・シーケンサ CPU に装着された SD カード内のフォルダ構成は、「6.5 iQSS バックアップフォルダ構成」を参照してください。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9 スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7 デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.25 iQSSリストア設定(B-30105)

## 概要

iQSS リストア設定を確認します。iQSS リストア設定の内容は、フォルダ番号を除き、iQSS バックアップを実行した時の設定内容と同一です。

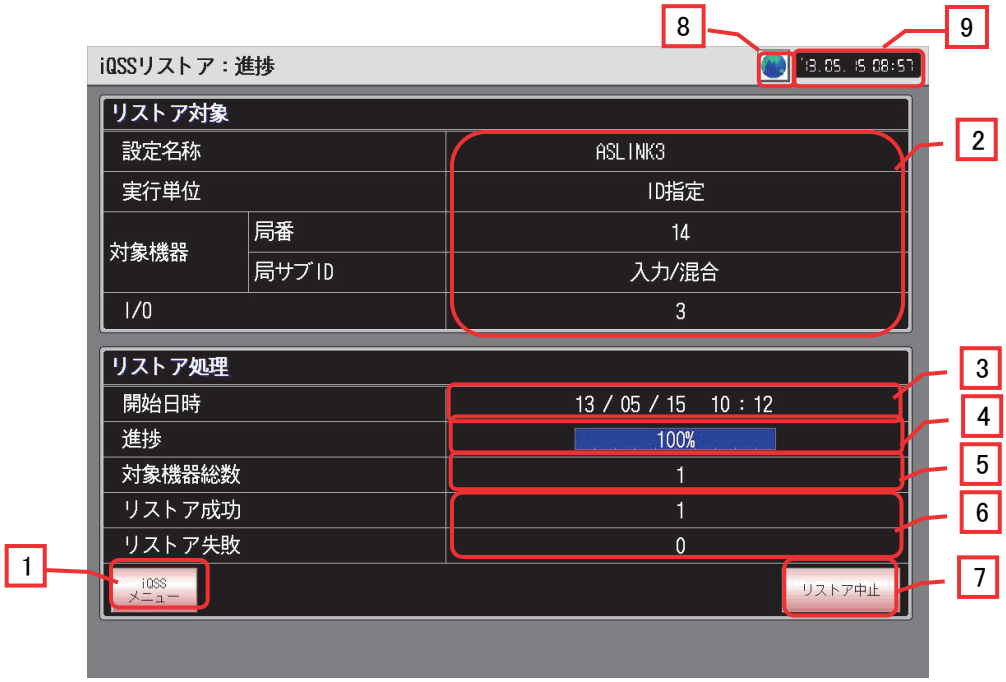
## 詳細

1. iQSS バックアップ履歴の No.を表示します。
2. 前回表示していた画面に切り換えます。
3. iQSS バックアップ設定の名称を表示します。
4. iQSS バックアップを実行した時の対象機種を表示します。
5. iQSS リストア対象(= iQSS バックアップを実行した時の iQSS バックアップ対象)を表示します。
6. iQSS バックアップを実行した時に iQSS バックアップデータを格納したフォルダ番号を表示します。
7. iQSS バックアップを実行した時に iQSS バックアップ対象機器が接続されていたネットワークユニットの I/O No.を表示します。
8. iQSS リストアの実行時に、エラーが発生した際の動作を表示します。iQSS バックアップを実行した時の設定と同じです。
9. 言語設定ウィンドウを表示します。
10. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

・表示は iQSS バックアップ設定画面と同様です。
・プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9　スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7　デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.26 iQSSリストア：進捗(B-30106)




## 概要

iQSS リストアの進捗を表示します。

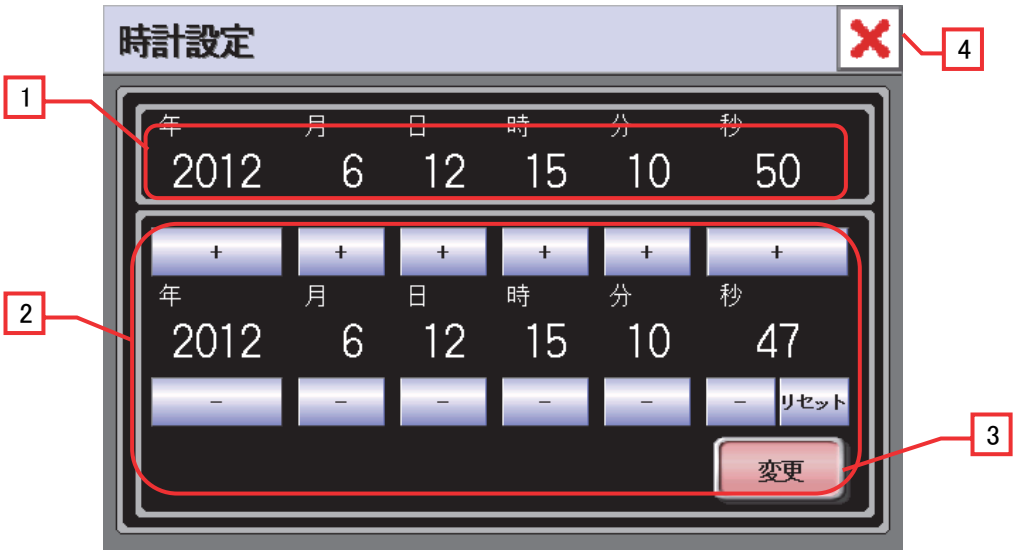
## 詳細

1. iQSS メニュー画面へ切り換えます。iQSS リストア中は非表示となり、iQSS リストア完了後に表示されます。
2. iQSS リストアの設定を表示します。iQSS リストア設定の内容は、iQSS バックアップを実行した時の設定内容と同一です。
3. iQSS リストアを開始した日時を表示します。
4. iQSS リストア対象機器 1 台分のリストアの進捗を%とバーグラフで表示します。iQSS リストア対象機器 1 台分のリストアが完了すると「100%」を表示し、バーグラフの色が黒色から青色に変わります。iQSS リストア対象機器が複数台ある場合は、個々の進捗を表示します。
5. iQSS リストア対象機器の総数を表示します。
6. iQSS リストアが成功、または失敗した機器数を表示します。
7. iQSS リストアを中止します。iQSS リストア中は表示され、iQSS リストア完了後に非表示となります。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。
9. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。

## 備考

- iQSS リストアの中止は、確認ウィンドウで「OK」をタッチするまで中止されません。
- iQSS リストアでエラーが発生した際は、対象機器総数・リストア成功・リストア失敗はそれぞれ 0 件となる場合があります。
- プロジェクトスクリプトを使用して、アラーム、または異常の件数を毎秒監視しています。件数に差が発生した際には、デバイスデータ転送機能を使用して最新のパラメータを読み込みます。スクリプトについては「5.9　スクリプト一覧」を、デバイスデータ転送機能については「5.7　デバイスデータ転送一覧」を参照してください。

### 5.3.27 時計設定(W-30001)




**概要**

GOT の時計データを変更します。

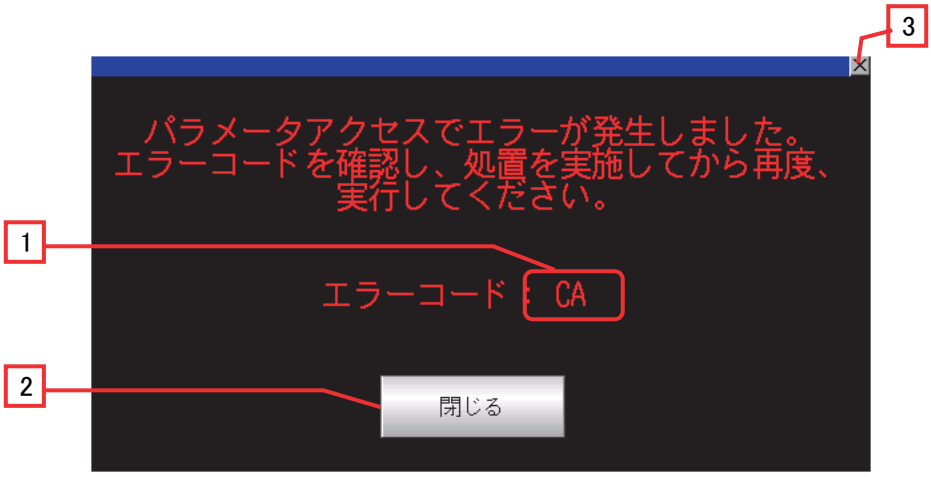
**詳細**

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を[ + ] [ − ]スイッチで設定します。[ + ] [ − ]スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
・変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

### 5.3.28 パラメータアクセスエラー(W-30002)




**概要**

パラメータアクセスでエラーが発生した際に表示します。

**詳細**

1. 発生中のアラーム、または異常のエラーコードを表示します。複数のアラーム、または異常が発生した場合は、最新のエラーコードを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

### 5.3.29 言語設定(W-30003)

**概要**

GOT で表示する言語を選択します。

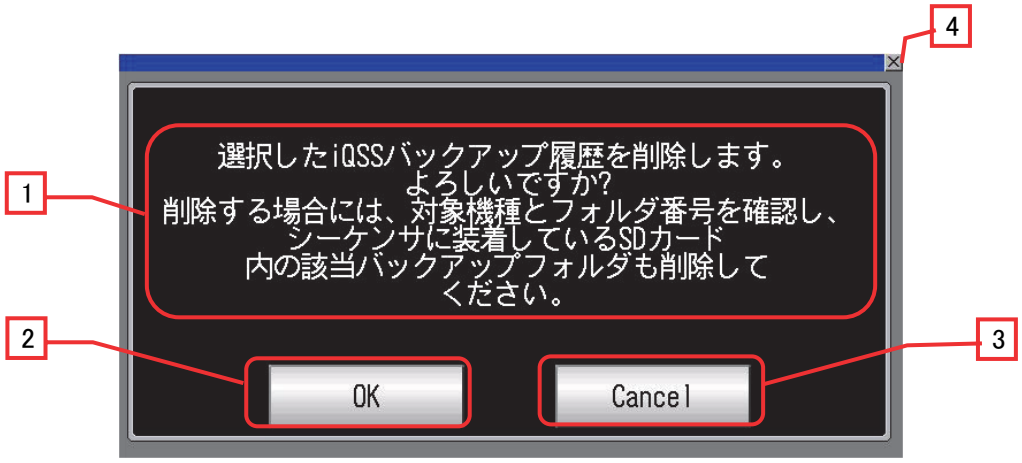
**詳細**

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

### 5.3.30 データ削除確認ダイアログ(W-30004)




**概要**

iQSS バックアップ設定、または iQSS バックアップ履歴の削除を確認します。

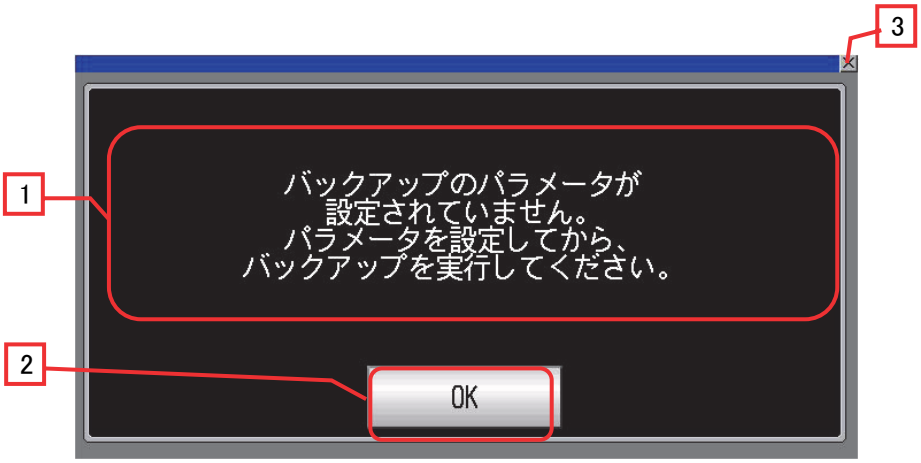
**詳細**

1. メッセージを表示します。
2. 対象のデータを削除し、ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・表示するメッセージは、どのスイッチからウィンドウ画面を開いたかで異なります。

### 5.3.31 通知ダイアログ(W-30005)




**概要**

処理結果を通知します。

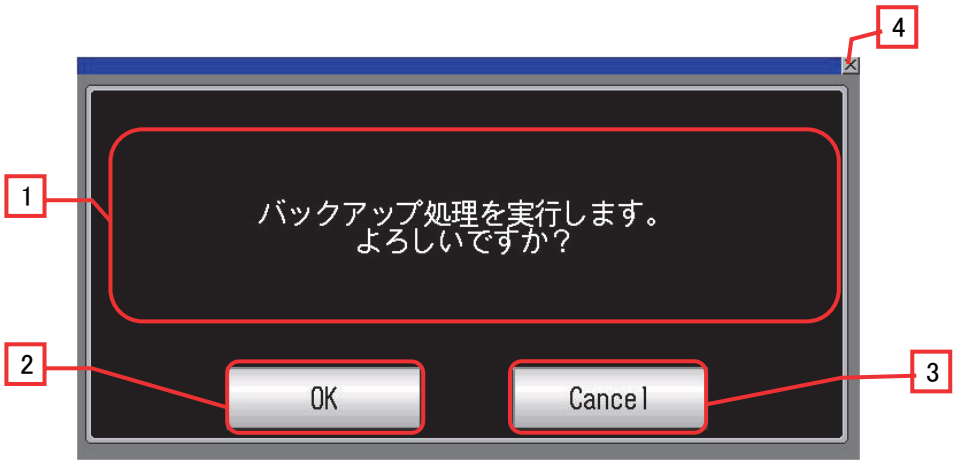
**詳細**

1. メッセージを表示します。
2. ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・メッセージの内容は、ウィンドウを読み出したスクリプトによって異なります。スクリプトの詳細は、「5.9 スクリプト一覧」を参照してください。

### 5.3.32 実行確認ダイアログ(W-30006)




**概要**

各種動作をする前に確認をします。

**詳細**

1. メッセージを表示します。
2. 各種動作を実行し、ウィンドウ画面を閉じます。
3. ウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・メッセージの内容、動作については、表示されるベース画面によって異なります。

iQSS バックアップ画面・・・・・・・・・iQSS バックアップ実行
iQSS バックアップ：進捗画面・・・・iQSS バックアップ中止
iQSS リストア画面・・・・・・・・・・・・・iQSS リストア実行
iQSS リストア：進捗画面・・・・・・・iQSS リストア中止

## 5.4 スレーブユニット詳細情報画面対応表

| スレーブユニット形名ナンバー | 形名 | 大分類 | ベース画面 No. |
|---|---|---|---|
| 100 | B281SB-02U-CC20 | アズリンカ | B-30005 |
| 101 | B281SB-02US-CC20 | アズリンカ | B-30005 |
| 102 | B280SB-02U-C1220 | アズリンカ | B-30007 |
| 103 | B280SB-02US-C1220 | アズリンカ | B-30007 |
| 104 | BL287SB-02F-CC20 | アズリンカ | B-30006 |
| 105 | BL287SB-02FS-CC20 | アズリンカ | B-30006 |
| 106 | B298SB-02U-M12 | アズリンカ | B-30008 |
| 107 | B298SB-02US-M12 | アズリンカ | B-30008 |
| 400 | B281PB-02U-CC20 | アズリンカ | B-30005 |
| 401 | B281PB-02US-CC20 | アズリンカ | B-30005 |
| 402 | B280PB-02U-C1220 | アズリンカ | B-30007 |
| 403 | B280PB-02US-C1220 | アズリンカ | B-30007 |
| 404 | BL287PB-02F-CC20 | アズリンカ | B-30006 |
| 405 | BL287PB-02FS-CC20 | アズリンカ | B-30006 |
| 406 | B298PB-02U-M12 | アズリンカ | B-30008 |
| 407 | B298PB-02US-M12 | アズリンカ | B-30008 |
| 700 | B281XB-02U-CC20 | アズリンカ | B-30005 |
| 701 | B281XB-02US-CC20 | アズリンカ | B-30005 |
| 702 | B280XB-02U-C1220 | アズリンカ | B-30007 |
| 703 | B280XB-02US-C1220 | アズリンカ | B-30007 |
| 704 | BL287XB-02F-CC20 | アズリンカ | B-30006 |
| 705 | BL287XB-02FS-CC20 | アズリンカ | B-30006 |
| 706 | B298XB-02U-M12 | アズリンカ | B-30008 |
| 707 | B298XB-02US-M12 | アズリンカ | B-30008 |
| 1000 | B289SB-01AP-CAM20 | アズリンクアンプ | B-30010 |
| 1050 | B289SB-01AP-CAS | アズリンクアンプ | B-30010 |
| 1200 | B289SB-01AK-CAM20 | アズリンクアンプ | B-30011 |
| 1250 | B289SB-01AK-CAS | アズリンクアンプ | B-30011 |
| 1400 | B289SB-01AF-CAM20 | アズリンクアンプ | B-30012 |
| 1450 | B289SB-01AF-CAS | アズリンクアンプ | B-30012 |
| 2000 | B285SB-01-1K1 | アズリンクセンサ | B-30013 |
| 2300 | B283SB-01-1KR | アズリンクセンサ | B-30014 |
| 2301 | B283SB-01-1KS | アズリンクセンサ | B-30014 |
| 2302 | B283SB-01-1KC | アズリンクセンサ | B-30015 |
| 2303 | B283SB-01-1KP | アズリンクセンサ | B-30016 |
| 2600 | B295SB-01-1K26 | アズリンクセンサ | B-30017 |
| 2900 | B284SB-01-12 | アズリンクセンサ | B-30018 |
| A000 | BL296SB-08F-3 | アズリンクターミナル | B-30019 |
| A001 | BL296SB-08FS-3 | アズリンクターミナル | B-30019 |
| A300 | BL296PB-08F-3 | アズリンクターミナル | B-30019 |
| A301 | BL296PB-08FS-3 | アズリンクターミナル | B-30019 |
| A600 | BL296XB-08F-3 | アズリンクターミナル | B-30019 |
| A601 | BL296XB-08FS-3 | アズリンクターミナル | B-30019 |

## 5.5 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 Version1 画面設計マニュアル(共通編)」を参照してください。

### 5.5.1 接続機器のデバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | X0041 | パラメータアクセス完了フラグ |
| | X0042 | パラメータアクセス異常 |
| | Y0030 | 異常フラグクリア指令 |
| | Y0040 | マスタからスレーブへのパラメータアクセス要求指令 |
| | Y0041 | マスタからスレーブへのパラメーター斉読出し指令 |
| | SM1435 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行許可ビット |
| | SM1436 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ要求ビット |
| | SM1437 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ正常完了ビット |
| | SM1438 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ異常完了ビット |
| | SM1439 | iQ Sensor Solution 対応リストア要求ビット |
| | SM1440 | iQ Sensor Solution 対応リストア正常完了ビット |
| | SM1441 | iQ Sensor Solution 対応リストア異常完了ビット |
| | SM1442 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア中止要求ビット |
| ワード | BM03-0～BM03-15 | 入力情報エリア(BM03-0 は、デバイスデータ転送の基準デバイスとしても使用) |
| | BM03-1 | デバイスデータ転送の基準デバイスとして使用 |
| | BM03-20 | デバイスデータ転送の基準デバイスとして使用 |
| | BM03-40 | センシングレベルの基準デバイスとして使用 |
| | BM03-4096 ～ BM03-4111 | 出力情報エリア |
| | BM03-8192 | 異常 ID 個数情報 |
| | BM03-8193 ～ BM03-8320 | 異常 ID 情報格納エリア |
| | BM03-8960 | 接続台数情報 |
| | BM03-9216 | 接続 ID 個数情報 |
| | BM03-9217 ～ BM03-9344 | 接続 ID 情報格納エリア |
| | BM03-9984 | アラーム ID 個数情報 |
| | BM03-9985 ～ BM03-10112 | アラーム ID 情報格納エリア |
| | BM03-10256 | 最新エラーコード格納エリア |
| | BM03-10320 | パラメータアクセス設定 |
| | BM03-10321 | パラメータアクセス対象 ID 指定 |
| | BM03-10496 ～ BM03-10751 | パラメータ格納先メモリ番号(出力) |
| | BM03-11008 ～ BM03-11263 | パラメータ格納先メモリ番号(入力) |
| | BM03-12288 ～ BM03-18431 | パラメータ格納エリア |
| | SD1435 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア使用要求デバイス |
| | SD1436 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア使用権取得状況デバイス |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ワード | SD1437 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象機器/実行単位設定デバイス |
| | SD1438 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象フォルダ番号設定デバイス |
| | SD1439 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象ユニット) |
| | SD1440 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象機器 1) |
| | SD1441 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象設定デバイス(対象機器 2) |
| | SD1444 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア動作設定デバイス |
| | SD1446 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア状態デバイス |
| | SD1447 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(総対象機器数) |
| | SD1448 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(正常完了機器数) |
| | SD1449 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(異常完了機器数) |
| | SD1450 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア実行状況デバイス(機器単位進捗) |
| | SD1451 | iQ Sensor Solution 対応バックアップフォルダ番号デバイス |
| | SD1452 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストアユニットエラー要因 |
| | SD1453 | iQ Sensor Solution 対応バックアップ/リストア対象機器エラー要因 |

### 5.5.2 GOTの内部デバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | GB40 | スクリプトトリガ(常時 ON) |
| | GB41 | 各種ビットデバイスクリア(常時 OFF) |
| | GB30000 | スクリプト No.7 起動トリガ |
| | GB30001 | スクリプト No.5 起動トリガ |
| | GB30002 | スクリプト No.19 起動トリガ |
| | GB30003 | スクリプト No.6 初回起動スクリプト起動制御フラグ |
| | GB30004 | スクリプト No.8 起動トリガ |
| | GB30005 | スクリプト No.9 起動トリガ |
| | GB30006 | スクリプト No.12 起動トリガ |
| | GB30007 | スクリプト No.26 初回起動スクリプト起動制御フラグ |
| | GB30008 | スクリプト No.17 起動トリガ |
| | GB30009 | スクリプト No.19ID 一致フラグ |
| | GB30010 | スクリプト No.1 起動トリガ |
| | GB30011 | スクリプト No.33 起動トリガ |
| | GB30012 | スクリプト No.34 起動トリガ |
| | GB30013 | スクリプト No.35 起動トリガ |
| | GB30014 | スクリプト No.27 起動トリガ |
| | GB30015 | スクリプト No.28 起動トリガ |
| | GB30016 | OFF 中スクリプト制御フラグ |
| | GB30017 | OFF 中スクリプト制御フラグ |
| | GB30018 | スクリプト No.37 起動トリガ |
| | GB30019 | スクリプト No.41 起動トリガ |
| | GB30020 | スクリプト No.19 複合ユニットフラグ |
| | GB30021 | OFF 中スクリプト制御フラグ |
| | GB30024 | パラメータ個別読み出しランプビット |
| | GB30025 | パラメータ個別書き込みランプビット |
| | GB30026 | スクリプト No.47 起動トリガ |
| | GB30027 | スクリプト No.48 初回起動スクリプト起動制御フラグ |
| | GB30600 | 出力判定フラグ |
| | GB30601 | 入力判定フラグ |
| | GB54000 | スクリプト No.30024 起動トリガ |
| | GB54001 | スクリプト No.30025 起動トリガ |
| | GB54002 | スクリプト No.30030 起動トリガ |
| | GB54004 | iQSS バックアップ許可フラグ |
| | GB54005 | スクリプト No.30034 起動トリガ |
| | GB54006 | スクリプト No.30036 起動トリガ |
| | GB54008 | スクリプト No.30033 初回起動スクリプト起動制御フラグ |
| | GB54009 | スクリプト No.30005、30008 制御フラグ |
| | GB54010 | スクリプト No.30040 起動トリガ |
| | GB54011 | スクリプト No.30042 起動トリガ |
| | GB54012 | スクリプト No.30036 削除範囲設定フラグ |
| | GB54013 | スクリプト No.30028 起動トリガ |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | GB54014 | B-30100 画面切換スイッチ動作条件 |
| | GB54016 | 拡張レシピ No.30001 書き込みトリガ |
| | GB54017 | 拡張レシピ No.30001 読み出しトリガ |
| | GB54018 | 拡張レシピ No.30002 書き込みトリガ |
| | GB54019 | 拡張レシピ No.30002 読み出しトリガ |
| ワード | GD31000～GD31255 | B-30003 スレーブユニット状態表示ランプ |
| | GD31256～GD31511 | B-30002 スレーブユニット状態表示ランプ |
| | GD31520 | B-30002、B-30003 カーソル表示のビットシフト用デバイス |
| | GD31521 | B-30002、B-30003 カーソル表示のオフセット用デバイス |
| | GD31522 | B-30002、B-30003 現在のカーソル位置デバイス |
| | GD31523 | B-30001 オフセット値演算用デバイス |
| | GD31524 | B-30001 入出力チェックデバイス |
| | GD31525 | B-30001 システムマップスクロール用オフセット |
| | GD31526 | B-30001 システムマップ部品表示用オフセット |
| | GD31528 | B-30004 センサー覧詳細表示用オフセット |
| | GD31529 | B-30004 センサー覧スクロール用オフセット |
| | GD31562 | デバイスデータ転送 1　外部制御デバイス |
| | GD31563 | デバイスデータ転送 1　外部通知デバイス |
| | GD31564 | デバイスデータ転送 2　外部制御デバイス |
| | GD31565 | デバイスデータ転送 2　外部通知デバイス |
| | GD31567 | デバイスデータ転送 2 のオフセット |
| | GD31568 | デバイスデータ転送 3　外部制御デバイス |
| | GD31569 | デバイスデータ転送 3　外部通知デバイス |
| | GD31570 | デバイスデータ転送 5　外部制御デバイス |
| | GD31571 | デバイスデータ転送 5　外部通知デバイス |
| | GD31600～GD31606 | スクリプト用ワークエリア |
| | GD31607 | B-30005～30019 スレーブユニット形名ナンバー格納デバイス |
| | GD31608 | B-30005～30019 ステータス状態 |
| | GD31609～GD31616 | B-30005～30019I/O モニタの部品表示 |
| | GD31617～GD31631 | B-30004 ユニットの種類 |
| | GD31633～GD31647 | B-30004 ステータス詳細 |
| | GD31649～GD31663 | B-30004 ユーザ定義名称 |
| | GD31665～GD31679 | B-30004 状態表示ランプ |
| | GD31681 | B-30005～30019 処置方法の表示開始行デバイス |
| | GD31682～GD31989 | B-30005～30019 詳細情報の I/O 用オフセット |
| | GD31990～GD31997 | B-30005～30019 詳細情報の I/O のマスク用デバイス(オブジェクトスクリプト) |
| | GD32000～GD32007 | B-30005～30019 詳細情報の I/O のワードランプステータスデバイス |
| | GD32008 | B-30002、B-30003 カーソル位置表示用デバイス |
| | GD33020 | スクリプト No.5 入力/出力エリアチェック用デバイス |
| | GD35000～GD35127 | B-30001 システムマップ表示用デバイス |
| | GD35128 | B-30001 センサタイプ　オフセット用デバイス |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ワード | GD35130～GD35642 | B-30002、B-30003 ユニットタイプ格納用デバイス |
| | GD35643 | B-30004 ユニット情報表示トリガデバイス |
| | GD40000～GD40015 | 入力情報エリア |
| | GD40016～GD40031 | 出力情報エリア |
| | GD40032 | 異常 ID 個数 |
| | GD40033～GD40160 | 接続 ID 情報格納エリア |
| | GD40289 | 接続台数情報 |
| | GD40290 | 接続 ID 個数 |
| | GD40291～GD40418 | 接続 ID 情報格納エリア |
| | GD40547 | アラーム個数 |
| | GD40548～GD40675 | アラーム ID 情報格納エリア |
| | GD40804～GD41059 | パラメータ格納先メモリ番号(出力) |
| | GD41060～GD41315 | パラメータ格納先メモリ番号(入力) |
| | GD41316～GD47459 | 機器パラメータ(一括) |
| | GD53604～GD53632 | 機器パラメータ(個別) |
| | GD54000 | B-30101 カーソル表示デバイス |
| | GD54001 | B-30101 データ表示オフセットデバイス |
| | GD54002 | B-30104 カーソル表示デバイス |
| | GD54003 | B-30104 データ表示オフセットデバイス |
| | GD54004 | 拡張レシピ動作制御デバイス |
| | GD54005 | B-30101No.表示デバイス |
| | GD54006 | W-30004～30006 コメント表示デバイス |
| | GD54007 | B-30101 データ移動用オフセットデバイス |
| | GD54008 | B-30104 データ移動用オフセットデバイス |
| | GD54009 | 拡張レシピ外部制御デバイス |
| | GD54010 | レシピ No.格納デバイス |
| | GD54011 | レコード No.格納デバイス |
| | GD54012 | 拡張レシピ外部通知デバイス |
| | GD54013 | レシピ No.通知デバイス |
| | GD54014 | レコード No.通知デバイス |
| | GD54015～GD54034 | B-30101、B-30102 バックアップ設定ワークエリア |
| | GD54035～GD54039 | B-30102 バックアップ設定コメント表示デバイス |
| | GD54040～GD54042 | B-30103、B-30106 バックアップ/リストア開始時間格納デバイス |
| | GD54043～GD54062 | B-30105 バックアップデータ詳細表示用エリア |
| | GD54070～GD54074 | B-30105 バックアップデータ詳細コメント表示デバイス |
| | GD54075 | スクリプト No.30001 対象機器判定デバイス |
| | GD54076～GD54085 | B-30101 実行単位コメント表示デバイス |
| | GD54086 | B-30101、B-30102 ユニットタイプ選択スイッチ表示フラグ |
| | GD54087 | AnyWireASLINK のバックアップ件数 |
| | GD54088 | CC-Link のバックアップ件数 |
| | GD54089 | スクリプト No.30001 機器専用画面設定時の I/O No. |
| | GD54090 | 拡張レシピ No.30001　レコード No. |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ワード | GD54091 | 拡張レシピ No.30002 レコード No. |
| | GD54100～GD56199 | バックアップ設定格納エリア |
| | GD56200～GD61599 | バックアップ結果格納エリア |
| | GD62000 | ベース画面切換デバイス |
| | GD62001 | オーバーラップウィンドウ 1 画面切換デバイス |
| | GD62004 | オーバーラップウィンドウ 2 画面切換デバイス |
| | GD62021 | 言語切り換えデバイス |
| | GD62022 | システム言語切り換えデバイス |
| | GD62300 | 時間変更デバイス(年) |
| | GD62301 | 時間変更デバイス(月) |
| | GD62302 | 時間変更デバイス(日) |
| | GD62303 | 時間変更デバイス(時) |
| | GD62304 | 時間変更デバイス(分) |
| | GD62305 | 時間変更デバイス(秒) |
| | GS386 | プロジェクト/ 画面スクリプト初回動作制御デバイス |
| | GS513～GSS516 | 変更時刻デバイス |
| | GS650～GSS652 | 現在時刻デバイス |
| | GS654 | タッチ状態外部通知(X 座標) |
| | GS655 | タッチ状態外部通知(Y 座標) |
| | TMP0 ～ TMP28 、<br>TMP100 ～ TMP105 、<br>TMP110 ～ TMP111 、<br>TMP120 ～ TMP126 、<br>TMP200 ～ TMP206 、<br>TMP211 ～ TMP213 、<br>TMP220 ～ TMP223 、<br>TMP1000、TMP1001、<br>TMP1010、TMP1020 | スクリプト演算用 |

## 5.6 コメント一覧

| コメントグループ No. | コメント No. | ベース/ウィンドウ画面 No. |
|---|---|---|
| 1 | No.20 | B-30001 |
| | No.22 | B-30002 |
| | No.23 | B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.24 | B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.25 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.26 | B-30001～30008、B-30010～30019 |
| | No.27 | B-30000、B-30001 |
| | No.28 | B-30001～30008、B-30010～30019 |
| | No.29 | B-30000～30008、B-30010～30019 |
| | No.30 | B-30000 |
| | No.31 | B-30000 |
| | No.32 | B-30001～30003 |
| | No.33 | B-30001～30003 |
| | No.34 | B-30001～30003 |
| | No.35 | B-30001～30003 |
| | No.36 | B-30001～30004 |
| | No.37 | B-30001 |
| | No.38 | B-30001～30003 |
| | No.39 | B-30001～30003 |
| | No.40 | B-30001～30004、W-30001 |
| | No.41 | B-30001～30008、B-30010～30019 |
| | No.42 | B-30001～30008、B-30010～30019 |
| | No.43 | B-30002～30008、B-30010～30019 |
| | No.44 | - |
| | No.45 | B-30002、B-30003 |
| | No.46 | B-30002、B-30003 |
| | No.47 | B-30002、B-30003 |
| | No.48 | B-30002、B-30003 |
| | No.49 | B-30004 |
| | No.50 | B-30004 |
| | No.51 | B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.52 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.53 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.54 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.55 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.56 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.57 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.58 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.59 | B-30005、B-30007 |
| | No.60 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.61 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.62 | B-30010～30015、B-30017、B-30018 |
| | No.63 | B-30010～30015、B-30017、B-30018 |
| | No.64 | B-30013、B-30018 |
| | No.65 | B-30013、B-30018 |
| | No.66 | B-30013、B-30018 |

| コメントグループ No. | コメント No. | ベース/ウィンドウ画面 No. |
|---|---|---|
| | No.67 | B-30013、B-30018 |
| | No.68 | B-30011、B-30013、B-30017、B-30018 |
| | No.69 | B-30013、B-30017、B-30018 |
| | No.70 | B-30013～30015、B-30017、B-30018 |
| | No.71 | B-30013～30015、B-30017、B-30018 |
| | No.72 | B-30013、B-30017、B-30018 |
| | No.73 | B-30013、B-30017、B-30018 |
| | No.74 | B-30013～30015、B-30017、B-30018 |
| | No.75 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.76 | B-30005、B-30007 |
| | No.77 | B-30005、B-30007 |
| | No.78 | W-30002 |
| | No.79 | W-30002 |
| | No.80 | W-30002 |
| | No.81 | W-30001 |
| | No.82 | W-30001 |
| | No.83 | W-30001 |
| | No.84 | W-30001 |
| | No.85 | W-30001 |
| | No.86 | W-30001 |
| | No.87 | W-30001 |
| | No.88 | W-30001 |
| | No.89 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.90 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| 1 | No.91 | B-30002 |
| | No.92 | B-30003 |
| | No.93 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.94 | B-30000 |
| | No.95 | B-30001～30008、B-30010～30019 |
| | No.96 | B-30000、B-30003 |
| | No.97 | B-30000、B-30002 |
| | No.98 | - |
| | No.99 | B-30100 |
| | No.100 | - |
| | No.101 | - |
| | No.102 | - |
| | No.103 | - |
| | No.104 | - |
| | No.105 | - |
| | No.106 | - |
| | No.107 | - |
| | No.108 | - |
| | No.109 | - |
| | No.110 | - |
| | No.111 | - |
| | No.112 | - |
| | No.113 | - |
| | No.114 | - |
| | No.115 | - |

| コメントグループ No. | コメント No. | ベース/ウィンドウ画面 No. |
|---|---|---|
| | No.116 | - |
| | No.117 | B-30010～30012、B-30014、B-30015、B-30017 |
| | No.118 | B-30010～30012、B-30014、B-30015、B-30017 |
| | No.119 | B-30010～30012、B-30014、B-30015、B-30017 |
| | No.120 | B-30010～30012、B-30014、B-30015、B-30017 |
| | No.121 | B-30010、B-30012、B-30014、B-30015 |
| | No.122 | B-30010、B-30012、B-30014、B-30015 |
| | No.123 | B-30010～30012、B-30014、B-30015 |
| | No.124 | B-30014、B-30015 |
| | No.125 | B-30014、B-30015 |
| | No.126 | B-30010～30012、B-30014、B-30015 |
| | No.127 | B-30010～30012、B-30014～30016 |
| | No.128 | W-30003 |
| | No.129 | B-30010、B-30012 |
| | No.130 | B-30010、B-30012 |
| | No.131 | B-30010、B-30012 |
| | No.132 | B-30010、B-30012 |
| | No.133 | B-30010～30012 |
| | No.134 | B-30010～30012 |
| | No.135 | B-30010～30012 |
| | No.136 | B-30010、B-30012 |
| | No.137 | B-30010、B-30012 |
| | No.138 | B-30011 |
| | No.139 | B-30011 |
| 1 | No.140 | B-30011 |
| | No.141 | B-30011 |
| | No.142 | B-30011 |
| | No.143 | B-30011 |
| | No.144 | B-30014、B-30016 |
| | No.145 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.201 | B-30000、B-30100 |
| | No.202 | B-30101 |
| | No.203 | B-30102 |
| | No.204 | B-30103 |
| | No.205 | B-30104 |
| | No.206 | B-30105 |
| | No.207 | B-30106 |
| | No.208 | B-30100 |
| | No.209 | B-30100 |
| | No.210 | B-30101、B-30102、B-30104、B-30105 |
| | No.211 | B-30102、B-30103、B-30105、B-30106 |
| | No.212 | B-30101～30106 |
| | No.213 | B-30103、B-30106 |
| | No.214 | B-30101 |
| | No.215 | B-30101 |
| | No.216 | B-30101 |
| | No.217 | B-30101 |
| | No.218 | B-30101、B-30104 |
| | No.219 | B-30101、B-30103、B-30104、B-30106 |

| コメントグループ No. | コメント No. | ベース/ウィンドウ画面 No. |
|---|---|---|
| | No.220 | B-30101、B-30104 |
| | No.221 | B-30101、B-30104 |
| | No.222 | B-30101、B-30102、B-30104、B-30105 |
| | No.223 | B-30102、B-30105 |
| | No.224 | B-30102、B-30105 |
| | No.225 | B-30101、B-30103、B-30106 |
| | No.226 | B-30101、B-30103、B-30106 |
| | No.227 | B-30103、B-30106 |
| | No.228 | B-30102、B-30105 |
| | No.229 | B-30105 |
| | No.230 | B-30102、B-30105 |
| | No.231 | B-30102 |
| | No.232 | B-30103、B-30106 |
| | No.233 | B-30103、B-30106 |
| | No.234 | B-30102、B-30105 |
| | No.235 | B-30102、B-30105 |
| | No.236 | B-30102 |
| | No.237 | B-30103 |
| | No.238 | B-30103 |
| | No.239 | B-30103、B-30106 |
| | No.240 | B-30103、B-30106 |
| | No.241 | B-30103、B-30106 |
| | No.242 | B-30103、B-30106 |
| | No.243 | B-30103、B-30106 |
| 1 | No.244 | B-30103、B-30106 |
| | No.245 | B-30101～30103、B-30105、B-30106 |
| | No.246 | B-30103 |
| | No.247 | B-30103 |
| | No.248 | B-30103 |
| | No.249 | B-30104 |
| | No.250 | B-30104 |
| | No.251 | B-30104 |
| | No.252 | B-30106 |
| | No.253 | B-30106 |
| | No.254 | B-30106 |
| | No.255 | B-30106 |
| | No.256 | B-30106 |
| | No.257 | W-30004～30006 |
| | No.258 | W-30004、W-30006 |
| | No.259 | - |
| | No.260 | - |
| | No.261 | - |
| | No.262 | - |
| | No.263 | - |
| | No.264 | - |
| | No.265 | - |
| | No.266 | - |
| | No.267 | - |
| | No.268 | W-30006 |

| コメントグループ No. | コメント No. | ベース/ウィンドウ画面 No. |
|---|---|---|
| 1 | No.269 | W-30006 |
| | No.270 | W-30006 |
| | No.271 | W-30006 |
| | No.272 | W-30004 |
| | No.273 | B-30104 |
| | No.274 | B-30104 |
| | No.275 | B-30101、B-30104 |
| | No.276 | B-30101、B-30104 |
| | No.277 | B-30101、B-30104 |
| | No.278 | B-30104 |
| | No.279 | B-30101、B-30104 |
| | No.280 | W-30006 |
| | No.281 | W-30006 |
| | No.282 | W-30004 |
| | No.283 | B-30102、B-30103、B-30105、B-30106 |
| | No.284 | B-30102、B-30103、B-30105、B-30106 |
| | No.285 | - |
| | No.286 | B-30103、B-30106 |
| | No.287 | B-30101 |
| | No.288 | B-30101 |
| | No.289 | W-30004 |
| 2 | No.1 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.2 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.4 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.8 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.32 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019 |
| | No.100 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.101 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.102 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.103 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.104 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.200 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.201 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.202 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.300 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.301 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.302 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |

| コメントグループ No. | コメント No. | ベース/ウィンドウ画面 No. |
|---|---|---|
| 2 | No.303 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.304 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.305 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.400 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.401 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.500 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019、W-30005 |
| | No.18433 | W-30005 |
| | No.18434 | W-30005 |
| | No.18435 | W-30005 |
| | No.18436 | W-30005 |
| | No.18437 | W-30005 |
| | No.18438 | W-30005 |
| | No.18439 | W-30005 |
| | No.18440 | W-30005 |
| | No.18441 | W-30005 |
| | No.32000 | W-30005 |
| | No.32001 | W-30005 |
| | No.32002 | W-30005 |
| | No.32003 | W-30005 |
| | No.32004 | W-30005 |
| | No.32005 | W-30005 |
| | No.32006 | W-30005 |
| | No.32007 | W-30005 |
| | No.32008 | W-30005 |
| | No.32009 | W-30005 |
| | No.32010 | W-30005 |
| | No.32011 | W-30005 |
| | No.32012 | W-30005 |
| | No.32013 | W-30005 |
| | No.32014 | W-30005 |
| | No.32015 | W-30005 |
| | No.32016 | W-30005 |
| | No.32017 | W-30005 |
| | No.32767 | B-30001、B-30004～30008、B-30010～30019 |
| 3 | No.1 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.2 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.4 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.8 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.32 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.100 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.101 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.102 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.103 | B-30005～30008、B-30010～30019 |

| コメントグループ No. | コメント No. | ベース/ウィンドウ画面 No. |
|---|---|---|
| 3 | No.104 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.200 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.201 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.202 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.300 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.301 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.302 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.303 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.304 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.305 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.400 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.401 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| | No.500 | B-30005～30008、B-30010～30019 |
| 4 | 「5.4 スレーブユニット詳細情報画面対応表」を参照してください。GOT では、スレーブユニットのユニット形名ナンバーごとにコメント No.や表示するベース画面 No.を設定しています。スレーブユニットのユニット形名ナンバーが A0000 以降については GOT のコメント No.10000 以降に設定しています。(GOT のコメント No.にて、A0000 と設定することはできません。) | |
| 5 | | |
| 6 | No.1～255、512～767 | B-30004～30008、B-30010～30019 |

## 5.7 デバイスデータ転送一覧

ID:1 各種ステータス

| 項 目 | | 設 定 |
|---|---|---|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD31562 |
| | トリガデバイス | GD31562.b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD31562.b1 |
| 外部通知情報 | ☑外部通知デバイス | GD31563 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD31563.b0 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD31563.b15 |
| デバイス | ブロック数 | 10 |
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 16 |
| | 転送元デバイス | BM03-0 |
| | 転送先デバイス | GD40000 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 2 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 16 |
| | 転送元デバイス | BM03-4096 |
| | 転送先デバイス | GD40016 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 3 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 129 |
| | 転送元デバイス | BM03-8192 |
| | 転送先デバイス | GD40032 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 4 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | BM03-8960 |
| | 転送先デバイス | GD40289 |
| | オフセット | なし |

| 項　目 | | 設　定 |
|---|---|---|
| ブロック 5 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 129 |
| | 転送元デバイス | BM03-9216 |
| | 転送先デバイス | GD40290 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 6 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 129 |
| | 転送元デバイス | BM03-9984 |
| | 転送先デバイス | GD40547 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 7 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 256 |
| | 転送元デバイス | BM03-10496 |
| | 転送先デバイス | GD40804 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 8 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 256 |
| | 転送元デバイス | BM03-11008 |
| | 転送先デバイス | GD41060 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 9 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD31562.b0 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 10 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GB30016 |
| | オフセット | なし |

ID:2 パラメータ個別読み込み

| 項 目 | | 設 定 |
|---|---|---|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD31564 |
| | トリガデバイス | GD31564.b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD31564.b1 |
| 外部通知情報 | ☑外部通知デバイス | GD31565 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD31565.b0 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD31565.b15 |
| デバイス | ブロック数 | 4 |
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | BM03-0 |
| | 転送先デバイス | GD53604 |
| | オフセット | 転送元 GD31567 |
| ブロック 2 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 28 |
| | 転送元デバイス | BM03-20 |
| | 転送先デバイス | GD53605 |
| | オフセット | 転送元 GD31567 |
| ブロック 3 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD31564.b0 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 4 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GB30021 |
| | オフセット | なし |

ID:3 パラメーター括読み込み

| 項 目 | | 設 定 |
|---|---|---|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD31568 |
| | トリガデバイス | GD31568.b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD31568.b1 |
| 外部通知情報 | ☑外部通知デバイス | GD31569 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD31569.b0 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD31569.b15 |
| デバイス | ブロック数 | 2 |
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 6144 |
| | 転送元デバイス | BM03-12288 |
| | 転送先デバイス | GD41316 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 2 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD31568.b0 |
| | オフセット | なし |

ID:5 パラメータ個別書き込み

| 項 目 | | 設 定 |
|---|---|---|
| デバイスデータ転送トリガ | トリガ種別 | 立上り |
| | 外部制御デバイス | GD31570 |
| | トリガデバイス | GD31570.b0 |
| | 転送元先反転フラグ | GD31570.b1 |
| 外部通知情報 | ☑外部通知デバイス | GD31571 |
| | デバイスデータ転送処理中通知信号 | GD31571.b0 |
| | デバイスデータ転送エラー通知信号 | GD31571.b15 |
| デバイス | ブロック数 | 3 |

| 項　目 | | 設　定 |
|---|---|---|
| ブロック 1 | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 19 |
| | 転送元デバイス | GD53605 |
| | 転送先デバイス | BM03-1 |
| | オフセット | 転送先　GD31567 |
| ブロック 2 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB40 |
| | 転送先デバイス | Y0040 |
| | オフセット | なし |
| ブロック 3 | デバイス形式 | ビット |
| | 点数 | 1 |
| | 転送元デバイス | GB41 |
| | 転送先デバイス | GD31570.b0 |
| | オフセット | なし |

## 5.8 拡張レシピ一覧

### 5.8.1 共通設定

| 外部制御情報 | |
|---|---|
| 外部制御デバイス | GD54009 |
| レシピ No.格納デバイス | GD54010 |
| レコード No.格納デバイス | GD54011 |
| 外部通知情報 | |
| 外部通知デバイス | GD54012 |
| レシピ No.通知デバイス | GD54013 |
| レコード No.通知デバイス | GD54014 |

### 5.8.2 個別設定

**レシピ No.30001 バックアップパラメーター覧**

| 項 目 | | 設 定 |
|---|---|---|
| レシピファイル | - | 使用する |
| | ドライブ名 | A:標準 CF カード |
| | フォルダ名 | Project1 |
| | ファイル名 | ARP30001.G1P |
| トリガデバイス | 書き込みトリガデバイス 1 | GB54016 |
| | 読み出しトリガデバイス 1 | GB54017 |
| | レコード No.デバイス | GD54090 |
| ブロック数 | | 1 |
| レコード数 | | 1 |
| ブロック 1 | デバイス | GD54100 |
| | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 2100 |

**レシピ No.30002　バックアップ結果一覧**

| 項　目 | | 設　定 |
|---|---|---|
| レシピファイル | － | 使用する |
| | ドライブ名 | A:標準 CF カード |
| | フォルダ名 | Project1 |
| | ファイル名 | ARP30002.G1P |
| トリガデバイス | 書き込みトリガデバイス 1 | GB54018 |
| | 読み出しトリガデバイス 1 | GB54019 |
| | レコード No.デバイス | GD54091 |
| ブロック数 | | 2 |
| レコード数 | | 1 |
| ブロック 1 | デバイス | GD56200 |
| | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 5400 |
| ブロック 2 | デバイス | GD54087 |
| | デバイス形式 | 符号付き BIN16 |
| | 点数 | 2 |

## 5.9 スクリプト一覧

| 項 目 | 設 定 |
|---|---|
| プロジェクトスクリプト | 有り |
| 画面スクリプト | 有り：B-30000～30008、B-30010、B-30011、B-30013、B-30014、B-30016～30019、B-30100～30106 |
| オブジェクトスクリプト | 有り：B-30005～30008、B-30010、B-30011、B-30013、B-30014、B-30016～30019、B-30101、W-30001 |
| スクリプトシンボル | 有り |
| オブジェクトスクリプトシンボル | 有り |

### 5.9.1 プロジェクトスクリプト

| | | | |
|---|---|---|---|
| スクリプト No. | 23 | スクリプト名 | Script23 |
| コメント | 初回起動制御 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |
| [w:GS386] = 1;<br>set([b:Y41]); | | | |
| スクリプト No. | 32 | スクリプト名 | Script32 |
| コメント | アラーム、エラー情報取得 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 周期 1 秒 |
| if(([w:GD40032] != [w:BM03-8192]) \|\| ([w:GD40547] != [w:BM03-9984]))<br>{<br>set([b:GD31568.b0]);<br>} | | | |
| スクリプト No. | 36 | スクリプト名 | Script36 |
| コメント | ステータス読み込み | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立下り GD31568.b0 |
| set([b:GD31562.b0]); | | | |
| スクリプト No. | 4 | スクリプト名 | Script4 |
| コメント | デバイスデータ転送フラグクリア | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中周期 3 秒 GD31562.b0 |
| //デバイスデータ転送のフラグをクリアする処理です。<br><br>rst([b:GD31562.b0]); | | | |
| スクリプト No. | 13 | スクリプト名 | Script13 |
| コメント | デバイスデータ転送フラグクリア | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中周期 3 秒 GD31564.b0 |
| //デバイスデータ転送のフラグをクリアする処理です。<br><br>rst([b:GD31564.b0]); | | | |

| スクリプト No. | 30001 | スクリプト名 | Script30001 |
|---|---|---|---|
| コメント | 画面起動時の処理 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
// iQSS バックアップ/リストアサンプル画面の初期化
[w:GS386] = 1;      //スクリプト初回起動 OFF
[w:GD54005] = 1;  //iQSS バックアップの最初の No.を 1 に設定

//対象機器を決定します。
[w:GD54075] = 0;  //0:指定なし、1:ASLINK、2:CC-Link
[w:GD54089] = 0;  //専用画面として使用する場合は、ここに I/O No.を入力してください。

//iQSS バックアップ画面、iQSS リストア画面の一覧の初回表示時は、
//No.1 にカーソルを表示する。
set([b:GD54000.b0]);
set([b:GD54002.b0]);

//画面起動時、iQSS バックアップ設定、iQSS バックアップ履歴を読み込むための
//スクリプトを起動します。
set([b:GB54010]);

//メニュー画面の画面切換スイッチ動作条件
set([b:GB54014]);
```

### 5.9.2 画面スクリプト

**ベース画面 30000**

| スクリプト No. | 38 | スクリプト名 | Script38 |
|---|---|---|---|
| コメント | デバイスデータ転送 3 開始 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 Y41 |

```
if([b:X41] == ON)
{
        set([b:GD31568.b0]);
        rst([b:Y41]);
}
```

| スクリプト No. | 48 | スクリプト名 | Script48 |
|---|---|---|---|
| コメント | ネットワークマップ、センサー覧表示制御 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB40 |

```
//ネットワークマップとセンサー覧が初回起動時に表示されないように制御します。
if([b:GB30027] == OFF)
{
        [w:TMP0000] = 0xFFFF;
        fmov([w:TMP0000],[w:GD35000],128);
        fmov([w:TMP0000],[w:GD31617],48);

}
```

**ベース画面 30001**

| スクリプト No. | 26 | スクリプト名 | Script26 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30001,30004 画面起動時処理 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB40 |

```
if([b:GB30007] == OFF)
{
        set([b:GD31562.b0]);
```

```
        set([b:GB30007]);
}
```

| スクリプト No. | 22 | スクリプト名 | Script22 |
|---|---|---|---|
| コメント | スクリプト No.7 起動 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | OFF 中　GD31563.b0 |

```
//各オブジェクトを表示します。
If([b:GB30016] == OFF)
{
        set([b:GB30000]);
        set([b:GB30016]);
}
```

| スクリプト No. | 7 | スクリプト名 | Script7 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30001　部品表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30000 |

```
//各オブジェクトを表示します。
[w:GD31526] = 0;
[w:TMP0001] = 0;
[w:TMP0004] = 0;
[w:TMP0001] = [w:GD31529];
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);

while([w:GD31526] < 32)
{
        //接続状況を確認
        if(([w:GD40290] != 0) && ([w:TMP0001] < [w:GD40290]))
        {
                [w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0001]];        //接続 ID を取得
                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;

                if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
                {
                        set([b:GB30600]);  //出力ビット
                        [w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9;
                }else{
                        set([b:GB30601]);  //入力ビット
                        [w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9;
                }

                //機器パラメータを取得
                //機器パラメータを取得するためのオフセットを算出
                [w:TMP0004] = [w:GD31600] & 0x00FF;
                if([b:GB30600] == ON)
                {
                        //出力
                        [w:TMP0005] = [w:GD40804[w:TMP0004]];
                }else{
                        //入力
                        [w:TMP0005] = [w:GD41060[w:TMP0004]];
                }
                [w:GD31604] = [w:TMP0005] - 12288;

                //I/O 点数パターン
                [w:TMP0006] = [w:GD31604] + 43;      //パラメータのオフセット
```

```
[w:TMP0007] = [w:GD41316[w:TMP0006]];
[w:GD31605] = ([w:TMP0007] & 0x00C0) >> 6;  //0:入力、1:出力、2:複合
[w:GD31606] = ([w:TMP0007] & 0x003F) + 1;    //点数

//ユニット形名ナンバー
[w:TMP0008] = [w:GD31604] + 44;     //パラメータのオフセット
[w:GD31607] = [w:GD41316[w:TMP0008]];

//アラーム情報取得
if([w:GD40547] != 0)
{
        [w:TMP0004] = 0;
        while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
        {
                if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
                {
                        [w:GD31602] = 1;  //アラーム発生
                        break;
                }
                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }
}

//エラー情報取得
if([w:GD40032] != 0)
{
        [w:TMP0004] = 0;
        while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
        {
                if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
                {
                        [w:GD31603] = 1;  //エラー発生
                        break;
                }
                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }
}

//表示します。
If([w:GD31603] == 1)
{
        //エラー発生
        switch([w:GD31605])
        {
                case 0:  [w:GD35000[w:GD31526]] = 20;       //入力
                                break;

                case 1:  [w:GD35000[w:GD31526]] = 17;       //出力
                                break;

                case 2:  [w:GD35000[w:GD31526]] = 23;       //複合
                                break;

        }
```

```
                [w:GD35032[w:GD31526]] = 0;
                [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF;        //ID
                [w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD31607];        //ユニット形名 No.
        }else{
                if([w:GD31602] == 1)
                {
                        //アラーム発生
                        switch([w:GD31605])
                        {
                                case 0:   [w:GD35000[w:GD31526]] = 19;        //入力
                                                break;

                                case 1:   [w:GD35000[w:GD31526]] = 16;        //出力
                                                break;

                                case 2:   [w:GD35000[w:GD31526]] = 22;        //複合
                                                break;

                        }
                        [w:GD35032[w:GD31526]] = 0;
                        [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF;        //ID
                        [w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD31607];        //ユニット形名 No.
                }else{
                        //正常
                        switch([w:GD31605])
                        {
                                case 0:   [w:GD35000[w:GD31526]] = 18;        //入力
                                                break;

                                case 1:   [w:GD35000[w:GD31526]] = 15;        //出力
                                                break;

                                case 2:   [w:GD35000[w:GD31526]] = 21;        //複合
                                                break;

                        }
                        [w:GD35032[w:GD31526]] = 0;
                        [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF;        //ID
                        [w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD31607];        //ユニット形名 No.
                }
        }

        [w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
        rst([b:GB30600]);  //出力ビット
        rst([b:GB30601]);  //入力ビット

        //ワークエリアクリア
        [w:TMP0004] = 0;
        fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);
}else{
        //データがない場合は非表示。
        [w:GD35000[w:GD31526]] = 0xFFFF;
        [w:GD35032[w:GD31526]] = 0xFFFF;
```

```
                    [w:GD35064[w:GD31526]] = 0xFFFF;
                    [w:GD35096[w:GD31526]] = 0xFFFF;

                    [w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
                    rst([b:GB30600]);  //出力ビット
                    rst([b:GB30601]);  //入力ビット
          }
}

//トリガリセット
rst([b:GB30000]);
```

| スクリプト No. | 24 | スクリプト名 | Script24 |
|---|---|---|---|
| コメント | 各種フラグクリア | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);
rst([b:GB30003]);

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30001)
```

| スクリプト No. | 8 | スクリプト名 | Script8 |
|---|---|---|---|
| コメント | 上スクロール | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30004 |

```
if([w:GD31529] != 0)
{
          [w:GD31529] = [w:GD31529] - 32;
          set([b:GB30000]);
}
```

| スクリプト No. | 9 | スクリプト名 | Script9 |
|---|---|---|---|
| コメント | 下スクロール | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30005 |

```
if(([w:GD31525] + 32) < [w:BM03-8960]) && ([w:BM03-8960] > 32))
{
          [w:GD31525] = [w:GD31525] + 32;
          set([b:GB30000]);
}
```

| スクリプト No. | 12 | スクリプト名 | Script12 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30001 詳細画面表示 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB30006 |

```
//表示する詳細画面を決定します
[w:TMP0000] = [w:GD31523] & 0x00FF;

if([w:GD31524] >= 15) && ([w:GD31524] <= 23))
{
          //出力
          [w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0000]];        //オフセットを算出
          [w:TMP0001] = [w:TMP0000];
}else{
          //入力
          [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0000]];        //オフセットを算出
          [w:TMP0001] = [w:TMP0000] + 0x0200;
}
```

```
[w:BM03-10320] = 0;          //個別パラメータ読み込み
[w:BM03-10321] = [w:TMP0001];       //読み込み対象 ID

//表示するベース画面を選択
switch([w:GD35096[w:GD35128]])
{
        case 0x0100:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

        case 0x0101:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

        case 0x0102:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

        case 0x0103:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

        case 0x0104:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

        case 0x0105:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

        case 0x0106:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

        case 0x0107:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

        case 0x0400:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

        case 0x0401:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

        case 0x0402:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

        case 0x0403:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

        case 0x0404:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

        case 0x0405:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

        case 0x0406:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

        case 0x0407:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;
```

```
case 0x0700:    [w:GD62000] = 30005;
                break;

case 0x0701:    [w:GD62000] = 30005;
                break;

case 0x0702:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0703:    [w:GD62000] = 30007;
                break;

case 0x0704:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0705:    [w:GD62000] = 30006;
                break;

case 0x0706:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x0707:    [w:GD62000] = 30008;
                break;

case 0x1000:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1050:    [w:GD62000] = 30010;
                break;

case 0x1200:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1250:    [w:GD62000] = 30011;
                break;

case 0x1400:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x1450:    [w:GD62000] = 30012;
                break;

case 0x2000:    [w:GD62000] = 30013;
                break;

case 0x2300:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2301:    [w:GD62000] = 30014;
                break;

case 0x2302:    [w:GD62000] = 30015;
                break;
```

```
        case 0x2303:    [w:GD62000] = 30016;
                                        break;

        case 0x2600:    [w:GD62000] = 30017;
                                        break;

        case 0x2900:    [w:GD62000] = 30018;
                                        break;

        case 0xA000:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA001:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA300:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA301:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA600:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA601:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        default:                break;
}


rst([b:GB30006]);
```

**ベース画面 30002**

| スクリプト No. | 6 | スクリプト名 | Script6 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30002　画面初期化 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB40 |

```
if([b:GB30003] == OFF)
{

        fmov([w:TMP0000],[w:GD31600],10);
        [w:TMP0110] = 0;  //比較用のテンポラリエリアを初期化します。
        [w:TMP0111] = 0;  //比較用のテンポラリエリアを初期化します。
        Set([b:GD31562.b0]);        //各種パラメータを取得し、部品表示をします。
        Set([b:GB30003]);  //2 回目以降の画面表示時には動作しないようにフラグを立てます。
}
```

| スクリプト No. | 10 | スクリプト名 | Script10 |
|---|---|---|---|
| コメント | スクリプト No.5 起動 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | OFF 中　GD31563.b0 |

```
if([b:GB30016] == OFF)
{
        set([b:GB30001]);
        set([b:GB30016]);
```

```
}
```

| スクリプト No. | 5 | スクリプト名 | Script5 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30002　部品表示 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30001 |

```
[w:TMP0020] = 0;
[w:TMP0008] = 0;
fmov([w:TMP0008],[w:GD31600],6);

while(([w:TMP0020] < [w:GD40289]) && ([w:GD40289] > 0))
{

	[w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0020]];	//接続 ID を取得
	[w:TMP0020] = [w:TMP0020] + 1;

	if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
	{
		set([b:GB30600]);  //出力ビット
	}else{
		set([b:GB30601]);  //入力ビット
	}

	//アラーム情報取得
	if([w:GD40547] != 0)
	{
		[w:TMP0004] = 0;
		while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
		{
			if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
			{
				[w:GD31602] = 1;  //アラーム発生
				break;
			}
			[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
		}
	}

	//エラー情報取得
	if([w:GD40032] != 0)
	{
		[w:TMP0004] = 0;
		while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
		{
			if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
			{
				[w:GD31603] = 1;  //エラー発生
				break;
			}
			[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
		}
	}

	//機器パラメータを取得
```

```
//機器パラメータを取得するためのオフセットを算出
[w:TMP0004] = [w:GD31600] & 0x00FF;

if([b:GB30600] == ON)
{
        //出力
        [w:TMP0005] = [w:GD40804[w:TMP0004]];
        [w:TMP0012] = [w:TMP0004];
}else{
        //入力
        [w:TMP0005] = [w:GD41060[w:TMP0004]];
        [w:TMP0012] = [w:TMP0004] + 0x0100;
}
[w:GD31604] = [w:TMP0005] - 0x3000;

//I/O 点数パターン
[w:TMP0006] = [w:GD31604] + 43;     //パラメータのオフセット
[w:TMP0007] = [w:GD41316[w:TMP0006]];
[w:GD31605] = ([w:TMP0007] & 0x00C0) >> 6;  //0:入力、1:出力、2:複合
[w:GD31606] = ([w:TMP0007] & 0x003F) + 1;    //点数

//ユニット形名ナンバー
[w:TMP0006] = [w:GD31604] + 44;
[w:GD35130[w:TMP0012]] = [w:GD41316[w:TMP0006]];

//ON/OFF 情報取得
[w:TMP0008] = [w:GD31600] & 0x00FF;
if([w:GD31605] == 0)        //入力の場合
{
        [w:TMP0004] = 0;

        while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
        {
                [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
                [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

                [w:GD33020] = 0x0001;
                [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

                if([w:GD31603] == 1)        //異常は発生しているか
                {
                        [w:GD31256[w:TMP0008]] = 3;        //異常発生&入力 ON
                }else{
                        if([w:GD31602] == 1)        //アラームは発生しているか
                        {
                                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 2;        //アラーム発生&入力
ON
                        }else{
                                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 1;        //正常
                        }
                }

                [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
```

```
                }
        }else{
                if([w:GD31605] == 1)        //出力の場合
                {
                        [w:TMP0004] = 0;

                        while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
                        {
                                [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
                                [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

                                [w:GD33020] = 0x0001;
                                [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

                                if([w:GD31603] == 1)        //異常は発生しているか
                                {
                                        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3;        //異常発生&出力 ON
                                }else{
                                        if([w:GD31602] == 1)        //アラームは発生しているか
                                        {
                                                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2;        //アラーム
発生&出力 ON
                                        }else{
                                                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1;        //正常
                                        }
                                }

                                [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
                        }
                }else{
                        if([w:GD31605] == 2)        //複合の場合
                        {
                                [w:TMP0004] = 0;
                                [w:TMP0011] = [w:GD31606] / 2;        //複合は、点数が半分
                                while([w:TMP0004] < [w:TMP0011])
                                {
                                        [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
                                        [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

                                        [w:GD33020] = 0x0001;
                                        [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

                                        //出力
                                        if([w:GD31603] == 1)        //異常は発生しているか
                                        {
                                                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3;        //異常発生
&出力 ON
                                        }else{
                                                if([w:GD31602] == 1)        //アラームは発生して
いるか
                                                {
                                                        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2;        //
アラーム発生&出力 ON
```

```
                                                        }else{
                                                                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1;          //
正常
                                                        }
                                                }

                                                //入力
                                                if([w:GD31603] == 1)          //異常は発生しているか
                                                {
                                                        [w:GD31256[w:TMP0008]] = 3;          //異常発生
&入力 ON
                                                }else{
                                                        if([w:GD31602] == 1)          //アラームは発生して
いるか
                                                        {
                                                                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 2;          //
アラーム発生&入力 ON
                                                        }else{
                                                                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 1;          //
正常
                                                        }
                                                }

                                                [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                                                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
                                        }
                                }
                        }
                }
        rst([b:GB30600]);
        rst([b:GB30601]);

        //ワークエリアクリア
        [w:TMP0004] = 0;
        fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);

}

//カーソルを表示
if([w:GD62000] == 30003)
{
        //出力
        [w:GD31520] = 0;  //左右
        [w:GD31521] = 0;  //上下
        [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];
        [w:GD32008] = [w:GD31522];          //カーソル位置表示用

        if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
        {
                [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
        }
}else{
        //入力
        [w:GD31520] = 256;          //左右
```

```
        [w:GD31521] = 0;  //上下
        [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];
        [w:GD32008] = [w:GD31522] - 256;    //カーソル位置表示用

        if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
        {
                [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
        }
}

rst([b:GB30001]);
```

| スクリプト No. | 24 | スクリプト名 | Script24 |
|---|---|---|---|
| コメント | 各種フラグクリア | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);
rst([b:GB30003]);

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30001)
```

| スクリプト No. | 19 | スクリプト名 | Script19 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30002　詳細画面表示 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30002 |

```
//カーソル位置の詳細情報画面を表示します。

//仮の ID を求める
if([w:GD31522] < 256)
{
        [w:TMP0000] = [w:GD31522];          //出力 ID
}else{
        [w:TMP0000] = [w:GD31522] - 256;    //入力 ID
}

if([w:GD31000[w:GD31522]] > 4)      //カーソル位置にユニットが存在しているかどうかを判定
{
        if([w:GD31522] < 256)
        {
                //出力
                [w:TMP0002] = [w:TMP0000];
                while([w:TMP0002] >= 0)
                {
                        if([w:GD31000[w:TMP0002]] != 0)
                        {
                                //出力
                                [w:TMP0001] = 0;
                                while([w:TMP0001] < [w:GD40290])    //接続 ID 回数分繰り返し
                                {
                                        if([w:GD40291[w:TMP0001]] == [w:TMP0002])  //ID の判定
                                        {
                                                set([b:GB30009]);  //ID 一致フラグ
                                                break;
                                        }else{
                                                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
```

```
                                        }
                                }

                                //複合の出力側の場合
                                if([b:GB30009] == OFF)
                                {
                                        [w:TMP0001] = 0;
                                        while([w:TMP0001] < [w:GD40290])    //接続 ID 回数分繰り
返し
                                        {
                                                if([w:GD40291[w:TMP0001]]  ==  ([w:TMP0002]  +
0x0200)) //ID の判定
                                                {

                                                        //一致した ID が複合ユニットかどうかを
判定します。
                                                        [w:TMP0010]                             =
[w:GD41060[w:TMP0002]];   //パラメータ先頭アドレス取得
                                                        [w:TMP0011] = [w:TMP0010] - 0x3000;

                                                        [w:TMP0012]                             =
[w:GD41359[w:TMP0011]];
                                                        if((([w:TMP0012] & 0x00C0) >> 6) == 2)
                                                        {
                                                                set([b:GB30009]);  //ID 一致フ
ラグ
                                                                set([b:GB30020]);  //複合出力
フラグ
                                                                break;
                                                        }
                                                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                                                }else{
                                                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                                                }
                                        }
                                }

                                if([b:GB30009] == ON)        //一致したら、ループを抜ける
                                {
                                        break;
                                }
                        }else{
                                //接続機器がない場合
                                break;
                        }

                        [w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
                }



        }else{
                //入力
                [w:TMP0002] = [w:TMP0000];
```

```
		while([w:TMP0002] >= 0)
		{
			[w:GD65535] = [w:TMP0002];
			[w:TMP0001] = 0;
			while([w:TMP0001] < [w:GD40290])	//接続 ID 回数分繰り返し
			{
				if([w:GD40291[w:TMP0001]] == ([w:TMP0002] + 0x0200)) //ID の判定
				{
					set([b:GB30009]);  //ID 一致フラグ
					break;
				}else{
					[w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
				}
			}

			if([b:GB30009] == ON)		//一致したら、ループを抜ける
			{
				break;
			}

			[w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
		}
	}

	//一致していた場合、画面表示します。
	if([b:GB30009] == ON)
	{

		if([w:GD31522] < 256)
		{
			if([b:GB30020] == OFF)
			{
				//出力
				[w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0002]];		//オフセットを算出
				[w:TMP0003] = [w:TMP0002];
				[w:TMP0004] = [w:TMP0002];
			}else{
				//複合の場合は、入力側を参照
				[w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]];		//オフセットを算出
				[w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
				[w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
			}
		}else{
			//入力
			[w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]];		//オフセットを算出
			[w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
			[w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
		}

		[w:BM03-10320] = 0;		//個別パラメータ読み込み
		[w:BM03-10321] = [w:TMP0003];		//読み込み対象 ID

		//表示するベース画面を選択
		switch([w:GD35130[w:TMP0004]])
```

```
{
        case 0x0100:    [w:GD62000] = 30005;
                        break;

        case 0x0101:    [w:GD62000] = 30005;
                        break;

        case 0x0102:    [w:GD62000] = 30007;
                        break;

        case 0x0103:    [w:GD62000] = 30007;
                        break;

        case 0x0104:    [w:GD62000] = 30006;
                        break;

        case 0x0105:    [w:GD62000] = 30006;
                        break;

        case 0x0106:    [w:GD62000] = 30008;
                        break;

        case 0x0107:    [w:GD62000] = 30008;
                        break;

        case 0x0400:    [w:GD62000] = 30005;
                        break;

        case 0x0401:    [w:GD62000] = 30005;
                        break;

        case 0x0402:    [w:GD62000] = 30007;
                        break;

        case 0x0403:    [w:GD62000] = 30007;
                        break;

        case 0x0404:    [w:GD62000] = 30006;
                        break;

        case 0x0405:    [w:GD62000] = 30006;
                        break;

        case 0x0406:    [w:GD62000] = 30008;
                        break;

        case 0x0407:    [w:GD62000] = 30008;
                        break;

        case 0x0700:    [w:GD62000] = 30005;
                        break;

        case 0x0701:    [w:GD62000] = 30005;
                        break;
```

```
case 0x0702:        [w:GD62000] = 30007;
                                    break;

case 0x0703:        [w:GD62000] = 30007;
                                    break;

case 0x0704:        [w:GD62000] = 30006;
                                    break;

case 0x0705:        [w:GD62000] = 30006;
                                    break;

case 0x0706:        [w:GD62000] = 30008;
                                    break;

case 0x0707:        [w:GD62000] = 30008;
                                    break;

case 0x1000:        [w:GD62000] = 30010;
                                    break;

case 0x1050:        [w:GD62000] = 30010;
                                    break;

case 0x1200:        [w:GD62000] = 30011;
                                    break;

case 0x1250:        [w:GD62000] = 30011;
                                    break;

case 0x1400:        [w:GD62000] = 30012;
                                    break;

case 0x1450:        [w:GD62000] = 30012;
                                    break;

case 0x2000:        [w:GD62000] = 30013;
                                    break;

case 0x2300:        [w:GD62000] = 30014;
                                    break;

case 0x2301:        [w:GD62000] = 30014;
                                    break;

case 0x2302:        [w:GD62000] = 30015;
                                    break;

case 0x2303:        [w:GD62000] = 30016;
                                    break;

case 0x2600:        [w:GD62000] = 30017;
                                    break;
```

```
                        case 0x2900:        [w:GD62000] = 30018;
                                                        break;

                        case 0xA000:        [w:GD62000] = 30019;
                                                        break;

                        case 0xA001:        [w:GD62000] = 30019;
                                                        break;

                        case 0xA300:        [w:GD62000] = 30019;
                                                        break;

                        case 0xA301:        [w:GD62000] = 30019;
                                                        break;

                        case 0xA600:        [w:GD62000] = 30019;
                                                        break;

                        case 0xA601:        [w:GD62000] = 30019;
                                                        break;

                        default:                        break;
                }
        }

        //フラグリセット
        rst([b:GB30009]);
        rst([b:GB30020]);
}

rst([b:GB30002]);
```

| スクリプト No. | 14 | スクリプト名 | Script14 |
|---|---|---|---|
| コメント | 座標計算(入力) *1 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//タッチした座標から、カーソル位置を割り出します。


If(([w:TMP0120] != [w:GS654]) || ([w:TMP0121] != [w:GS655]))   && (([w:GS654] > Input_X) && ([w:GS655] >
Input_Y))
   && (([w:GS654] < Frame_X) && ([w:GS655] < Frame_Y)))
{
        [w:TMP0120] = [w:GS654];
        [w:TMP0121] = [w:GS655];

        if(([b:GD31562.b0] == OFF) && ([b:GB30001] == OFF))
        {
        //現在のカーソル位置を保存
        [w:TMP0122] = [w:GD31522];

        //X 座標
        //入力か出力で引く数を変えます。
        //入力
        [w:TMP0123] = [w:TMP0120] - Input_X;
```

```
        [w:TMP0124] = [w:TMP0123] / Object_X;
        [w:GD31520] = (16 - ([w:TMP0124] + 1)) + 256;

        //Y 座標
        [w:TMP0125] = [w:TMP0121] - Input_Y;
        [w:TMP0126] = [w:TMP0125] / Object_Y;
        [w:GD31521] = [w:TMP0126] * 16;

        //オフセット計算
        [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];

        //オフセットの位置が変わらなければ、部品の表示は変化なし。
        If([w:TMP0122] != [w:GD31522])
        {
                //カーソル表示
                if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
                {
                        [w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
                }

                //カーソル消去
                if([w:GD31000[w:TMP0122]] < 4)
                {
                        [w:GD31000[w:TMP0122]] = 0;
                }else{
                        [w:GD31000[w:TMP0122]] = [w:GD31000[w:TMP0122]] - 4;
                }
        }
        }

        [w:GD32008] = [w:GD31522] - 256;    //カーソル位置表示用
}
```

| スクリプト No. | 15 | スクリプト名 | Script15 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(左移動)(入力) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30010 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
[w:TMP0020] = [w:GD31522];          //前回のカーソル位置を退避

if([w:GD31520] == 271)
{
        [w:GD31520] = 256;
}else{
        [w:GD31520] = [w:GD31520] + 1;
}

[w:TMP0000] = [w:GD31520];

[w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521];    //現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]  >= 4)
{
```

```
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = [w:GD31000[w:TMP0020]]  - 4;
}else{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256;    //カーソル位置表示用
```

| スクリプト No. | 20 | スクリプト名 | Script20 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(右移動)(入力) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30011 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
[w:TMP0020] = [w:GD31522];          //前回のカーソル位置を退避

if([w:GD31520] == 256)
{
        [w:GD31520] = 271;
}else{
        [w:GD31520] = [w:GD31520] -1;
}

[w:TMP0000] = [w:GD31520];

[w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521];    //現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]  >= 4)
{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = [w:GD31000[w:TMP0020]]  - 4;
}else{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256;    //カーソル位置表示用
```

| スクリプト No. | 25 | スクリプト名 | Script25 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(下移動)(入力) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30012 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
[w:TMP0020] = [w:GD31522];          //前回のカーソル位置を退避

if([w:GD31521] == 240)
{
        [w:GD31521] = 0;
}else{
        [w:GD31521] = [w:GD31521] + 16;
}

[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];    //現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]  >= 4)
```

```
{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = [w:GD31000[w:TMP0020]]  - 4;
}else{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256;    //カーソル位置表示用
```

| スクリプト No. | 39 | スクリプト名 | Script39 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(上移動)(入力) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30013 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
[w:TMP0020] = [w:GD31522];          //前回のカーソル位置を退避

if([w:GD31521] == 0)
{
        [w:GD31521] = 240;
}else{
        [w:GD31521] = [w:GD31521] - 16;
}

[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];    //現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]  >= 4)
{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = [w:GD31000[w:TMP0020]]  - 4;
}else{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256;    //カーソル位置表示用
```

*1:[スクリプトシンボル]を使用しています。[スクリプトシンボル]については、「5.9.4 スクリプトシンボル」を参照してください。

**ベース画面 30003**

| スクリプト No. | 6 | スクリプト名 | Script6 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30002 画面初期化 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB40 |

```
if([b:GB30003] == OFF)
{

        fmov([w:TMP0000],[w:GD31600],10);
        [w:TMP0110] = 0;  //比較用のテンポラリエリアを初期化します。
        [w:TMP0111] = 0;  //比較用のテンポラリエリアを初期化します。
        Set([b:GD31562.b0]);        //各種パラメータを取得し、部品表示をします。
        Set([b:GB30003]);  //2 回目以降の画面表示時には動作しないようにフラグを立てます。
}
```

| スクリプト No. | 10 | スクリプト名 | Script10 |
|---|---|---|---|
| コメント | スクリプト No.5 起動 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | OFF 中　GD31563.b0 |

```
if([b:GB30016] == OFF)
{
	set([b:GB30001]);
	set([b:GB30016]);
}
```

| スクリプト No. | 5 | スクリプト名 | Script5 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30002　部品表示 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30001 |

```
[w:TMP0020] = 0;
[w:TMP0008] = 0;
fmov([w:TMP0008],[w:GD31600],6);

while(([w:TMP0020] < [w:GD40289]) && ([w:GD40289] > 0))
{

	[w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0020]];	//接続 ID を取得
	[w:TMP0020] = [w:TMP0020] + 1;

	if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
	{
		set([b:GB30600]);	//出力ビット
	}else{
		set([b:GB30601]);	//入力ビット
	}

	//アラーム情報取得
	if([w:GD40547] != 0)
	{
		[w:TMP0004] = 0;
		while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
		{
			if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
			{
				[w:GD31602] = 1;	//アラーム発生
				break;
			}
			[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
		}
	}

	//エラー情報取得
	if([w:GD40032] != 0)
	{
		[w:TMP0004] = 0;
		while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
		{
			if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
			{
				[w:GD31603] = 1;	//エラー発生
```

```
                                        break;
                                }
                                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
                        }
                }

                //機器パラメータを取得
                //機器パラメータを取得するためのオフセットを算出
                [w:TMP0004] = [w:GD31600] & 0x00FF;

                if([b:GB30600] == ON)
                {
                        //出力
                        [w:TMP0005] = [w:GD40804[w:TMP0004]];
                        [w:TMP0012] = [w:TMP0004];
                }else{
                        //入力
                        [w:TMP0005] = [w:GD41060[w:TMP0004]];
                        [w:TMP0012] = [w:TMP0004] + 0x0100;
                }
                [w:GD31604] = [w:TMP0005] - 0x3000;

                //I/O 点数パターン
                [w:TMP0006] = [w:GD31604] + 43;      //パラメータのオフセット
                [w:TMP0007] = [w:GD41316[w:TMP0006]];
                [w:GD31605] = ([w:TMP0007] & 0x00C0) >> 6;   //0:入力、1:出力、2:複合
                [w:GD31606] = ([w:TMP0007] & 0x003F) + 1;     //点数

                //ユニット形名ナンバー
                [w:TMP0006] = [w:GD31604] + 44;
                [w:GD35130[w:TMP0012]] = [w:GD41316[w:TMP0006]];

                //ON/OFF 情報取得
                [w:TMP0008] = [w:GD31600] & 0x00FF;
                if([w:GD31605] == 0)          //入力の場合
                {
                        [w:TMP0004] = 0;

                        while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
                        {
                                [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
                                [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

                                [w:GD33020] = 0x0001;
                                [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

                                if([w:GD31603] == 1)          //異常は発生しているか
                                {
                                        [w:GD31256[w:TMP0008]] = 3;          //異常発生&入力 ON
                                }else{
                                        if([w:GD31602] == 1)          //アラームは発生しているか
                                        {
                                                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 2;          //アラーム発生&入力
ON
```

```
                        }else{
                                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 1;          //正常
                        }
                }

                [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }
}else{
        if([w:GD31605] == 1)          //出力の場合
        {
                [w:TMP0004] = 0;

                while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
                {
                        [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
                        [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

                        [w:GD33020] = 0x0001;
                        [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

                        if([w:GD31603] == 1)          //異常は発生しているか
                        {
                                [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3;          //異常発生&出力 ON
                        }else{
                                if([w:GD31602] == 1)          //アラームは発生しているか
                                {
                                        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2;          //アラーム
発生&出力 ON
                                }else{
                                        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1;          //正常
                                }
                        }

                        [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
                }
        }else{
                if([w:GD31605] == 2)          //複合の場合
                {
                        [w:TMP0004] = 0;
                        [w:TMP0011] = [w:GD31606] / 2;       //複合は、点数が半分
                        while([w:TMP0004] < [w:TMP0011])
                        {
                                [w:TMP0009] = [w:TMP0008] / 16;
                                [w:TMP0010] = [w:TMP0008] % 16;

                                [w:GD33020] = 0x0001;
                                [w:GD33020] = [w:GD33020] << [w:TMP0010];

                                //出力
                                if([w:GD31603] == 1)          //異常は発生しているか
                                {
                                        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 3;          //異常発生
```

```
&出力 ON
                                        }else{
                                                if([w:GD31602] == 1)        //アラームは発生して
いるか
                                                {
                                                        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 2;        //
アラーム発生&出力 ON
                                                }else{
                                                        [w:GD31000[w:TMP0008]] = 1;        //
正常
                                                }
                                        }

                                        //入力
                                        if([w:GD31603] == 1)        //異常は発生しているか
                                        {
                                                [w:GD31256[w:TMP0008]] = 3;        //異常発生
&入力 ON
                                        }else{
                                                if([w:GD31602] == 1)        //アラームは発生して
いるか
                                                {
                                                        [w:GD31256[w:TMP0008]] = 2;        //
アラーム発生&入力 ON
                                                }else{
                                                        [w:GD31256[w:TMP0008]] = 1;        //
正常
                                                }
                                        }

                                        [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                                        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
                                }
                        }
                }
        }
        rst([b:GB30600]);
        rst([b:GB30601]);

        //ワークエリアクリア
        [w:TMP0004] = 0;
        fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);

}

//カーソルを表示
if([w:GD62000] == 30003)
{
        //出力
        [w:GD31520] = 0;  //左右
        [w:GD31521] = 0;  //上下
        [w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];
        [w:GD32008] = [w:GD31522];        //カーソル位置表示用
```

```
		if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
		{
			[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
		}
}else{
		//入力
		[w:GD31520] = 256;		//左右
		[w:GD31521] = 0;	//上下
		[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];
		[w:GD32008] = [w:GD31522] - 256;	//カーソル位置表示用

		if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
		{
			[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
		}
}

rst([b:GB30001]);
```

| スクリプト No. | 1 | スクリプト名 | Script1 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(左移動) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30010 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
[w:TMP0020] = [w:GD31522];		//前回のカーソル位置を退避

if([w:GD31520] ==	15)
{
		[w:GD31520] = 0;
}else{
		[w:GD31520] = [w:GD31520] + 1;
}

[w:TMP0000] = [w:GD31520];

[w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521];	//現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]	>= 4)
{
		[w:GD31000[w:TMP0020]]	= [w:GD31000[w:TMP0020]]	- 4;
}else{
		[w:GD31000[w:TMP0020]]	= 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522];		//カーソル位置表示用
```

| スクリプト No. | 33 | スクリプト名 | Script33 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(右移動) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30011 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
[w:TMP0020] = [w:GD31522];		//前回のカーソル位置を退避
```

```
if([w:GD31520] ==   0)
{
        [w:GD31520] = 15;
}else{
        [w:GD31520] = [w:GD31520] -1;
}

[w:TMP0000] = [w:GD31520];

[w:GD31522] = [w:TMP0000] + [w:GD31521];    //現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]   >= 4)
{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]   = [w:GD31000[w:TMP0020]]   - 4;
}else{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]   = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522];          //カーソル位置表示用
```

| スクリプト No. | 34 | スクリプト名 | Script34 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(下移動) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30012 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
[w:TMP0020] = [w:GD31522];          //前回のカーソル位置を退避

if([w:GD31521] == 240)
{
        [w:GD31521] = 0;
}else{
        [w:GD31521] = [w:GD31521] + 16;
}

[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];    //現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]   >= 4)
{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]   = [w:GD31000[w:TMP0020]]   - 4;
}else{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]   = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522];          //カーソル位置表示用
```

| スクリプト No. | 35 | スクリプト名 | Script35 |
|---|---|---|---|
| コメント | カーソル表示(上移動) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30013 |

```
//部品表示の制御をします。

//カーソル位置の計算
```

```
[w:TMP0020] = [w:GD31522];          //前回のカーソル位置を退避

if([w:GD31521] == 0)
{
        [w:GD31521] = 240;
}else{
        [w:GD31521] = [w:GD31521] - 16;
}

[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];    //現在のオフセット

if([w:GD31000[w:TMP0020]]  >= 4)
{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = [w:GD31000[w:TMP0020]]  - 4;
}else{
        [w:GD31000[w:TMP0020]]  = 0;
}
[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;

[w:GD32008] = [w:GD31522];          //カーソル位置表示用
```

| スクリプト No. | 24 | スクリプト名 | Script24 |
|---|---|---|---|
| コメント | 各種フラグクリア | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);
rst([b:GB30003]);

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30001)
```

| スクリプト No. | 19 | スクリプト名 | Script19 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30002　詳細画面表示 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30002 |

```
//カーソル位置の詳細情報画面を表示します。

//仮の ID を求める
if([w:GD31522] < 256)
{
        [w:TMP0000] = [w:GD31522];          //出力 ID
}else{
        [w:TMP0000] = [w:GD31522] - 256;    //入力 ID
}

if([w:GD31000[w:GD31522]] > 4)      //カーソル位置にユニットが存在しているかどうかを判定
{
        if([w:GD31522] < 256)
        {
                //出力
                [w:TMP0002] = [w:TMP0000];
                while([w:TMP0002] >= 0)
                {
                        if([w:GD31000[w:TMP0002]] != 0)
                        {
                                //出力
```

```
[w:TMP0001] = 0;
while([w:TMP0001] < [w:GD40290])    //接続 ID 回数分繰り返し
{
        if([w:GD40291[w:TMP0001]] == [w:TMP0002])  //ID の判定
        {
                set([b:GB30009]);  //ID 一致フラグ
                break;
        }else{
                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
        }
}

//複合の出力側の場合
if([b:GB30009] == OFF)
{
        [w:TMP0001] = 0;
        while([w:TMP0001] < [w:GD40290])    //接続 ID 回数分繰り
返し
        {
                if([w:GD40291[w:TMP0001]]  ==  ([w:TMP0002]  +
0x0200)) //ID の判定
                {

                        //一致した ID が複合ユニットかどうかを
判定します。
                        [w:TMP0010]                          =
[w:GD41060[w:TMP0002]];   //パラメータ先頭アドレス取得
                        [w:TMP0011] = [w:TMP0010] - 0x3000;

                        [w:TMP0012]                          =
[w:GD41359[w:TMP0011]];
                        if(([w:TMP0012] & 0x00C0) >> 6) == 2)
                        {
                                set([b:GB30009]);  //ID 一致フ
ラグ
                                set([b:GB30020]);  //複合出力
フラグ
                                break;
                        }
                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                }else{
                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                }
        }
}

if([b:GB30009] == ON)       //一致したら、ループを抜ける
{
        break;
}
}else{
        //接続機器がない場合
        break;
}
```

```
                [w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
        }



}else{
        //入力
        [w:TMP0002] = [w:TMP0000];
        while([w:TMP0002] >= 0)
        {
                [w:GD65535] = [w:TMP0002];
                [w:TMP0001] = 0;
                while([w:TMP0001] < [w:GD40290])    //接続 ID 回数分繰り返し
                {
                        if([w:GD40291[w:TMP0001]] == ([w:TMP0002] + 0x0200)) //ID の判定
                        {
                                set([b:GB30009]);  //ID 一致フラグ
                                break;
                        }else{
                                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                        }
                }

                if([b:GB30009] == ON)        //一致したら、ループを抜ける
                {
                        break;
                }

                [w:TMP0002] = [w:TMP0002] - 1;
        }
}

//一致していた場合、画面表示します。
if([b:GB30009] == ON)
{

        if([w:GD31522] < 256)
        {
                if([b:GB30020] == OFF)
                {
                        //出力
                        [w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0002]];        //オフセットを算出
                        [w:TMP0003] = [w:TMP0002];
                        [w:TMP0004] = [w:TMP0002];
                }else{
                        //複合の場合は、入力側を参照
                        [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]];        //オフセットを算出
                        [w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
                        [w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
                }
        }else{
                //入力
                [w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0002]];        //オフセットを算出
```

```
		[w:TMP0003] = [w:TMP0002] + 0x0200;
		[w:TMP0004] = [w:TMP0002] + 0x0100;
	}

	[w:BM03-10320] = 0;		//個別パラメータ読み込み
	[w:BM03-10321] = [w:TMP0003];		//読み込み対象 ID

	//表示するベース画面を選択
	switch([w:GD35130[w:TMP0004]])
	{
		case 0x0100:		[w:GD62000] = 30005;
								break;

		case 0x0101:		[w:GD62000] = 30005;
								break;

		case 0x0102:		[w:GD62000] = 30007;
								break;

		case 0x0103:		[w:GD62000] = 30007;
								break;

		case 0x0104:		[w:GD62000] = 30006;
								break;

		case 0x0105:		[w:GD62000] = 30006;
								break;

		case 0x0106:		[w:GD62000] = 30008;
								break;

		case 0x0107:		[w:GD62000] = 30008;
								break;

		case 0x0400:		[w:GD62000] = 30005;
								break;

		case 0x0401:		[w:GD62000] = 30005;
								break;

		case 0x0402:		[w:GD62000] = 30007;
								break;

		case 0x0403:		[w:GD62000] = 30007;
								break;

		case 0x0404:		[w:GD62000] = 30006;
								break;

		case 0x0405:		[w:GD62000] = 30006;
								break;

		case 0x0406:		[w:GD62000] = 30008;
								break;
```

```
case 0x0407:        [w:GD62000] = 30008;
                                    break;

case 0x0700:        [w:GD62000] = 30005;
                                    break;

case 0x0701:        [w:GD62000] = 30005;
                                    break;

case 0x0702:        [w:GD62000] = 30007;
                                    break;

case 0x0703:        [w:GD62000] = 30007;
                                    break;

case 0x0704:        [w:GD62000] = 30006;
                                    break;

case 0x0705:        [w:GD62000] = 30006;
                                    break;

case 0x0706:        [w:GD62000] = 30008;
                                    break;

case 0x0707:        [w:GD62000] = 30008;
                                    break;

case 0x1000:        [w:GD62000] = 30010;
                                    break;

case 0x1050:        [w:GD62000] = 30010;
                                    break;

case 0x1200:        [w:GD62000] = 30011;
                                    break;

case 0x1250:        [w:GD62000] = 30011;
                                    break;

case 0x1400:        [w:GD62000] = 30012;
                                    break;

case 0x1450:        [w:GD62000] = 30012;
                                    break;

case 0x2000:        [w:GD62000] = 30013;
                                    break;

case 0x2300:        [w:GD62000] = 30014;
                                    break;

case 0x2301:        [w:GD62000] = 30014;
                                    break;
```

```
                    case 0x2302:        [w:GD62000] = 30015;
                                                    break;

                    case 0x2303:        [w:GD62000] = 30016;
                                                    break;

                    case 0x2600:        [w:GD62000] = 30017;
                                                    break;

                    case 0x2900:        [w:GD62000] = 30018;
                                                    break;

                    case 0xA000:        [w:GD62000] = 30019;
                                                    break;

                    case 0xA001:        [w:GD62000] = 30019;
                                                    break;

                    case 0xA300:        [w:GD62000] = 30019;
                                                    break;

                    case 0xA301:        [w:GD62000] = 30019;
                                                    break;

                    case 0xA600:        [w:GD62000] = 30019;
                                                    break;

                    case 0xA601:        [w:GD62000] = 30019;
                                                    break;

                    default:                    break;
                }
        }

        //フラグリセット
        rst([b:GB30009]);
        rst([b:GB30020]);
}

rst([b:GB30002]);
```

| スクリプト No. | 11 | スクリプト名 | Script11 |
|---|---|---|---|
| コメント | 座標計算(出力) *1 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//タッチした座標から、カーソル位置を割り出します。


If(([w:TMP0120] != [w:GS654]) || ([w:TMP0121] != [w:GS655]))   && (([w:GS654] > Input_X) && ([w:GS655] >
Input_Y))
   && (([w:GS654] < Frame_X) && ([w:GS655] < Frame_Y)))
{
        [w:TMP0120] = [w:GS654];
        [w:TMP0121] = [w:GS655];
```

```
	if(([b:GD31562.b0] == OFF) && ([b:GB30001] == OFF))
	{
		//現在のカーソル位置を保存
		[w:TMP0122] = [w:GD31522];

		//X 座標
		//入力か出力で引く数を変えます。
		//出力
		[w:TMP0123] = [w:TMP0120] - Input_X;
		[w:TMP0124] = [w:TMP0123] / Object_X;
		[w:GD31520] = 16 - ([w:TMP0124] + 1);

		//Y 座標
		[w:TMP0125] = [w:TMP0121] - Input_Y;
		[w:TMP0126] = [w:TMP0125] / Object_Y;
		[w:GD31521] = [w:TMP0126] * 16;

		//オフセット計算
		[w:GD31522] = [w:GD31520] + [w:GD31521];

		//オフセットの位置が変わらなければ、部品の表示は変化なし。
		If([w:TMP0122] != [w:GD31522])
		{
			//カーソル表示
			if([w:GD31000[w:GD31522]] < 4)
			{
				[w:GD31000[w:GD31522]] = [w:GD31000[w:GD31522]] + 4;
			}

			//カーソル消去
			if([w:GD31000[w:TMP0122]] < 4)
			{
				[w:GD31000[w:TMP0122]] = 0;
			}else{
				[w:GD31000[w:TMP0122]] = [w:GD31000[w:TMP0122]] - 4;
			}
		}
	}

	[w:GD32008] = [w:GD31522];		//カーソル位置表示用
}
```

*1：[スクリプトシンボル]を使用しています。[スクリプトシンボル]については、「5.9.4　スクリプトシンボル」を参照してください。

**ベース画面 30004**

| スクリプト No. | 26 | スクリプト名 | Script26 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30001,30004　画面起動時処理 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB40 |

```
if([b:GB30007] == OFF)
{
	set([b:GD31562.b0]);
	set([b:GB30007]);
```

```
}
```

| スクリプト No. | 18 | スクリプト名 | Script18 |
|---|---|---|---|
| コメント | スクリプト No.17 起動 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | OFF 中　GD31563.b0 |

```
if([b:GB30016] == OFF)
{
	set([b:GB30008]);
	set([b:GB30016]);
}
```

| スクリプト No. | 17 | スクリプト名 | Script17 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30004 形名等 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30008 |

```
//各オブジェクトを表示します。
[w:GD31526] = 0;
[w:TMP0004] = 0;
[w:TMP0006] = 1;
[w:TMP0100] = [w:GD31529];
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);

while([w:GD31526] < 15)
{
	//接続状況を確認
	if(([w:GD40290] != 0) && ([w:TMP0100] < [w:GD40290]))
	{
		[w:GD31600] = [w:GD40291[w:TMP0100]];	//接続 ID を取得
		[w:TMP0100] = [w:TMP0100] + 1;

		if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
		{
			set([b:GB30600]);  //出力ビット
			[w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9;
		}else{
			set([b:GB30601]);  //入力ビット
			[w:GD31601] = ([w:GD31600] & 0x0200) >> 9;
		}

		//パラメータのオフセット
		[w:TMP0000] = [w:GD31600] & 0x00FF;

		if(([w:GD31600] & 0x0200) == 0)
		{
			//出力
			[w:TMP0001] = [w:GD40804[w:TMP0000]];
		}else{
			//入力
			[w:TMP0001] = [w:GD41060[w:TMP0000]];
		}
		[w:GD31604] = [w:TMP0001] - 12288;

		//ユニットタイプ
		[w:TMP0002] = [w:GD31604] + 43;
		[w:GD31617[w:GD31526]] = ([w:GD41316[w:TMP0002]] & 0x00C0) >> 6;
```

```
//ユニット形名 No.
[w:TMP0005] = [w:GD31604] + 44;
[w:GD35096[w:GD31526]] = [w:GD41316[w:TMP0005]];

//アラーム情報取得
if([w:GD40547] != 0)
{
	[w:TMP0004] = 0;
	while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
	{
		if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
		{
			[w:GD31602] = 1;  //アラーム発生
			if(([w:BM03-10256] != 304) && (([w:BM03-10256] < 200) ||
([w:BM03-10256] > 202)))
			{
				[w:GD31633[w:GD31526]] = [w:BM03-10256];
			}else{
				[w:TMP0003] = ([w:TMP0001] - 0x3000) + 39;
				[w:GD31633[w:GD31526]] =
[w:GD41316[w:TMP0003]];
			}
			break;
		}
		[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
	}
}

//エラー情報取得
if([w:GD40032] != 0)
{
	[w:TMP0004] = 0;
	while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
	{
		if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD31600])
		{
			[w:GD31603] = 1;  //エラー発生
			if(([w:BM03-10256] == 304) || (([w:BM03-10256] >= 200) &&
([w:BM03-10256] <= 202)))
			{
				[w:GD31633[w:GD31526]] = [w:BM03-10256];
			}else{
				[w:TMP0003] = ([w:TMP0001] - 0x3000) + 39;
				[w:GD31633[w:GD31526]] =
[w:GD41316[w:TMP0003]];
			}
			break;
		}
		[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
	}
}

//表示します。
```

```
                if([w:GD31603] == 1)
                {
                        [w:GD31665[w:GD31526]] = 3;          //エラー発生
                        [w:GD35032[w:GD31526]] = [w:GD31601];       //入出力
                        [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF;       //ID
                        [w:GD31649[w:GD31526]] = [w:GD31600];
                        [w:GD35643] = [w:GD35643] | ([w:TMP0006] << [w:GD31526]);      //表示条件

                }else{
                        if([w:GD31602] == 1)
                        {
                                [w:GD31665[w:GD31526]] = 2;          //アラーム発生
                                [w:GD35032[w:GD31526]] = [w:GD31601];       //入出力
                                [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF;       //ID
                                [w:GD31649[w:GD31526]] = [w:GD31600];
                                [w:GD35643] = [w:GD35643] | ([w:TMP0006] << [w:GD31526]);      //
表示条件
                        }else{
                                [w:GD31665[w:GD31526]] = 1;          //正常
                                [w:GD35032[w:GD31526]] = [w:GD31601];       //入出力
                                [w:GD35064[w:GD31526]] = [w:GD31600] & 0x00FF;       //ID
                                [w:GD31649[w:GD31526]] = [w:GD31600];
                                [w:GD31633[w:GD31526]] = 0;          //ステータス
                                [w:GD35643] = [w:GD35643] | ([w:TMP0006] << [w:GD31526]);      //
表示条件
                }
                }

                [w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
                rst([b:GB30600]);  //出力ビット
                rst([b:GB30601]);  //入力ビット

                //ワークエリアクリア
                [w:TMP0004] = 0;
                fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],5);

        }else{
                //データがない場合は非表示。
                [w:GD31665[w:GD31526]] = 0xFFFF;
                [w:GD35032[w:GD31526]] = 0xFFFF;
                [w:GD35064[w:GD31526]] = 0xFFFF;
                [w:GD35096[w:GD31526]] = 0xFFFF;
                [w:GD31617[w:GD31526]] = 0xFFFF;
                [w:GD31649[w:GD31526]] = 0xFFFE;
                [w:GD31633[w:GD31526]] = 24219;
                [w:GD35643] = [w:GD35643] ^ ([w:TMP0006] << [w:GD31526]);      //表示条件
                [w:GD31526] = [w:GD31526] + 1;
                rst([b:GB30600]);  //出力ビット
                rst([b:GB30601]);  //入力ビット
        }
}

//デバッグ
[w:GD65535] = [w:GD65535] + 1;
```

```
//トリガリセット
rst([b:GB30008]);
```

| スクリプト No. | 24 | スクリプト名 | Script24 |
|---|---|---|---|
| コメント | 各種フラグクリア | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);
rst([b:GB30003]);

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30001)
```

| スクリプト No. | 27 | スクリプト名 | Script27 |
|---|---|---|---|
| コメント | 前ページ | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30014 |

```
if([w:GD31529] > 0)
{
	[w:GD31529] = [w:GD31529] - 15;
	set([b:GB30008]);
}
```

| スクリプト No. | 28 | スクリプト名 | Script28 |
|---|---|---|---|
| コメント | 次ページ | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB30015 |

```
if(([w:GD31529] + 15) < [w:BM03-8960]) && ([w:BM03-8960] > 15))
{
	[w:GD31529] = [w:GD31529] + 15;
	set([b:GB30008]);
}
```

| スクリプト No. | 37 | スクリプト名 | Script37 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30003 詳細画面表示 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB30018 |

```
//表示する詳細画面を決定します
[w:TMP0000] = [w:GD31523] & 0x00FF;

if(([w:GD31523] & 0x0200) >> 8) == 0)
{
	//出力
	[w:GD31567] = [w:GD40804[w:TMP0000]];	//オフセットを算出
}else{
	//入力
	[w:GD31567] = [w:GD41060[w:TMP0000]];	//オフセットを算出
}

[w:BM03-10320] = 0;		//個別パラメータ読み込み
[w:BM03-10321] = [w:GD31523];	//読み込み対象 ID

//表示するベース画面を選択
switch([w:GD35096[w:GD31528]])
{
	case 0x0100:	[w:GD62000] = 30005;
	
	break;

	case 0x0101:	[w:GD62000] = 30005;
```

```
                                        break;

case 0x0102:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

case 0x0103:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

case 0x0104:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

case 0x0105:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

case 0x0106:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

case 0x0107:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

case 0x0400:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

case 0x0401:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

case 0x0402:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

case 0x0403:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

case 0x0404:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

case 0x0405:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

case 0x0406:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

case 0x0407:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

case 0x0700:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

case 0x0701:        [w:GD62000] = 30005;
                                        break;

case 0x0702:        [w:GD62000] = 30007;
                                        break;

case 0x0703:        [w:GD62000] = 30007;
```

```
                                        break;

case 0x0704:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

case 0x0705:        [w:GD62000] = 30006;
                                        break;

case 0x0706:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

case 0x0707:        [w:GD62000] = 30008;
                                        break;

case 0x1000:        [w:GD62000] = 30010;
                                        break;

case 0x1050:        [w:GD62000] = 30010;
                                        break;

case 0x1200:        [w:GD62000] = 30011;
                                        break;

case 0x1250:        [w:GD62000] = 30011;
                                        break;

case 0x1400:        [w:GD62000] = 30012;
                                        break;

case 0x1450:        [w:GD62000] = 30012;
                                        break;

case 0x2000:        [w:GD62000] = 30013;
                                        break;

case 0x2300:        [w:GD62000] = 30014;
                                        break;

case 0x2301:        [w:GD62000] = 30014;
                                        break;

case 0x2302:        [w:GD62000] = 30015;
                                        break;

case 0x2303:        [w:GD62000] = 30016;
                                        break;

case 0x2600:        [w:GD62000] = 30017;
                                        break;

case 0x2900:        [w:GD62000] = 30018;
                                        break;

case 0xA000:        [w:GD62000] = 30019;
```

```
                                        break;

        case 0xA001:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA300:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA301:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA600:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        case 0xA601:    [w:GD62000] = 30019;
                                        break;

        default:                break;
}

rst([b:GB30018]);
```

**ベース画面 30005～30019**

| スクリプト No. | 30 | スクリプト名 | Script30 |
|---|---|---|---|
| コメント | パラメータ表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB40 |

```
if([b:GB30017] == OFF)
{
        //異常情報取得
        if([w:GD40032] != 0)
        {
                [w:TMP0000] = 0;
                while([w:TMP0000] < [w:GD40032])
                {
                        if([w:GD40033[w:TMP0000]] == [w:BM03-10321])
                        {
                                set([b:GB30028]);  //異常発生フラグ
                                break;
                        }
                        [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1;
                }
        }

        if([b:GB30028] == ON)
        {
                //異常が発生している場合は、最後に読み出した設定を読み込みます。
                set([b:GD31564.b0]);
        }else{
                //異常が発生していない場合は、最新情報を読み込みます。
                set([b:Y40]);
        }
        [w:GD31681] = 1;  //処置方法の開始行設定
        set([b:GB30017]);
```

```
}
```

| スクリプト No. | 16 | スクリプト名 | Script16 |
|---|---|---|---|
| コメント | パラメータ書き込みトリガ OFF | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　Y40 |

```
if([w:BM03-10320] == 0)
{
	set([b:GB30024]);  //読み込みフラグ
}else{
	set([b:GB30025]);  //書き込みフラグ
}

if([b:X42] == ON)
{
		[w:GD60001] = 30002;
		rst([b:GB30024]);
		rst([b:GB30025]);
		rst([b:Y40]);
}else{
	if([b:X41] == ON)
	{
		rst([b:GB30024]);
		rst([b:GB30025]);
		set([b:GB30026]);
		rst([b:Y40]);
	}
}
```

| スクリプト No. | 29 | スクリプト名 | Script29 |
|---|---|---|---|
| コメント | ユニット形名ナンバー修正 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | OFF 中　GD31565.b0 |

```
if([b:GB30021] == OFF)
{
	//ユニット形名ナンバーを 10 進に変換します。
	[w:TMP0000] = [w:GD53629] & 0x000F;		//1 の位
	[w:TMP0001] = (([w:GD53629] & 0x00F0) >> 4) * 10;	//10 の位
	[w:TMP0002] = (([w:GD53629] & 0x0F00) >> 8) * 100;	//100 の位
	[w:TMP0003] = (([w:GD53629] & 0xF000) >> 12) * 1000;	//1000 の位
	[w:GD31607] = [w:TMP0000] + [w:TMP0001] + [w:TMP0002] + [w:TMP0003];

	set([b:GB30019]);
	set([b:GB30021]);
}
```

| スクリプト No. | 40 | スクリプト名 | Script40 |
|---|---|---|---|
| コメント | 各種フラグクリア(詳細画面) | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
rst([b:GB30006]);
rst([b:GB30007]);
rst([b:GB30003]);

rst([b:GB30016]);
rst([b:GB30017]);
rst([b:GB30021]);
```

```
rst([b:GB30028]);

[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31000],512); //各オブジェクトの値を初期化します。(B-30001)
```

| スクリプト No. | 41 | スクリプト名 | Script41 |
|---|---|---|---|
| コメント | ユニット詳細情報表示 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30019 |

```
//詳細情報の表示をします。

//ワークエリアクリア
[w:TMP0004] = 0;
fmov([w:TMP0004],[w:GD31600],7);

//アラーム情報取得
if([w:GD40547] != 0)
{
	[w:TMP0004] = 0;
	while([w:TMP0004] < [w:GD40547])
	{
		if([w:GD40548[w:TMP0004]] == [w:GD53604])
		{
			[w:GD31602] = 1;  //アラーム発生
			if(([w:BM03-10256] != 305) && (([w:BM03-10256] != 304) && (([w:BM03-10256] <
200) || ([w:BM03-10256] > 202))))
			{
				[w:GD31608] = [w:BM03-10256];
			}else{
				[w:GD31608] = [w:GD53624];
			}
			break;
		}
		[w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
	}
}



//エラー情報取得
if([w:GD40032] != 0)
{
	[w:TMP0004] = 0;
	while([w:TMP0004] < [w:GD40032])
	{
		if([w:GD40033[w:TMP0004]] == [w:GD53604])
		{
			[w:GD31603] = 1;  //エラー発生
			if(([w:BM03-10256] != 305) && (([w:BM03-10256] == 304) || (([w:BM03-10256] >=
200) && ([w:BM03-10256] <= 202))))
			{
				[w:GD31608] = [w:BM03-10256];
			}else{
				[w:GD31608] = [w:GD53624];
			}
			break;
```

```
                }
                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }
}

//機器パラメータを取得
//I/O 点数パターン
[w:GD31605] = ([w:GD53628] & 0x00C0) >> 6;   //0:入力、1:出力、2:複合
[w:GD31606] = ([w:GD53628] & 0x003F) + 1;    //点数

//ON/OFF 情報取得
[w:TMP0008] = 0;
[w:TMP0000] = [w:GD53604] & 0x00FF;
if([w:GD31605] == 0)        //入力の場合
{
        [w:TMP0004] = 0;

        while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
        {
                [w:TMP0009] = [w:TMP0000] / 16;
                [w:TMP0010] = [w:TMP0000] % 16;

                [w:GD31682[w:TMP0008]] = [w:TMP0009];
                [w:TMP0012] = 0x0001;
                [w:GD31990[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

                if([w:GD31603] == 1)        //異常は発生しているか
                {
                        [w:GD31609[w:TMP0008]] = 3;        //異常発生
                }else{
                        if([w:GD31602] == 1)        //アラームは発生しているか
                        {
                                [w:GD31609[w:TMP0008]] = 2;        //アラーム発生
                        }else{
                                [w:GD31609[w:TMP0008]] = 1;        //正常
                                [w:GD31608] = 0;
                        }
                }

                [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1;
                [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
        }

}else{
        if([w:GD31605] == 1)        //出力の場合
        {
                [w:TMP0004] = 0;

                while([w:TMP0004] < [w:GD31606])
                {
                        [w:TMP0009] = [w:TMP0000] / 16;
                        [w:TMP0010] = [w:TMP0000] % 16;
```

```
                        [w:GD31682[w:TMP0008]] = [w:TMP0009] + 4096;
                        [w:TMP0012] = 0x0001;
                        [w:GD31990[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

                        if([w:GD31603] == 1)        //異常は発生しているか
                        {
                                [w:GD31609[w:TMP0008]] = 3;        //異常発生
                        }else{
                                if([w:GD31602] == 1)        //アラームは発生しているか
                                {
                                        [w:GD31609[w:TMP0008]] = 2;        //アラーム発生
                                }else{
                                        [w:GD31609[w:TMP0008]] = 1;        //正常
                                        [w:GD31608] = 0;
                                }
                        }

                        [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1;
                        [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
                }

        }else{
                if([w:GD31605] == 2)        //複合の場合
                {
                        [w:TMP0004] = 0;
                        [w:TMP0011] = [w:GD31606] / 2;        //複合は、点数が半分
                        while([w:TMP0004] < [w:TMP0011])
                        {
                                [w:TMP0009] = [w:TMP0000] / 16;
                                [w:TMP0010] = [w:TMP0000] % 16;

                                //出力
                                [w:GD31682[w:TMP0008]] = [w:TMP0009] + 4096;
                                [w:TMP0012] = 0x0001;
                                [w:GD31990[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

                                if([w:GD31603] == 1)        //異常は発生しているか
                                {
                                        [w:GD31609[w:TMP0008]] = 3;        //異常発生
                                }else{
                                        if([w:GD31602] == 1)        //異常は発生しているか
                                        {
                                                [w:GD31609[w:TMP0008]] = 2;        //アラーム
発生
                                        }else{
                                                [w:GD31609[w:TMP0008]] = 1;        //正常
                                                [w:GD31608] = 0;
                                        }
                                }

                                //入力
                                [w:GD31683[w:TMP0008]] = [w:TMP0009];
                                [w:TMP0012] = 0x0001;
```

```
                                        [w:GD31991[w:TMP0008]] = [w:TMP0012] << [w:TMP010];

                                        if([w:GD31603] == 1)          //異常は発生しているか
                                        {
                                                [w:GD31610[w:TMP0008]] = 3;          //異常発生
                                        }else{
                                                if([w:GD31602] == 1)          //アラームは発生しているか
                                                {
                                                        [w:GD31610[w:TMP0008]] = 2;          //アラーム
発生
                                                }else{
                                                        [w:GD31610[w:TMP0008]] = 1;          //正常
                                                        [w:GD31608] = 0;
                                                }
                                        }

                                        [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 1;
                                        [w:TMP0008] = [w:TMP0008] + 1;
                                        [w:TMP0004] = [w:TMP0004] + 1;
                                }
                        }
                }
}

rst([b:GB30019]);
```

| スクリプト No. | 42 | スクリプト名 | Script42 |
|---|---|---|---|
| コメント | パラメータ再読み込み | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | OFF 中　GD31563.b0 |

```
if([b:GB30016] == OFF)
{
        set([b:GD31564.b0]);
        set([b:GB30016]);
}
```

| スクリプト No. | 47 | スクリプト名 | Script47 |
|---|---|---|---|
| コメント | パラメータ個別読み込み | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB30026 |

```
if([w:BM03-10320] == 0)
{
        set([b:GD31564.b0]);
}else{
        [w:BM03-10320] = 0;
        set([b:Y40]);
}

rst([b:GB30026]);
```

**ベース画面 30100**

| スクリプト No. | 30040 | スクリプト名 | Script30040 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30100　iQSS バックアップ設定一覧読み込み | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54010 |

```
//プロジェクトスクリプトから、起動されます。
//iQSS バックアップ設定一覧、iQSS バックアップ履歴一覧を拡張レシピから読み込みます。
```

```
//Aドライブがアクセス可能かどうかをチェックします。
If([b:GS251.b0] == ON)
{
        set([b:GB54016]);  //レシピ No.30001  書き込みトリガ
        [w:GD54090] = 1;  //レシピ No.30001  レコード No.
        [w:GD54004] = 1;          //次データ取得フラグ
}else{
        rst([b:GB54014]);  //画面切換スイッチ動作条件 OFF
        [w:GD54006] = 32015;
        [w:GD62001] = 30005;
}
rst([b:GB54010]);
```

| スクリプト No. | 30041 | スクリプト名 | Script30041 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30100  拡張レシピ書込みトリガ OFF | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中  GD54012.b4 |

```
//拡張レシピの書き込みトリガを OFF します。

//フラグが立っていた場合は、
//次のデータを読み込む
if([w:GD54004] == 1)
{
        set([b:GB54011]);
}else{
        rst([b:GB54014]);  //画面切換スイッチ動作条件 OFF
}

if([w:GD54013] == 30001)
{
        rst([b:GB54016]);  //レシピ No.30001  書き込みトリガ
}else{
        rst([b:GB54018]);  //レシピ No.30002  書き込みトリガ
}

rst([b:GD54012.b4]);
```

| スクリプト No. | 30042 | スクリプト名 | Script30042 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30100  iQSS バックアップ履歴一覧読み込み | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中  GB54011 |

```
//iQSS バックアップ履歴を読み込みます。

[w:GD54091] = 1;  //レシピ No.30002  レコード No.
set([b:GB54018]);  //レシピ No.30002  書き込みトリガ

[w:GD54004] = 0;  //フラグクリア

rst([b:GB54011]);
```

**ベース画面 30101**

| スクリプト No. | 30024 | スクリプト名 | Script30024 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30101  iQSS バックアップ設定転送 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中  GB54000 |

```
//iQSS バックアップ設定一覧から、iQSS バックアップのパラメータを編集エリアへ転送します。
[w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21;
[w:GD54100[w:TMP0000]] = [w:GD54007] + 1;
```

```
bmov([w:GD54100[w:TMP0000]],[w:GD54015],20);
[w:GD54086] = [w:GD54120[w:TMP0000]];

//対象機種が指定されている場合は、
//対象機種、I/O No.を代入します。
If([w:GD54075] != 0)
{
	[w:GD54016] = [w:GD54075];		//対象機種
	[w:GD54030] = [w:GD54089];		//I/O No.

	//対象機種が AnyWireASLINK の場合のみ、実行します。
	If([w:GD54075] == 1)
	{
		set([b:GD54086.b0]);			//出力、入力/混合を選択するためのフラグ
	}

}

//フォルダ番号は固定です。
[w:GD54029] = -2; //フォルダ番号自動取得

[w:GD62000] = 30102;		//ベース画面切換

rst([b:GB54000]);
```

| スクリプト No. | 30035 | スクリプト名 | Script30035 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30101 データ削除 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB54006 |

```
//iQSS バックアップ設定一覧から、指定されたデータを削除し、
//その後、データを前詰めにします。

//データが選択されているかをチェックします。
If([w:GD54000] != 0)
{
	//削除するデータのオフセット
	[w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21;

	//選択箇所に、データが存在しない場合、削除はしない
	if([w:GD54101[w:TMP0000]] != 0)
	{
		//データをクリア
		[w:TMP0002] = 0;
		fmov([w:TMP0002],[w:GD54100[w:TMP0000]],21);

		[w:GD54090] = 1;	//レシピ No.30001 レコード No.
		set([b:GB54017]);	//レシピ No.30001 読み出しトリガ
	}else{
		[w:GD54006] = 32012;
		[w:GD62001] = 30005;
	}
}else{
	[w:GD54006] = 32012;
	[w:GD62001] = 30005;
}
```

```
rst([b:GB54006]);
```

| スクリプト No. | 30029 | スクリプト名 | Script30029 |
|---|---|---|---|
| コメント | iQSS バックアップ/リストア使用権取得情報チェック | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 周期　1 秒 |

```
//定期的に使用権取得状況をチェックします。
If([w:SD1435] == [w:SD1436])
{
	set([b:GB54004]);	//iQSS バックアップ許可ビット ON
}else{
	rst([b:GB54004]);	//iQSS バックアップ許可ビット OFF
}
```

| スクリプト No. | 30026 | スクリプト名 | Script30026 |
|---|---|---|---|
| コメント | 拡張レシピトリガ OFF | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GD54012.b5 |

```
//拡張レシピの読み出しトリガを OFF します。

If([w:GD54013] == 30001)
{
	rst([b:GB54017]);	//レシピ No.30001　読み出しトリガ
}else{
	rst([b:GB54019]);	//レシピ No.30002　読み出しトリガ
}

rst([b:GD54012.b5]);
```

| スクリプト No. | 30028 | スクリプト名 | Script30028 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30101 iQSS バックアップ前処理 1 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54013 |

```
//iQSS バックアップの前処理です。

//オフセットを算出
[w:TMP0000] = [w:GD54007] * 21;


//A ドライブにアクセス可能かをチェックします。
If([b:GS251.b0] == ON)
{

	//ユニット種別が 0 の場合は、設定が入っていないのでバックアップはしない
	if([w:GD54101[w:TMP0000]] != 0)
	{
		//バックアップした件数をチェックします。
		//100 件を超えていた場合は、バックアップをする前にメッセージを表示します。
		If([w:GD54101[w:TMP0000]] == 1)
		{
			//AnyWireASLINK
			if([w:GD54087] == 100)
			{
				[w:GD54006] = 280;
			}else{
				[w:GD54006] = 268;
			}
		}else{
```

```
                                //CC-LINK
                                if([w:GD54088] == 100)
                                {
                                        [w:GD54006] = 281;
                                }else{
                                        [w:GD54006] = 268;
                                }
                        }

                        [w:GD62001] = 30006;

                }else{
                        [w:GD54006] = 32007;
                        [w:GD62001] = 30005;
                }
}else{
                [w:GD54006] = 32017;
                [w:GD62001] = 30005;
}

rst([b:GB54013]);
```

| スクリプト No. | 30030 | スクリプト名 | Script30030 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30101 iQSS バックアップ前処理 2 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54002 |

```
//設定された内容をシーケンサのデバイスへ転送します。

//設定名称
bmov([w:GD54102[w:TMP0000]],[w:GD54017],12);

//SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
[w:SD1437] = (([w:GD54116[w:TMP0000]] & 0x00FF) << 8) + ([w:GD54101[w:TMP0000]] & 0x00FF);

//実行単位表示
[w:GD54016] = [w:GD54101[w:TMP0000]];

//SD1438:iQSS バックアップ/リストア対象フォルダ番号
[w:SD1438] = [w:GD54114[w:TMP0000]];

//SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定（対象ユニット I/O 番号）
[w:SD1439] = [w:GD54115[w:TMP0000]];

//SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定（対象機器 1　ASLINK：ID 番号、CC-Link：局番）
[w:SD1440] = [w:GD54117[w:TMP0000]];

//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定（対象機器 2　ASLINK：未使用、CC-Link：サブ局番）
[w:SD1441] = [w:GD54118[w:TMP0000]];

//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
[w:SD1444] = [w:GD54119[w:TMP0000]];

//iQSS バックアップ使用権が取得されていれば、バックアップ開始
if(([b:GB54004] == ON) && ([w:SD1446] == 0x0001))
{
        set([b:SM1436]);
```

```
        [w:GD62000] = 30103;
}else{
        [w:GD54006] = 32006;
        [w:GD62001] = 30005;
}

rst([b:GB54002]);
```

**ベース画面 30102**

| スクリプト No. | 30025 | スクリプト名 | Script30025 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30102 iQSS バックアップ設定保存 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB54001 |

```
//機器の iQSS バックアップ設定をレシピに保存します。

//A ドライブにアクセス可能かをチェックします。
If([b:GS251.b0] == ON)
{
        //対象機種が設定されているかをチェックします。
        If([w:GD54016] != 0)
        {
                //実行単位を設定しているかチェックします。
                If([w:GD54031] != 0)
                {
                        //局番、局サブに正しい値が入っているかをチェックします。
                        If(([w:GD54031] == 1) || (([w:GD54031] == 2) && ([w:GD54032] >= 0)) ||
(([w:GD54031] >= 3) && (([w:GD54032] >= 0) && ([w:GD54033] >= 0))))
                        {
                                //全てのチェックが OK なら、レシピに保存します。
                                [w:TMP0000] = ([w:GD54015] - 1) * 21;
                                bmov([w:GD54015],[w:GD54100[w:TMP0000]],20);
                                [w:GD54120[w:TMP0000]] = [w:GD54086];
                                [w:GD54090] = 1;  //レシピ No.30001 レコード No.
                                set([b:GB54017]);  //レシピ No.30001 読み出しトリガ

                        }else{
                                [w:GD54006] = 32011;
                                [w:GD62001] = 30005;
                        }
                }else{
                        [w:GD54006] = 32011;
                        [w:GD62001] = 30005;
                }
        }else{
                [w:GD54006] = 32009;
                [w:GD62001] = 30005;
        }
}else{
        [w:GD54006] = 32017;
        [w:GD62001] = 30005;
}
rst([b:GB54001]);
```

| スクリプト No. | 30045 | スクリプト名 | Script30045 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30102　拡張レシピトリガ OFF | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GD54012.b5 |

```
//拡張レシピの読み出しトリガを OFF します。

Rst([b:GB54017]); //レシピ No.30001 読み出しトリガ

[w:GD54006] = 32016;
[w:GD62001] = 30005;

rst([b:GD54012.b5]);
```

| スクリプト No. | 30032 | スクリプト名 | Script30032 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30102　コメント表示制御 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//CC-Link と ASLINK でコメントを切り換えます。

Switch([w:GD54016])
{
        //ASLINK
        case 1:  [w:GD54035] = 226;        //ID or 局
                 [w:GD54036] = 232;        //全 ID or 全局
                 [w:GD54037] = 233;        //ID 指定 or 局指定
                 [w:GD54038] = 285;        //なし or 局サブ
                 [w:GD54039] = 0;  //なし or 局サブ指定
                 break;

        //CC-Link
        case 2:  [w:GD54035] = 225;        //ID or 局
                 [w:GD54036] = 242;        //全 ID or 全局
                 [w:GD54037] = 243;        //ID 指定 or 局指定
                 [w:GD54038] = 227;        //なし or 局サブ
                 [w:GD54039] = 244;        //なし or 局サブ指定
                 break;

        //その他
        default: [w:GD54035] = 0;  //ID or 局
                 [w:GD54036] = 0;  //全 ID or 全局
                 [w:GD54037] = 0;  //ID 指定 or 局指定
                 [w:GD54038] = 0;  //なし or 局サブ
                 [w:GD54039] = 0;  //なし or 局サブ指定
                 break;
}
```

| スクリプト No. | 30031 | スクリプト名 | Script30031 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30102　入出力判定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り/立下り　GD54086.b2 |

```
//AnyWireASLINK 時に、出力の場合は ID の 9 ビット目を OFF し、
//入力/混合の場合は 9 ビット目を ON します。

If([b:GD54086.b2] == ON)
{
        [w:GD54032] = [w:GD54032] | 0x0200;//入力/混合
}else{
```

```
        [w:GD54032] = [w:GD54032] & 0x00FF;          //出力
}
```

**ベース画面 30103**

| スクリプト No. | 30033 | スクリプト名 | Script30033 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30103,30106 画面起動時動作 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB40 |

```
//画面起動時に各種設定を行います。

//画面表示時のみ起動
if([b:GB54008] == OFF)
{
        //バックアップ実施日時
        [w:GD54040] = [w:GS650];
        [w:GD54041] = [w:GS651];
        [w:GD54042] = [w:GS652];

        set([b:GB54008]);
}
```

| スクリプト No. | 30038 | スクリプト名 | Script30038 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30103 正常終了 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り SM1437 |

```
//iQSS バックアップ完了後、結果を拡張レシピに保存します。

//ASLINK または CC-Link のどちらかが 100 件を超えていた場合、
//一番古いバックアップ履歴を削除します。
//ただし、専用画面として作成していた場合は動作しません。
If([w:GD54075] == 0)
{
        if(([w:GD54087] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 1))
        {
                [w:TMP0001] = 0;
                [w:TMP0003] = 0;
                //全履歴から ASLINK の履歴を検索します。
                While([w:TMP0001] < 199)
                {
                        [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;     //オフセット
                        if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 1)
                        {
                                [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
                                if([w:TMP0003] == 100)
                                {
                                        //履歴が 100 件目に来たらループを抜ける
                                        break;
                                }
                        }
                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                }
                [w:TMP0004] = 0;
                fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

                //削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
                While([w:TMP0001] < 199)
```

```
		{
			[w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;	//オフセット
			[w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先オフセット

			bmov([w:GD56200[w:TMP0005]],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

			[w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
		}

	}else{
		if(([w:GD54088] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 2))
		{
			[w:TMP0001] = 0;
			[w:TMP0003] = 0;
			//全履歴から CC-Link の履歴を検索します。
			While([w:TMP0001] < 199)
			{
				[w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;	//オフセット
				if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 2)
				{
					[w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
					if([w:TMP0003] == 100)
					{
						//履歴が 100 件目に来たらループを抜ける
						break;
					}
				}
				[w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
			}
			[w:TMP0004] = 0;
			fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

			//削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
			While([w:TMP0001] < 199)
			{
				[w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;	//オフセット
				[w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先オフセット

				bmov([w:GD56200[w:TMP0005]],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

				[w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
			}
		}
	}
}

//オフセット算出
if(([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2))
{
	//ASLINK  or  CC-Link 専用画面
	[w:TMP0001] = 99;
}else{
	//汎用画面
	[w:TMP0001] = 199;
```

```
}

//iQSS バックアップの結果を降順に格納します。
While([w:TMP0001] > 0)
{
        [w:TMP0000] = [w:TMP0001] * 27;
        [w:TMP0002] = ([w:TMP0001] - 1) * 27;

        bmov([w:GD56200[w:TMP0002]],[w:GD56200[w:TMP0000]],27);
        [w:GD56200[w:TMP0000]] = [w:TMP0001] + 1;

        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] - 1;
}

//No.
[w:GD56200] = 1;

//SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
[w:GD56201] = [w:SD1437] & 0x00FF;
[w:GD56216] = ([w:SD1437] & 0xFF00) >> 8;

//設定名称
bmov([w:GD54017],[w:GD56202],12);

//SD1451iQSS:バックアップフォルダ番号
[w:GD56214] = [w:SD1451];

//SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定（対象ユニット I/O 番号）
[w:GD56215] = [w:SD1439];

//SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定（対象機器 1  ASLINK：ID 番号、CC-Link：局番）
[w:GD56217] = [w:SD1440];

//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定（対象機器 2  ASLINK：未使用、CC-Link：サブ局番）
[w:GD56218] = [w:SD1441];

//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
[w:GD56219] = [w:SD1444];

//iQSS バックアップ実施日時
[w:GD56220] = [w:GD54040];
[w:GD56221] = [w:GD54041];
[w:GD56222] = [w:GD54042];

//SD1447:iQSS バックアップ/リストア対象機器数
[w:GD56223] = [w:SD1447];

//SD1448:iQSS バックアップ/リストア正常完了機器数
[w:GD56224] = [w:SD1448];

//SD1449:iQSS バックアップ/リストア異常完了機器数
[w:GD56225] = [w:SD1449];

//iQSS バックアップ件数
```

```
if([w:GD56201] == 1)
{
	//AnyWireASLINK
	if([w:GD54087] >= 100)
	{
		[w:GD54087] = 100;
	}else{
		[w:GD54087] = [w:GD54087] + 1;
	}
}else{
	//CC-LINK
	if([w:GD54088] >= 100)
	{
		[w:GD54088] = 100;
	}else{
		[w:GD54088] = [w:GD54088] + 1;
	}
}

//拡張レシピへ保存します
[w:GD54091] = 1;  //レシピ No.30002 レコード No.
set([b:GB54019]);  //レシピ No.30002 読み出しトリガ

//中断したかどうかで、メッセージを変えます。
If([b:SM1442] == ON)
{
	[w:GD54006] = 32002; //バックアップ中断メッセージ
}else{
	[w:GD54006] = 32000; //バックアップ成功メッセージ
}
[w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
```

| スクリプト No. | 30005 | スクリプト名 | Script30005 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30103 異常終了 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 SM1438 |

```
//iQSS バックアップ完了後、結果を拡張レシピに保存します。

If([b:GB54009] == OFF)
{
	//フォルダが作成されない場合は、履歴に残さない
	if(([w:SD1447] != 0) && ([w:SD1448] != 0))
	{
		//ASLINK または CC-Link のどちらかが 100 件を超えていた場合、
		//一番古いバックアップ履歴を削除します。
		//ただし、専用画面として作成していた場合は動作しません。
		If([w:GD54075] == 0)
		{
			if(([w:GD54087] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 1))
			{
				[w:TMP0001] = 0;
				[w:TMP0003] = 0;
				//全履歴から ASLINK の履歴を検索します。
				While([w:TMP0001] < 199)
				{
					[w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;	//オフセット
```

```
                        if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 1)
                        {
                                [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
                                if([w:TMP0003] == 100)
                                {
                                        //履歴が 100 件目に来たらループを抜け
る
                                        break;
                                }
                        }
                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                }
                [w:TMP0004] = 0;
                fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

                //削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
                While([w:TMP0001] < 199)
                {
                        [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;     //オフセット
                        [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先オフセット


        bmov([w:GD56200[w:TMP0005]],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                }

        }else{
                if(([w:GD54088] == 100) && (([w:SD1437] & 0x00FF) == 2))
                {
                        [w:TMP0001] = 0;
                        [w:TMP0003] = 0;
                        //全履歴から CC-Link の履歴を検索します。
                        While([w:TMP0001] < 199)
                        {
                                [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;     //オフセット
                                if([w:GD56201[w:TMP0002]] == 2)
                                {
                                        [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
                                        if([w:TMP0003] == 100)
                                        {
                                                //履歴が 100 件目に来たらル
ープを抜ける
                                                break;
                                        }
                                }
                                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                        }
                        [w:TMP0004] = 0;
                        fmov([w:TMP0004],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

                        //削除した箇所より後ろのデータを前詰めにします。
                        While([w:TMP0001] < 199)
                        {
```

```
                                                        [w:TMP0002] = [w:TMP0001] * 27;     //オフセット
                                                        [w:TMP0005] = ([w:TMP0001] + 1) * 27;//コピー先
オフセット


        bmov([w:GD56200[w:TMP0005]],[w:GD56200[w:TMP0002]],27);

                                                        [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 1;
                                                }
                                        }
                                }
                        }

                        //オフセット算出
                        if(([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2))
                        {
                                //ASLINK  or  CC-Link 専用画面
                                [w:TMP0001] = 99;
                        }else{
                                //汎用画面
                                [w:TMP0001] = 199;
                        }

                        //iQSS バックアップの結果を降順に格納します。
                        While([w:TMP0001] > 0)
                        {
                                [w:TMP0000] = [w:TMP0001] * 27;
                                [w:TMP0002] = ([w:TMP0001] - 1) * 27;

                                bmov([w:GD56200[w:TMP0002]],[w:GD56200[w:TMP0000]],27);
                                [w:GD56200[w:TMP0000]] = [w:TMP0001] + 1;

                                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] - 1;
                        }

                        //No.
                        [w:GD56200] = 1;

                        //SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
                        [w:GD56201] = [w:SD1437] & 0x00FF;
                        [w:GD56216] = ([w:SD1437] & 0xFF00) >> 8;

                        //設定名称
                        bmov([w:GD54017],[w:GD56202],12);

                        //SD1451:iQSS バックアップフォルダ番号
                        [w:GD56214] = [w:SD1451];

                        //SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)
                        [w:GD56215] = [w:SD1439];

                        //SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1  ASLINK:ID 番号、CC-Link:
局番)
                        [w:GD56217] = [w:SD1440];
```

```
		//SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:
サブ局番)
		[w:GD56218] = [w:SD1441];

		//SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
		[w:GD56219] = [w:SD1444];

		//iQSS バックアップ実施日時
		[w:GD56220] = [w:GD54040];
		[w:GD56221] = [w:GD54041];
		[w:GD56222] = [w:GD54042];

		//SD1447:iQSS バックアップ/リストア対象機器数
		[w:GD56223] = [w:SD1447];

		//SD1448:iQSS バックアップ/リストア正常完了機器数
		[w:GD56224] = [w:SD1448];

		//SD1449:iQSS バックアップ/リストア異常完了機器数
		[w:GD56225] = [w:SD1449];

		//iQSS バックアップ件数
		if([w:GD56201] == 1)
		{
			//AnyWireASLINK
			if([w:GD54087] >= 100)
			{
				[w:GD54087] = 100;
			}else{
				[w:GD54087] = [w:GD54087] + 1;
			}
		}else{
			//CC-LINK
			if([w:GD54088] >= 100)
			{
				[w:GD54088] = 100;
			}else{
				[w:GD54088] = [w:GD54088] + 1;
			}
		}

		//拡張レシピへ保存します
		[w:GD54091] = 1;  //レシピ No.30002 レコード No.
		set([b:GB54019]);  //レシピ No.30002 読み出しトリガ
	}

	if([w:SD1452] != 0)
	{
		if([w:SD1452] == 16894)
		{
			[w:GD54006] = 32001; //バックアップ失敗メッセージ
			[w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
		}else{
```

```
                        [w:GD54006] = [w:SD1452]; //バックアップ失敗メッセージ
                        [w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
                }
        }else{
                if([w:SD1453] != 0)
                {
                        [w:GD54006] = [w:SD1453]; //バックアップ失敗メッセージ
                        [w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
                }else{
                        [w:GD54006] = 32001; //バックアップ失敗メッセージ
                        [w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
                }
        }

        set([b:GB54009]);
}
```

| スクリプト No. | 30026 | スクリプト名 | Script30026 |
|---|---|---|---|
| コメント | 拡張レシピトリガ OFF | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GD54012.b5 |

```
//拡張レシピの読み出しトリガを OFF します。

If([w:GD54013] == 30001)
{
        rst([b:GB54017]);   //レシピ No.30001  読み出しトリガ
}else{
        rst([b:GB54019]);   //レシピ No.30002  読み出しトリガ
}

rst([b:GD54012.b5]);
```

| スクリプト No. | 30037 | スクリプト名 | Script30037 |
|---|---|---|---|
| コメント | 画面切換時処理 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
//各種フラグのクリアをします。

Rst([b:GB54008]);
rst([b:GB54009]);

//オーバーラップウィンドウを閉じます。
[w:GD62001] = 0;
[w:GD62004] = 0;
```

| スクリプト No. | 30043 | スクリプト名 | Script30043 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30103、30106 iQSS バックアップ/リストア中止 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54002 |

```
//iQSS バックアップ、または、iQSS リストアを中断します。
Set([b:SM1442]);    //iQSS バックアップ/リストア中止要求

rst([b:GB54002]);
```

**ベース画面 30104**

| スクリプト No. | 30034 | スクリプト名 | Script30034 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30104　iQSS リストア設定確認 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54005 |

```
//iQSS バックアップの内容を確認します。
[w:TMP0000] = [w:GD54008] * 27;
bmov([w:GD56200[w:TMP0000]],[w:GD54043],20);

[w:GD62000] = 30105;

rst([b:GB54005]);
```

| スクリプト No. | 30036 | スクリプト名 | Script30036 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30104　データ削除 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54006 |

```
//iQSS バックアップ履歴一覧から、指定されたデータを削除し、
//その後、データを前詰めにします。

//全件削除、または指定範囲の削除かをチェックします。
If([b:GB54012] == OFF)
{
	//データが選択されているかをチェックします。
	If([w:GD54002] != 0)
	{
		//削除するデータのオフセット
		[w:TMP0000] = ([w:GD54008] * 27) + [w:GD54003];
		//コピー元のオフセット
		[w:TMP0001] = (([w:GD54008] + 1) * 27) + [w:GD54003];

		//選択した箇所にバックアップデータがない場合は、処理しない
		if([w:GD56201[w:TMP0000]] != 0)
		{
			//バックアップ件数を減らします。
			If(([w:GD56223[w:TMP0000]]	!=	0)	&&	([w:GD56223[w:TMP0000]]	==
[w:GD56224[w:TMP0000]]))
			{
				if([w:GD56201[w:TMP0000]] == 1)
				{
					//AnyWireASLINK
					if([w:GD54087] > 0)
					{
						[w:GD54087] = [w:GD54087] - 1;
					}else{
						[w:GD54087] = 0;
					}
				}else{
					//CC-LINK
					if([w:GD54088] > 0)
					{
						[w:GD54088] = [w:GD54088] - 1;
					}else{
						[w:GD54088] = 0;
					}
				}
			}

			//処理を繰り返す回数を算出
			[w:TMP0003] = [w:TMP0000] / 27;
			if(([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2))
```

```
{
        //ASLINK  or  CC-Link 専用画面
        [w:TMP0002] = 99;
}else{
        //汎用画面
        [w:TMP0002] = 199;
}

while([w:TMP0003] <= [w:TMP0002])
{
        if([w:TMP0003] != [w:TMP0002])
        {
                //データを上書き

bmov([w:GD56200[w:TMP0001]],[w:GD56200[w:TMP0000]],27);
                //No.は現在の No.に合わせる。ただし、No.が 0 以下のときは
0 で固定
                if([w:GD56200[w:TMP0000]] > 0)
                {
                        [w:GD56200[w:TMP0000]]                          =
[w:GD56200[w:TMP0000]] - 1;
                }else{
                        [w:GD56200[w:TMP0000]] = 0;
                }

                //オフセットを加算
                [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 27;
                [w:TMP0001] = [w:TMP0001] + 27;

                //カウント加算
                [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
        }else{
                //最後のデータは 0 にする
                [w:TMP0004] = 0;

                if(([w:GD54075] == 1) || ([w:GD54075] == 2))
                {
                        //ASLINK  or  CC-Link 専用画面
                        fmov([w:TMP0004],[w:GD58873],27);
                }else{
                        //汎用画面
                        fmov([w:TMP0004],[w:GD61573],27);
                }
                [w:TMP0000] = [w:TMP0000] + 27;

                //カウント加算
                [w:TMP0003] = [w:TMP0003] + 1;
        }
}

//レシピへ保存
[w:GD54091] = 1;  //レシピ No.30002  レコード No.
set([b:GB54019]);  //レシピ No.30002  読み出しトリガ
```

```
                }else{
                        [w:GD54006] = 32012;
                        [w:GD62001] = 30005;
                }
        }else{
                [w:GD54006] = 32012;
                [w:GD62001] = 30005;
        }
}else{

        //全件削除
        [w:TMP0000] = 0;
        fmov([w:TMP0000],[w:GD56200],5400);

        //バックアップ件数クリア
        //AnyWireASLINK
        [w:GD54087] = 0;
        //CC-Link
        [w:GD54088] = 0;

        //レシピへ保存
        [w:GD54091] = 1;  //レシピ No.30002 レコード No.
        set([b:GB54019]);  //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}
rst([b:GB54006]);
```

| スクリプト No. | 30026 | スクリプト名 | Script30026 |
|---|---|---|---|
| コメント | 拡張レシピトリガ OFF | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GD54012.b5 |

```
//拡張レシピの読み出しトリガを OFF します。

if([w:GD54013] == 30001)
{
        rst([b:GB54017]);  //レシピ No.30001 読み出しトリガ
}else{
        rst([b:GB54019]);  //レシピ No.30002 読み出しトリガ
}

rst([b:GD54012.b5]);
```

| スクリプト No. | 30039 | スクリプト名 | Script30039 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30104 リストア前処理 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54002 |

```
//設定された内容をシーケンサのデバイスへ転送します。

//オフセットを算出
[w:TMP0000] = [w:GD54008] * 27;

//対象機種が 0 の場合は、設定が入っていないのでリストアはしない
if([w:GD56201[w:TMP0000]] != 0)
{
        //正常終了していないバックアップからは、リストアはさせない
        if(([w:GD56223[w:TMP0000]] != 0) && ([w:GD56223[w:TMP0000]] == [w:GD56224[w:TMP0000]]))
        {
                //設定名称
```

```
                bmov([w:GD56202[w:TMP0000]],[w:GD54045],24);

                //対象機器コメント表示
                [w:GD54016] = [w:GD56201[w:TMP0000]];

                //SD1437:iQSS バックアップ/リストア対象機種/実行単位設定
                [w:SD1437] = (([w:GD56216[w:TMP0000]] & 0x00FF) << 8) + ([w:GD56201[w:TMP0000]] &
0x00FF);

                //SD1438:iQSS バックアップ/リストア対象フォルダ番号
                [w:SD1438] = [w:GD56214[w:TMP0000]];

                //SD1439:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象ユニット I/O 番号)
                [w:SD1439] = [w:GD56215[w:TMP0000]];

                //SD1440:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 1 ASLINK:ID 番号、CC-Link:
局番)
                [w:SD1440] = [w:GD56217[w:TMP0000]];

                //SD1441:iQSS バックアップ/リストア対象設定(対象機器 2 ASLINK:未使用、CC-Link:
サブ局番)
                [w:SD1441] = [w:GD56218[w:TMP0000]];

                //SD1444:iQSS バックアップ/リストア動作設定
                [w:SD1444] = [w:GD56219[w:TMP0000]];

                //iQSS バックアップ使用権が取得されていれば、バックアップ開始
                if(([b:GB54004] == ON) && ([w:SD1446] == 0x0001))
                {
                        set([b:SM1439]);
                        [w:GD62000] = 30106;
                }else{
                        [w:GD54006] = 32006;
                        [w:GD62001] = 30005;
                }
        }else{
                [w:GD54006] = 32013;
                [w:GD62001] = 30005;
        }
}else{
        [w:GD54006] = 32008;
        [w:GD62001] = 30005;
}

rst([b:GB54002]);
```

| スクリプト No. | 30029 | スクリプト名 | Script30029 |
|---|---|---|---|
| コメント | iQSS バックアップ/リストア使用権取得情報チェック | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 周期 1 秒 |

```
//定期的に使用権取得状況をチェックします。
if([w:SD1435] == [w:SD1436])
{
        set([b:GB54004]);  //iQSS バックアップ許可ビット ON
}else{
        rst([b:GB54004]);  //iQSS バックアップ許可ビット OFF
```

```
}
```

**ベース画面 30105**

| スクリプト No. | 30044 | スクリプト名 | Script30044 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30105 コメント表示制御 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//CC-Link と ASLINK でコメントを切り換えます。

switch([w:GD54044])
{
	//ASLINK
	case 1:	[w:GD54070] = 226;		//ID or 局
			[w:GD54071] = 232;		//全 ID or 全局
			[w:GD54072] = 233;		//ID 指定 or 局指定
			[w:GD54073] = 285;		//なし or 局サブ
			[w:GD54074] = 0;	//なし or 局サブ指定
			break;

	//CC-Link
	case 2:	[w:GD54070] = 225;		//ID or 局
			[w:GD54071] = 242;		//全 ID or 全局
			[w:GD54072] = 243;		//ID 指定 or 局指定
			[w:GD54073] = 227;		//なし or 局サブ
			[w:GD54074] = 244;		//なし or 局サブ指定
			break;

}
```

**ベース画面 30106**

| スクリプト No. | 30033 | スクリプト名 | Script30033 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30103,30106 画面起動時動作 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中 GB40 |

```
//画面起動時に各種設定を行います。

//画面表示時のみ起動
if([b:GB54008] == OFF)
{
	//バックアップ実施日時
	[w:GD54040] = [w:GS650];
	[w:GD54041] = [w:GS651];
	[w:GD54042] = [w:GS652];

	set([b:GB54008]);
}
```

| スクリプト No. | 30007 | スクリプト名 | Script30007 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30106 正常終了 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り SM1440 |

```
//iQSS リストアの正常終了時の処理です。
if([b:SM1442] == ON)
{
	[w:GD54006] = 32005;	//iQSS リストア中断
}else{
```

```
        [w:GD54006] = 32003;        //iQSS リストア正常完了
}
[w:GD62001]=30005;          //通知ダイアログ表示
```

| スクリプト No. | 30008 | スクリプト名 | Script30008 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30106　異常終了 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　SM1441 |

```
//iQSS リストアの異常終了時の処理です。

if([b:GB54009] == OFF)
{
        if([w:SD1452] != 0)
        {
                if([w:SD1452] == 16894)
                {
                        [w:GD54006] = 32001; //バックアップ失敗メッセージ
                        [w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
                }else{
                        [w:GD54006] = [w:SD1452]; //バックアップ失敗メッセージ
                        [w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
                }
        }else{
                if([w:SD1453] != 0)
                {
                        [w:GD54006] = [w:SD1453]; //バックアップ失敗メッセージ
                        [w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
                }else{
                        [w:GD54006] = 32001; //バックアップ失敗メッセージ
                        [w:GD62001] = 30005;//通知ダイアログ
                }
        }

        set([b:GB54009]);
}
```

| スクリプト No. | 30043 | スクリプト名 | Script30043 |
|---|---|---|---|
| コメント | B-30103、30106 iQSS バックアップ/リストア中止 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | ON 中　GB54002 |

```
//iQSS バックアップ、または、iQSS リストアを中断します。
set([b:SM1442]);    //iQSS バックアップ/リストア中止要求

rst([b:GB54002]);
```

| スクリプト No. | 30037 | スクリプト名 | Script30037 |
|---|---|---|---|
| コメント | 画面切換時処理 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
//各種フラグのクリアをします。

rst([b:GB54008]);
rst([b:GB54009]);

//オーバーラップウィンドウを閉じます。
[w:GD62001] = 0;
[w:GD62004] = 0;
```

### 5.9.3 オブジェクトスクリプト

**ベース画面 30005～30008、ベース画面 30010～30019**

| オブジェクト | ワードランプ *1 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |
| [w:GD32000] = $$ & [w:GD31990]; | | | |

*1：I/O の ON/OFF のワードランプに設定しています。I/O の点数によりデバイスが変わります。

**ベース画面 30013、ベース画面 30018**

| オブジェクト | レベル *1 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
screen_draw(0);
redraw_object();

[w:TMP0200] = (object_width / 100) * [w:GD53605];
[w:TMP0201] = (object_width / 100) * [w:GD53606];

d_line([w:TMP0200],0,[w:TMP0200],object_height,0,1,224);
d_line([w:TMP0201],0,[w:TMP0201],object_height,0,1,3);
```

*1：[オブジェクトスクリプトシンボル]を使用しています。[オブジェクトスクリプトシンボル]については、「5.9.5 オブジェクトスクリプトシンボル」を参照してください。

**ベース画面 30010～30012、ベース画面 30014～30015、ベース画面 30017**

| オブジェクト | レベル *1 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
screen_draw(0);
redraw_object();

[w:TMP0200] = (object_width / 100) * [w:GD53605];
[w:TMP0201] = (object_width / 100) * [w:GD53607];
[w:TMP0202] = (object_width / 100) * [w:GD53608];

d_line([w:TMP0200],0,[w:TMP0200],object_height,0,1,131);
d_line([w:TMP0201],0,[w:TMP0201],object_height,0,1,224);
d_line([w:TMP0202],0,[w:TMP0202],object_height,0,1,3);
```

*1：[オブジェクトスクリプトシンボル]を使用しています。[オブジェクトスクリプトシンボル]については、「5.9.5 オブジェクトスクリプトシンボル」を参照してください。

**ベース画面 30010～30015、ベース画面 30017、ベース画面 30018**

| オブジェクト | 数値入力 *1 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 入力確定時 |

```
//入力確定時、画面を再描画します。
redraw_screen();
```

*1：しきい値、アラーム判定(Hi)、アラーム判定(Lo)、OFF→ON のしきい値、OFF→ON のしきい値に設定しています。

**ベース画面 30101**

| オブジェクト | ワードランプ | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//コメントを表示するためのスクリプトです
if([w:GD54101[w:GD54001]] != 0)
{
        [w:GD54076] = (([w:GD54101[w:GD54001]] * 10) + $$) + 221;
}else{
        [w:GD54076] = 0;
}
```

上記のスクリプトが、「実行単位」の全てのワードランプに設定しています。ただし、デバイスは各オブジェクトで異なります。

**ウィンドウ画面 30001**

| オブジェクト | 数値表示 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
//時計データより本日の年月を取得
[w:TMP0] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP10] = [w:TMP0] >> 12;//桁合せ
[w:TMP20] = [w:TMP10] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP1] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP11] = [w:TMP1] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP100] = 2000 + [w:TMP20] +  [w:TMP11];//TMP100 に年を BIN でセット
[w:GD62300] = [w:TMP100];//年をセット

[w:TMP2] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得
[w:TMP12] = [w:TMP2] >> 4;//桁合せ
[w:TMP22] = [w:TMP12] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP3] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得
[w:TMP101] = [w:TMP22] +  [w:TMP3];//TMP101 に月を BIN でセット
[w:GD62301] = [w:TMP101];//月をセット

[w:TMP4] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP14] = [w:TMP4] >> 12;//桁合せ
[w:TMP24] = [w:TMP14] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP5] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP15] = [w:TMP5] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP102] =[w:TMP24] +  [w:TMP15];//TMP102 に日を BIN でセット
[w:GD62302] = [w:TMP102];//日をセット

[w:TMP6] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP16] = [w:TMP6] >> 4;//桁合せ
[w:TMP26] = [w:TMP16] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP7] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP103] = [w:TMP26] +  [w:TMP7];//TMP103 に時を BIN でセット
[w:GD62303] = [w:TMP103];//時をセット

[w:TMP8] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP18] = [w:TMP8] >> 12;//桁合せ
[w:TMP28] = [w:TMP18] * 10;//BCD->BIN
```

```
[w:TMP9] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP19] = [w:TMP9] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP104] =[w:TMP28] +  [w:TMP19];//TMP104 に分を BIN でセット
[w:GD62304] = [w:TMP104];//分をセット

[w:TMP1000] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP1010] = [w:TMP1000] >> 4;//桁合せ
[w:TMP1020] = [w:TMP1010] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP1001] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP105] = [w:TMP1020] +  [w:TMP1001];//TMP105 に秒を BIN でセット
[w:GD62305] = [w:TMP105];//秒をセット
```

| オブジェクト | 数値表示 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 2 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// BIN -> BCD 変換

[w:TMP200] = [w:GD62300] - 2000;   //  年の下 2 桁

[w:TMP201] = (([w:TMP200] / 10) << 4) + ([w:TMP200] % 10);      //  年 BIN -> BCD
[w:TMP202] = (([w:GD62301] / 10) << 4) + ([w:GD62301] % 10);    //  月 BIN -> BCD
[w:TMP203] = (([w:GD62302] / 10) << 4) + ([w:GD62302] % 10);    //  日 BIN -> BCD
[w:TMP204] = (([w:GD62303] / 10) << 4) + ([w:GD62303] % 10);    //  時 BIN -> BCD
[w:TMP205] = (([w:GD62304] / 10) << 4) + ([w:GD62304] % 10);    //  分 BIN -> BCD
[w:TMP206] = (([w:GD62305] / 10) << 4) + ([w:GD62305] % 10);    //  秒 BIN -> BCD
```

| オブジェクト | 数値表示 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 3 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//  年月設定

[w:GS513] = ([w:TMP201] << 8) + [w:TMP202];  //  変更時刻デバイスに年月セット
```

| オブジェクト | 数値表示 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 4 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//  日時設定

[w:GS514] = ([w:TMP203] << 8) + [w:TMP204];  //  変更時刻デバイスに日時セット
```

| オブジェクト | 数値表示 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 5 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//  分秒設定
[w:GS515] = ([w:TMP205] << 8) + [w:TMP206];  //  変更時刻デバイスに分秒セット
```

| オブジェクト | 数値表示 | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 6 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
//  曜日設定

[w:TMP211] = [w:GD62300]; //年(BIN)
[w:TMP212] = [w:GD62301]; //月(BIN)
[w:TMP213] = [w:GD62302]; //日(BIN)

if(([w:TMP212] == 1) || ([w:TMP212] == 2)){//1･2 月の場合のみ前年の 13･14 月として計算するための補正処理
        [w:TMP211] =[w:TMP211] - 1; //年から 1 を減算
```

```
            [w:TMP212] =[w:TMP212] + 12;//月に 12 を加算
}

[w:TMP220] = [w:TMP211]/4;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP221] = [w:TMP211]/100;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP222] = [w:TMP211]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP223] = (13*[w:TMP212]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット
[w:GS516] = ([w:TMP211]+[w:TMP220]-[w:TMP221]+[w:TMP222]+[w:TMP223]+[w:TMP213])%7;
```

### 5.9.4 スクリプトシンボル

XGA

| シンボル名 | デバイスおよび定数 | 備考 |
|---|---|---|
| Input_X | 72 | 入力表示エリアの一番左上の X 座標 |
| Input_Y | 245 | 入力表示エリアの一番左上の Y 座標 |
| Frame_X | 984 | I/O 表示エリアの一番右下の X 座標 |
| Frame_Y | 677 | I/O 表示エリアの一番右下の Y 座標 |
| Object_X | 57 | ワードランプの幅 |
| Object_Y | 27 | ワードランプの高さ |

SVGA

| シンボル名 | デバイスおよび定数 | 備考 |
|---|---|---|
| Input_X | 51 | 入力表示エリアの一番左上の X 座標 |
| Input_Y | 192 | 入力表示エリアの一番左上の Y 座標 |
| Frame_X | 770 | I/O 表示エリアの一番右下の X 座標 |
| Frame_Y | 543 | I/O 表示エリアの一番右下の Y 座標 |
| Object_X | 45 | ワードランプの幅 |
| Object_Y | 22 | ワードランプの高さ |

VGA

| シンボル名 | デバイスおよび定数 | 備考 |
|---|---|---|
| Input_X | 42 | 入力表示エリアの一番左上の X 座標 |
| Input_Y | 155 | 入力表示エリアの一番左上の Y 座標 |
| Frame_X | 618 | I/O 表示エリアの一番右下の X 座標 |
| Frame_Y | 427 | I/O 表示エリアの一番右下の Y 座標 |
| Object_X | 36 | ワードランプの幅 |
| Object_Y | 17 | ワードランプの高さ |

### 5.9.5 オブジェクトスクリプトシンボル

XGA

| シンボル名 | デバイスおよび定数 | 備考 |
|---|---|---|
| object_width | 200 | レベルの幅 |
| object_height | 40 | レベルの高さ |

SVGA

| シンボル名 | デバイスおよび定数 | 備考 |
|---|---|---|
| object_width | 156 | レベルの幅 |
| object_height | 32 | レベルの高さ |

VGA

| シンボル名 | デバイスおよび定数 | 備考 |
|---|---|---|
| object_width | 124 | レベルの幅 |
| object_height | 25 | レベルの高さ |

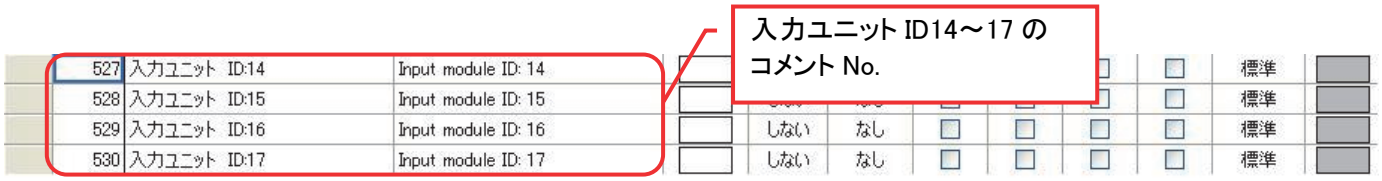
## 6. その他

### 6.1 ユーザ定義名称の登録について

以下のように登録してください。

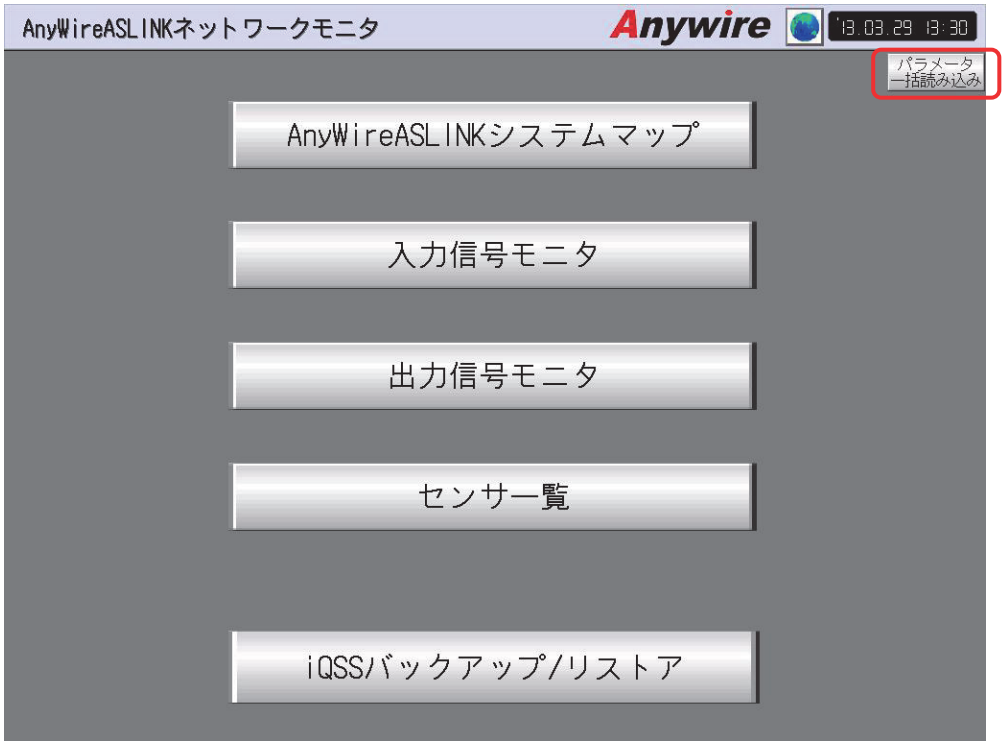
・ 出力ユニット:コメント No.をユニットの ID+1 の番号にしてください。(コメント No.は 0 が指定できないため、ID に 1 を加算した値をコメント No.とします。)

・ 入力・入出力混合ユニット:コメント No.をユニットの ID+513 の番号にしてください。(入力・入出力混合ユニットの ID は、バッファメモリ内(接続 ID 情報エリア)では、0x0200～0x02FF となるため、512(0x0200)を加算し、入力ユニット同様、ID に 1 を加算します。)




### 6.2 システム構成の変更について

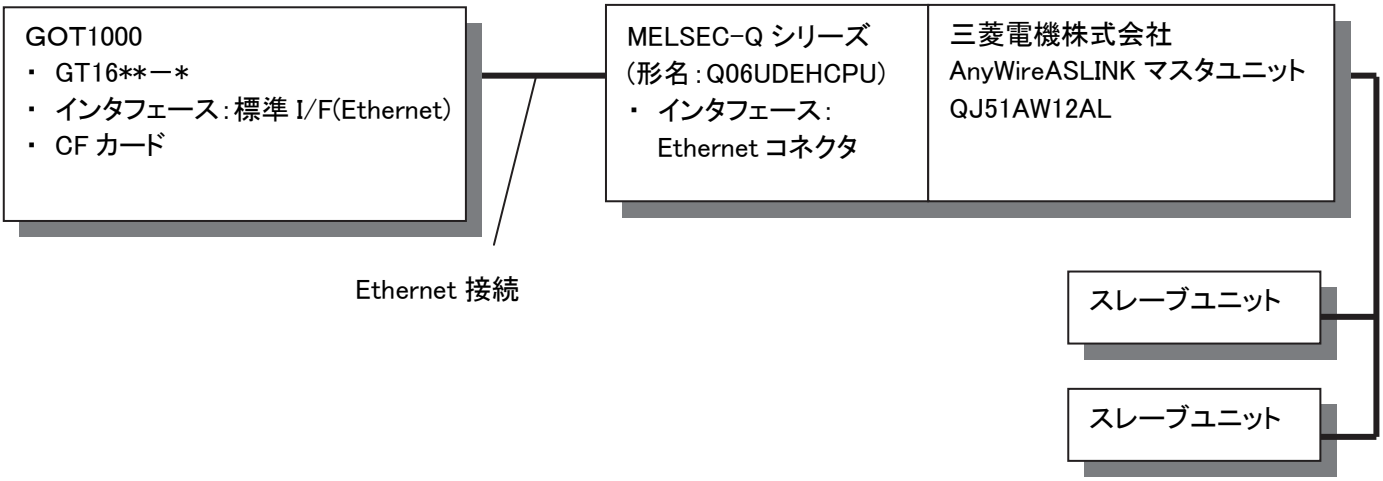
GOT を起動した状態で、スレーブユニットの追加、削除、ID の変更等をした場合、ベース画面 B-30000 へ戻り、画面右上にある「パラメーター括読み込み」スイッチを 1 秒間タッチするか、GOT を再起動してください。



## 6.3 CPUの変更について

MELSEC-Q シリーズを使用する際には、システム構成と Ethernet 設定を変更してください。

### 6.3.1 システム構成



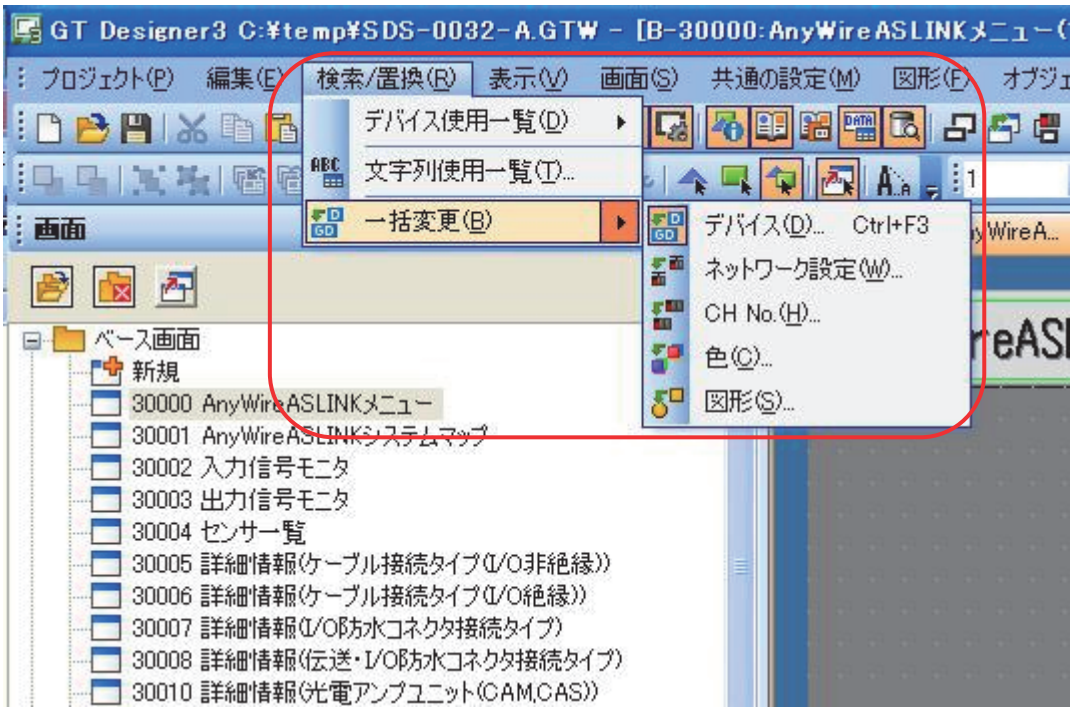

### 6.3.2 Ethernet設定

| 項　目 | 設定値 | 備　考 |
|---|---|---|
| 自局 | * | |
| N/W No. | 1 | |
| PC No. | 1 | |
| 機種 | QnUDE(H) | |
| IP アドレス | 192.168.3.39 | |
| ポート No. | 5006 | |
| 通信方式 | UDP | |

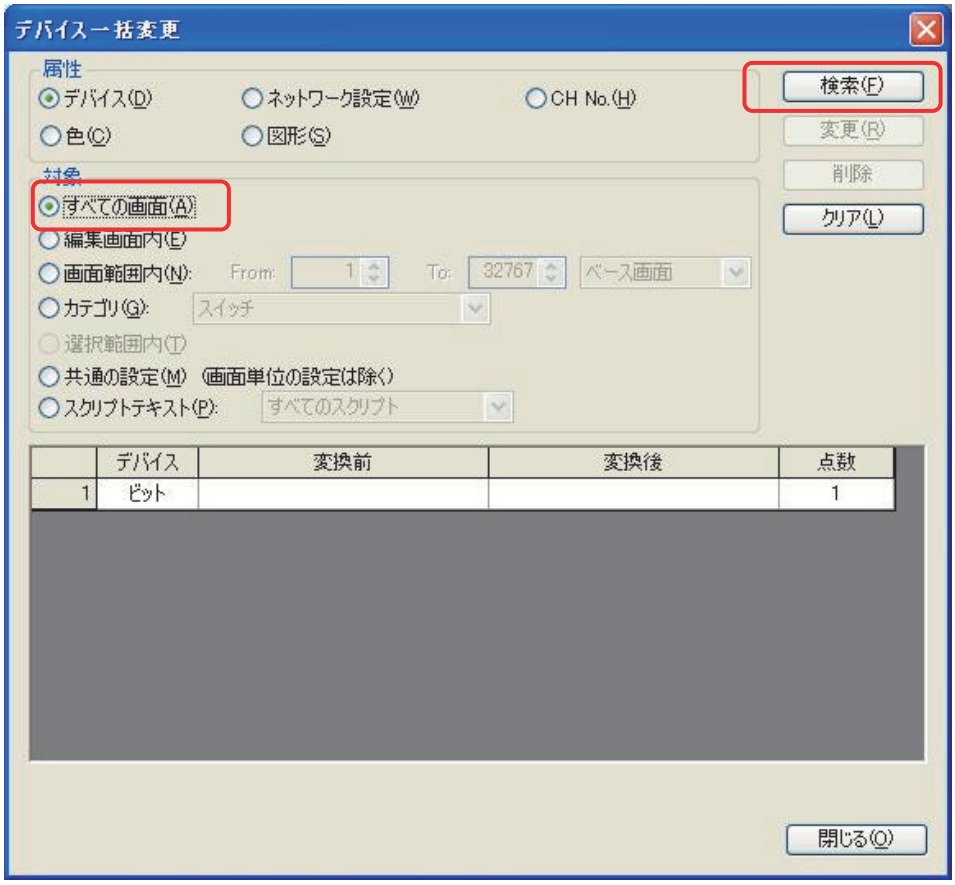
## 6.4 I/O No.の変更について

### 6.4.1 画面に設定されているデバイスの変更

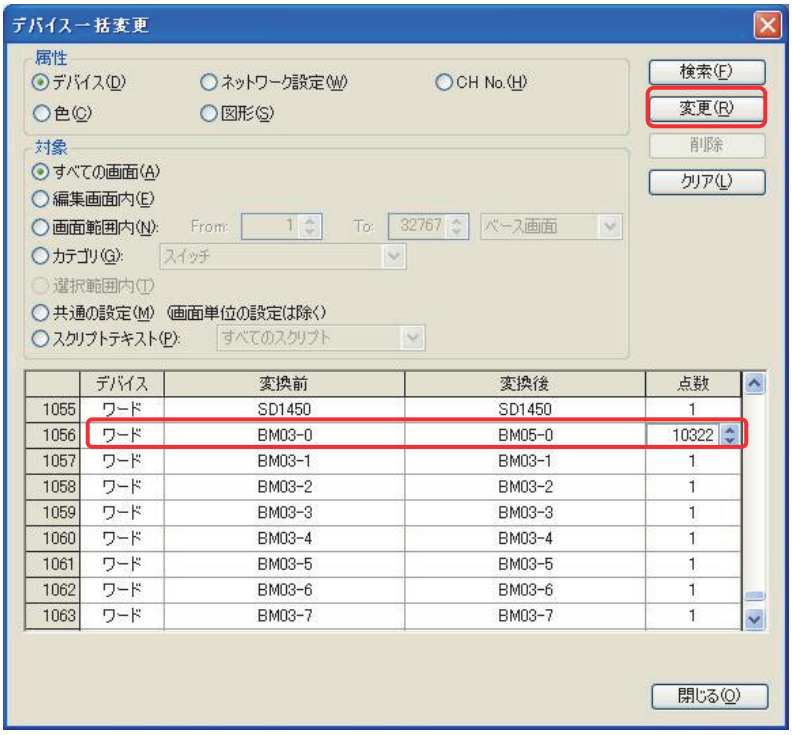
(1) [検索/置換]-[一括変更]-[デバイス]メニューを選択します。




(2) 設定ダイアログが表示されるので、対象[すべての画面]を選択し、[検索]をクリックします。



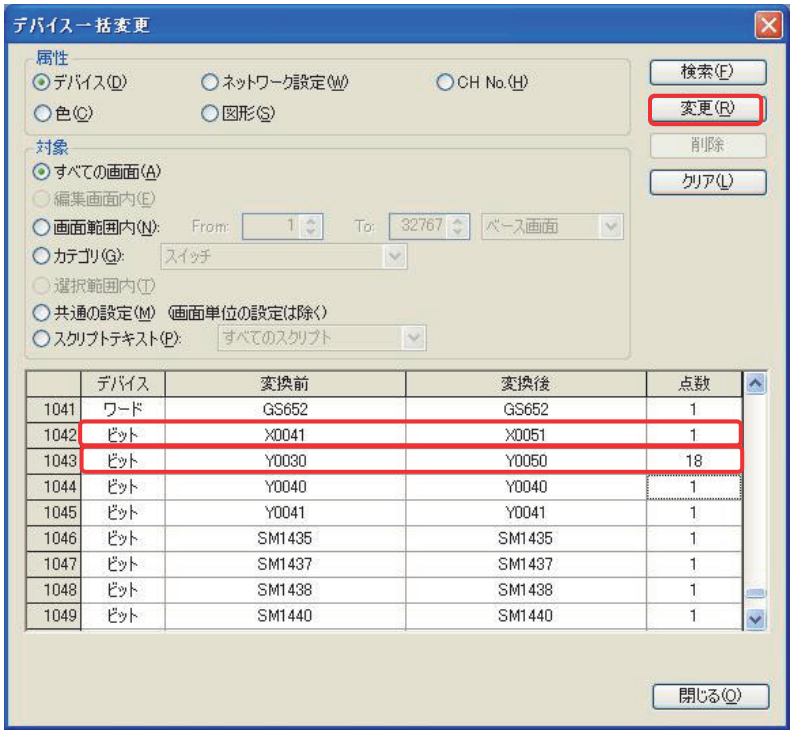
(3) [変換後]のデバイス、[点数]を設定して、一括変更を実施します。
例：バッファメモリの先頭 I/O No.を 3 から 5 に変更する場合




| | デバイス | 変換前 | 変換後 | 点数 |
|---|---|---|---|---|
| 1055 | ワード | SD1450 | SD1450 | 1 |
| 1056 | ワード | BM03-0 | BM05-0 | 10322 |
| 1057 | ワード | BM03-1 | BM03-1 | 1 |
| 1058 | ワード | BM03-2 | BM03-2 | 1 |
| 1059 | ワード | BM03-3 | BM03-3 | 1 |
| 1060 | ワード | BM03-4 | BM03-4 | 1 |
| 1061 | ワード | BM03-5 | BM03-5 | 1 |
| 1062 | ワード | BM03-6 | BM03-6 | 1 |
| 1063 | ワード | BM03-7 | BM03-7 | 1 |

ここでの対象は、BM03-0～BM03-10321 です。[変換前]のアドレスを BM03-0、[変換後]のアドレスを BM05-0、[点数]を 10322 に設定して[変更]をクリックしてください。BM03-0～BM03-10321 が BM05-0～BM05-10321 へ変更されます。

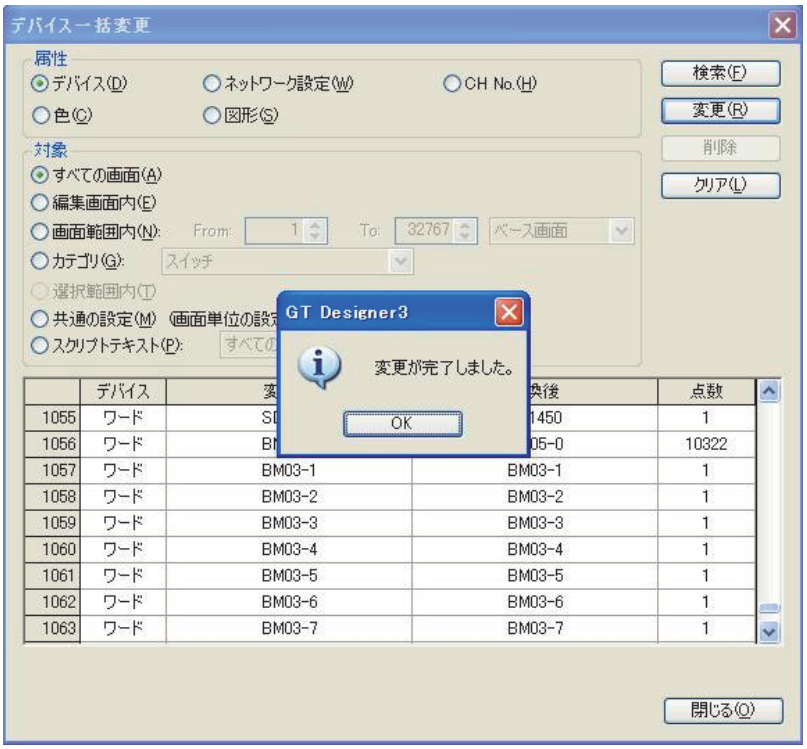
例：入力・出力デバイスを変更する場合




| | デバイス | 変換前 | 変換後 | 点数 |
|---|---|---|---|---|
| 1041 | ワード | GS652 | GS652 | 1 |
| 1042 | ビット | X0041 | X0051 | 1 |
| 1043 | ビット | Y0030 | Y0050 | 18 |
| 1044 | ビット | Y0040 | Y0040 | 1 |
| 1045 | ビット | Y0041 | Y0041 | 1 |
| 1046 | ビット | SM1435 | SM1435 | 1 |
| 1047 | ビット | SM1437 | SM1437 | 1 |
| 1048 | ビット | SM1438 | SM1438 | 1 |
| 1049 | ビット | SM1440 | SM1440 | 1 |

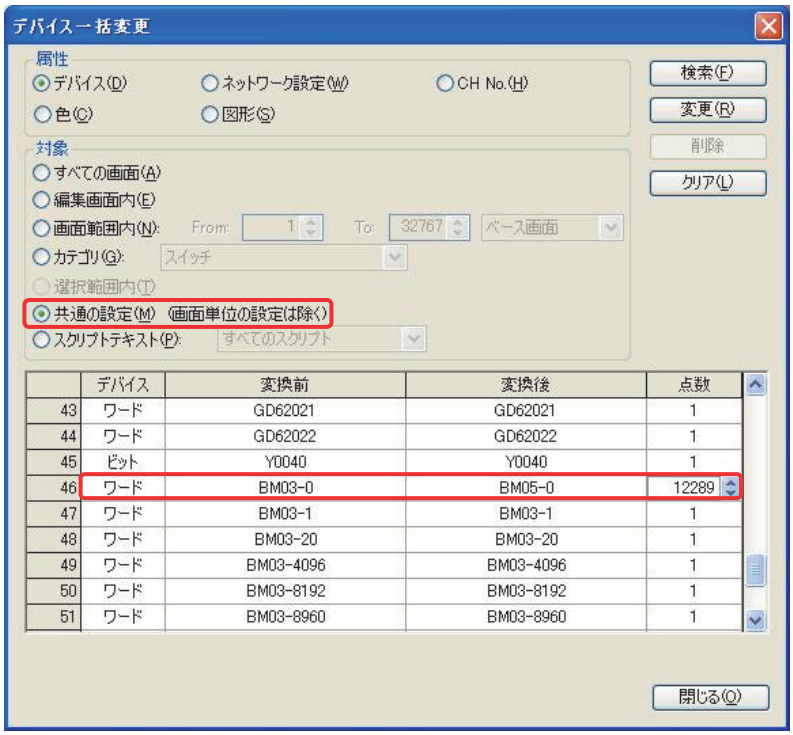
ここでの対象は、X0041・Y0030～Y0041 です。[変換前]のアドレスを X0041・Y0030、[変換後]のアドレスを X0061・Y0050、入力デバイスの[点数]を 1、出力デバイスの[点数]を 18 に設定して[変更]をクリックします。X0041 が X0061 へ、Y0030～Y0041 が Y0050～Y0061 へ変更されます。

(4) 変更が完了すると、下記のメッセージが表示されます。[OK]クリック後、[検索]をクリックすると、変更後のデバイス一覧が表示されます。



### 6.4.2　[共通の設定]内のデバイスの変更

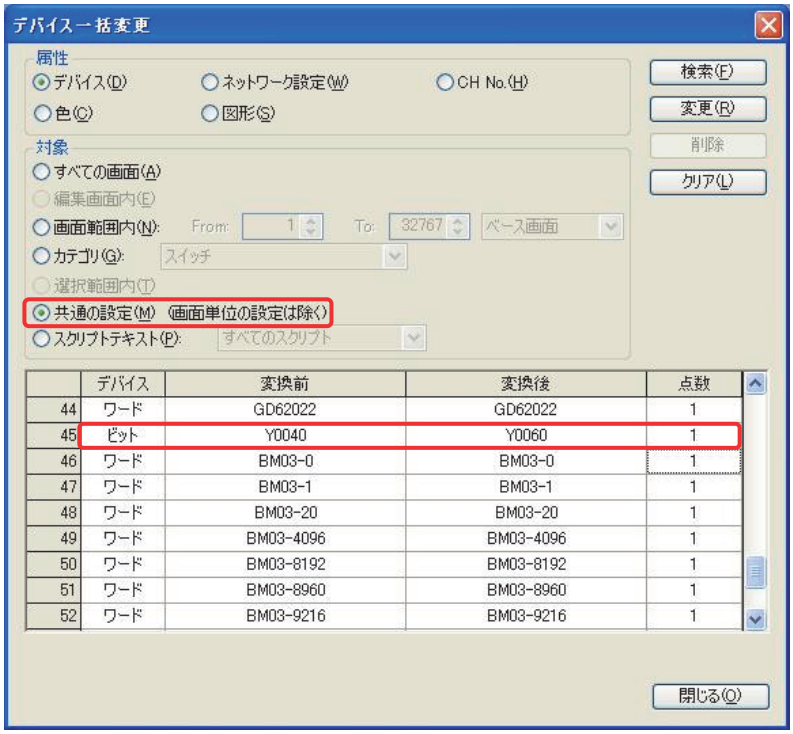
拡張レシピ機能・デバイスデータ転送機能で設定したデバイスを変更します。変更の手順については、「6.4.1　画面に設定されているデバイスの変更」を参照してください。




| | デバイス | 変換前 | 変換後 | 点数 |
|---|---|---|---|---|
| 43 | ワード | GD62021 | GD62021 | 1 |
| 44 | ワード | GD62022 | GD62022 | 1 |
| 45 | ビット | Y0040 | Y0040 | 1 |
| 46 | ワード | BM03-0 | BM05-0 | 12289 |
| 47 | ワード | BM03-1 | BM03-1 | 1 |
| 48 | ワード | BM03-20 | BM03-20 | 1 |
| 49 | ワード | BM03-4096 | BM03-4096 | 1 |
| 50 | ワード | BM03-8192 | BM03-8192 | 1 |
| 51 | ワード | BM03-8960 | BM03-8960 | 1 |

ここでの対象は BM03-0～BM03-12288 です。[変換前]のアドレスを BM03-0、[変換後]のアドレスを BM05-0、[点数]を 12289 に設定して[変更]をクリックしてください。BM03-0～BM03-12288 が BM05-0～BM05-12288 へ変更されます。

例：入力・出力デバイスを変更する場合

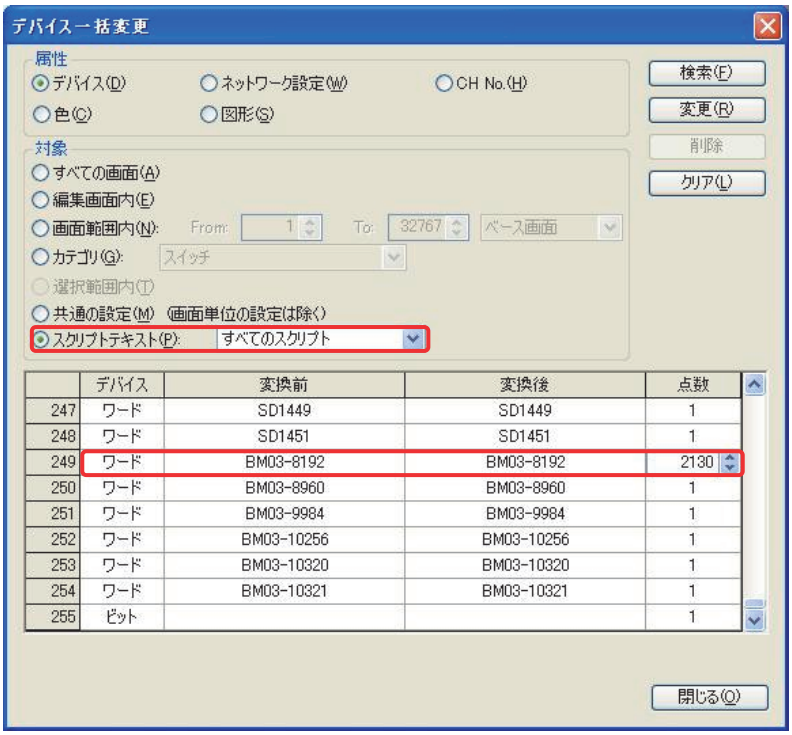



| | デバイス | 変換前 | 変換後 | 点数 |
|---|---|---|---|---|
| 44 | ワード | GD62022 | GD62022 | 1 |
| 45 | ビット | Y0040 | Y0060 | 1 |
| 46 | ワード | BM03-0 | BM03-0 | 1 |
| 47 | ワード | BM03-1 | BM03-1 | 1 |
| 48 | ワード | BM03-20 | BM03-20 | 1 |
| 49 | ワード | BM03-4096 | BM03-4096 | 1 |
| 50 | ワード | BM03-8192 | BM03-8192 | 1 |
| 51 | ワード | BM03-8960 | BM03-8960 | 1 |
| 52 | ワード | BM03-9216 | BM03-9216 | 1 |

ここでの対象は Y0040 です。[変換前]のアドレスを Y0040、[変換後]のアドレスを Y0060、[点数]を 1 に設定して[変更]をクリックしてください。Y0040 が Y0060 へ変更されます。

### 6.4.3 [スクリプトテキスト]で使用されているデバイスの変更

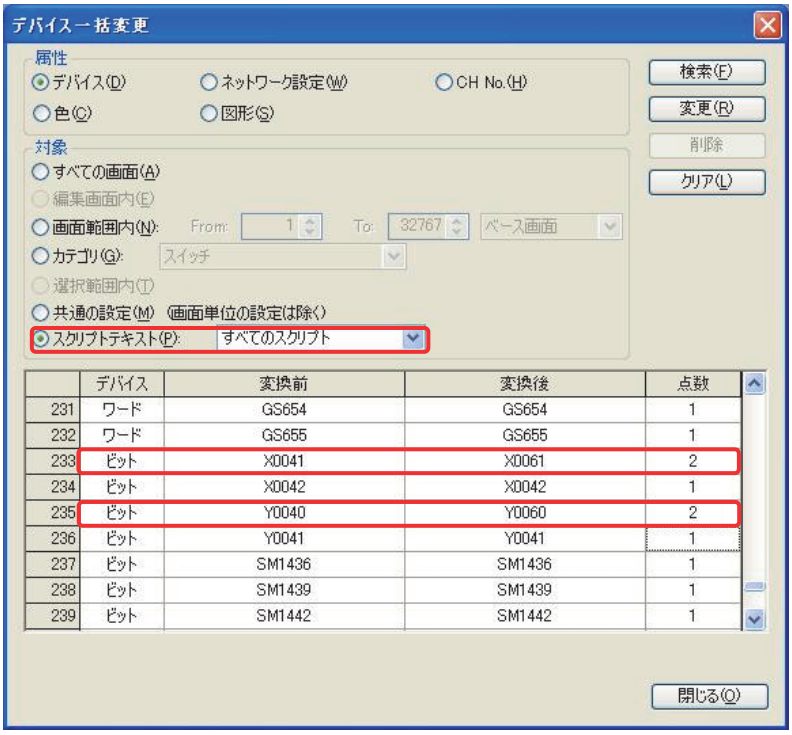
[スクリプトテキスト]内で使用されているデバイスを変更します。変更の手順については、「6.4.1 画面に設定されているデバイスの変更」を参照してください。




| | デバイス | 変換前 | 変換後 | 点数 |
|---|---|---|---|---|
| 247 | ワード | SD1449 | SD1449 | 1 |
| 248 | ワード | SD1451 | SD1451 | 1 |
| 249 | ワード | BM03-8192 | BM03-8192 | 2130 |
| 250 | ワード | BM03-8960 | BM03-8960 | 1 |
| 251 | ワード | BM03-9984 | BM03-9984 | 1 |
| 252 | ワード | BM03-10256 | BM03-10256 | 1 |
| 253 | ワード | BM03-10320 | BM03-10320 | 1 |
| 254 | ワード | BM03-10321 | BM03-10321 | 1 |
| 255 | ビット | | | 1 |

ここでの対象は BM03-8192～BM03-10321 です。[変換前]のアドレスを BM03-8192、[変換後]のアドレスを BM05-8192、[点数]を 2130 に設定して[変更]をクリックしてください。BM03-8192～BM03-10321 が BM05-8192～BM05-10321 へ変更されます。

例：入力・出力デバイスを変更する場合

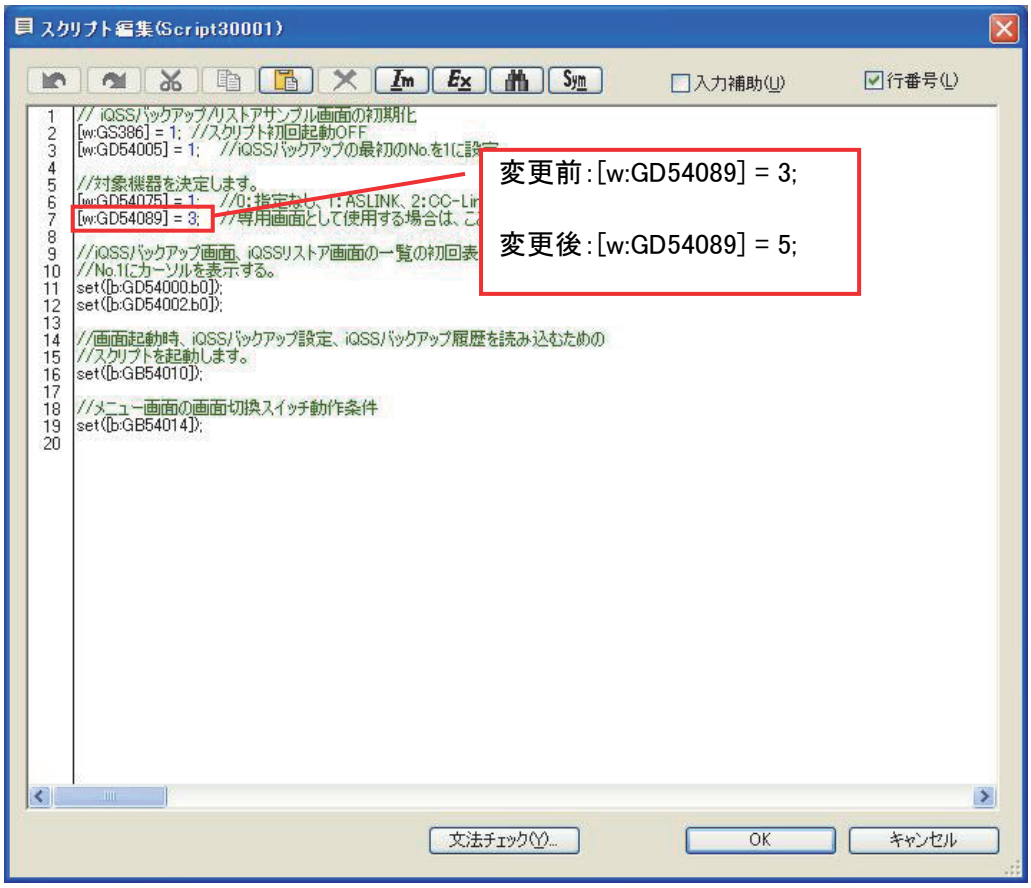



| | デバイス | 変換前 | 変換後 | 点数 |
|---|---|---|---|---|
| 231 | ワード | GS654 | GS654 | 1 |
| 232 | ワード | GS655 | GS655 | 1 |
| 233 | ビット | X0041 | X0061 | 2 |
| 234 | ビット | X0042 | X0042 | 1 |
| 235 | ビット | Y0040 | Y0060 | 2 |
| 236 | ビット | Y0041 | Y0041 | 1 |
| 237 | ビット | SM1436 | SM1436 | 1 |
| 238 | ビット | SM1439 | SM1439 | 1 |
| 239 | ビット | SM1442 | SM1442 | 1 |

ここでの対象は X0041～X0042・Y0040～Y0041 です。[変換前]のアドレスを X0041・Y0040、[変換後]のアドレスを X0051・Y0060、入力デバイスの[点数]を 2、出力デバイスの[点数]を 2 に設定して[変更]をクリックしてください。X0041～X0042・Y0040～Y0041 が X0061～X0062・Y0060～Y0061 へ変更されます。

### 6.4.4　プロジェクトスクリプトの変更

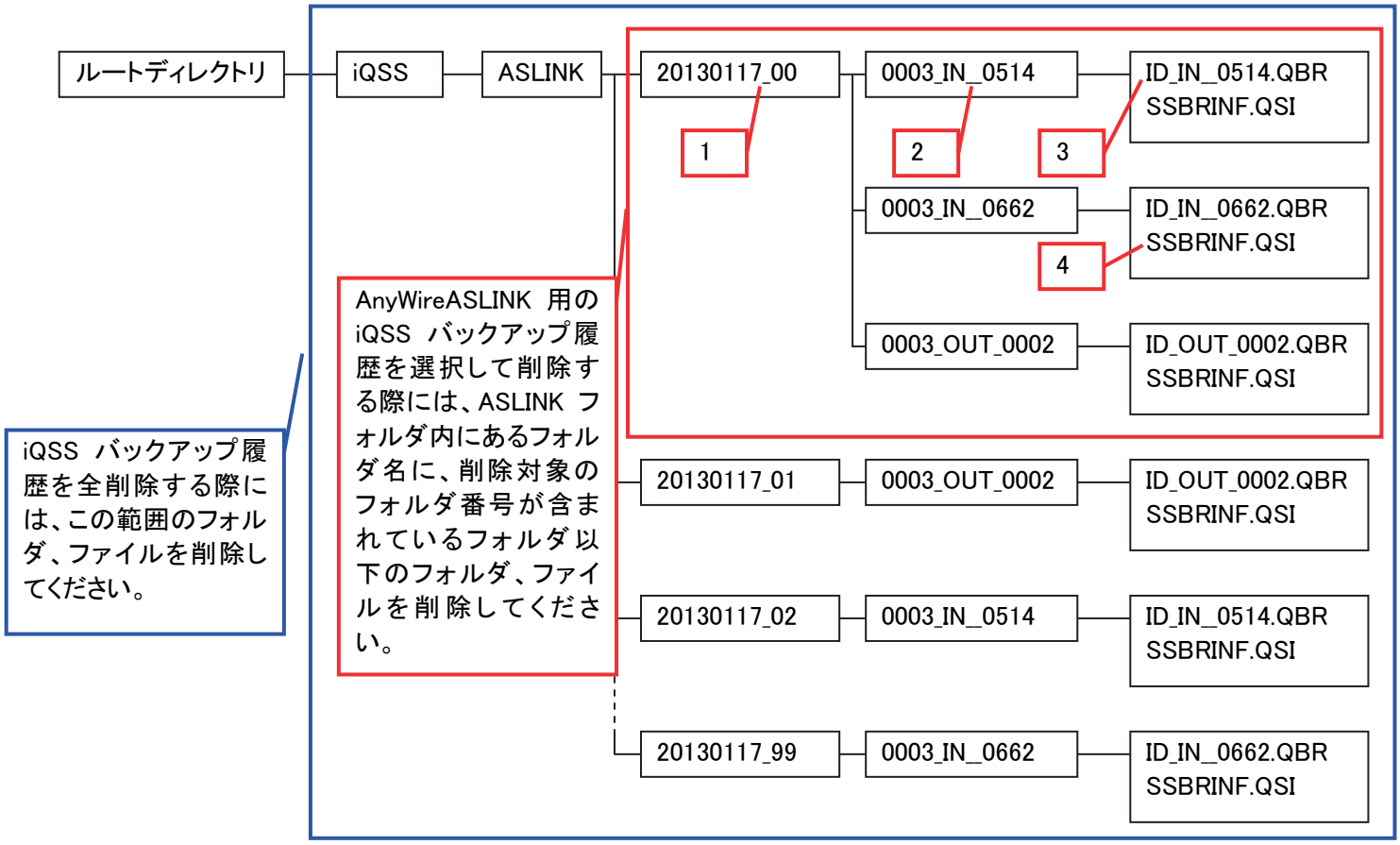
プロジェクトスクリプト No.30001 で、I/O No.を指定しています。下記のように修正してください。



## 6.5 iQSSバックアップフォルダ構成

### 6.5.1 フォルダ構成

シーケンサへ装着したSDカード内のiQSSバックアップフォルダ構成は、下記のようになります。表中の1～4については、「6.5.2 フォルダ名、ファイル名詳細」を参照してください。




### 6.5.2 フォルダ名、ファイル名詳細

1. 20130117 _ 00 ・・・ バックアップフォルダ名(日付、フォルダ番号)
   - 番号(2桁(00～99(10進)))
   - バックアップした日付(YYYYMMDD)

2. 0003 _ IN_ _ 0514 ・・・ バックアップフォルダ名(I/O No.、ID)
   - ID番号(4桁(10進)) *1
   - IN_:入力/混合スレーブユニット
     OUT:出力スレーブユニット
   - I/O No.(4桁(16進))

3 ID _ IN_ _ 0514.QBR ・・・ バックアップファイル名
   - ID番号(4桁(10進)) *1
   - IN_:入力/混合スレーブユニット
     OUT:出力スレーブユニット

4. SSBRINF.QSI ・・・ システムファイル

*1:AnyWireASLINK の入力/混合スレーブユニットの ID 番号は、ユニット本体側に割付けられた ID 番号+512 の番号で管理されます。そのため、入力/混合スレーブユニット用のバックアップフォルダ名の末尾には、管理番号 512～766 が付加されます。